

第5次八戸市総合計画

市民アンケート調査

報 告 書

平成22年8月

八 戸 市

— 目 次 —

1. 調査の概要	1
2. 回答者の属性	2
3. アンケート結果	4
4. 自由意見	23
参考. 調査票	41

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、前期推進計画の5年間で重点的に取り組む施策や事業（戦略プロジェクト）を中心に、どの程度成果が現れているかを把握し、後期推進計画の検討の基礎資料として役立てることを目的として実施しました。

(2) 調査項目

- ・地域産業の高度化について
- ・農産物の地産地消の普及について
- ・水産業の活力の維持・回復について
- ・八戸市の魅力を全国に発信する取組みについて
- ・市民参画による観光振興について
- ・産学官民の連携促進について
- ・雇用を取り巻く状況について
- ・中心街の再生について
- ・市民の自主的な文化活動、スポーツ活動の促進について
- ・市民の環境意識の高揚について
- ・公共交通の活性化について
- ・地域における世代間交流の推進について
- ・子育て環境について
- ・高齢者・障がい者の生活環境について
- ・健康な生活や暮らしの安全を確保するための体制づくりについて
- ・市民と行政による協働の仕組みの構築について
- ・市民福祉の向上や効率的な行政運営のための各種改革について
- ・窓口サービスの向上や、市民への情報提供の充実について
- ・定住自立圏構想について
- ・三圏域連携について
- ・回答者の属性

(3) 調査対象

この調査は、本市にお住まいの18歳以上の方から、無作為に抽出した1,000名を対象としました。

(4) 調査方法

調査方法は郵送配布、郵送回収です。途中、回収率を高めるため、お礼・督促状を配布しました。

(5) 調査期間

平成22年5月19日に発送し、6月2日を投函締め切りとしました。

(6) 回収状況

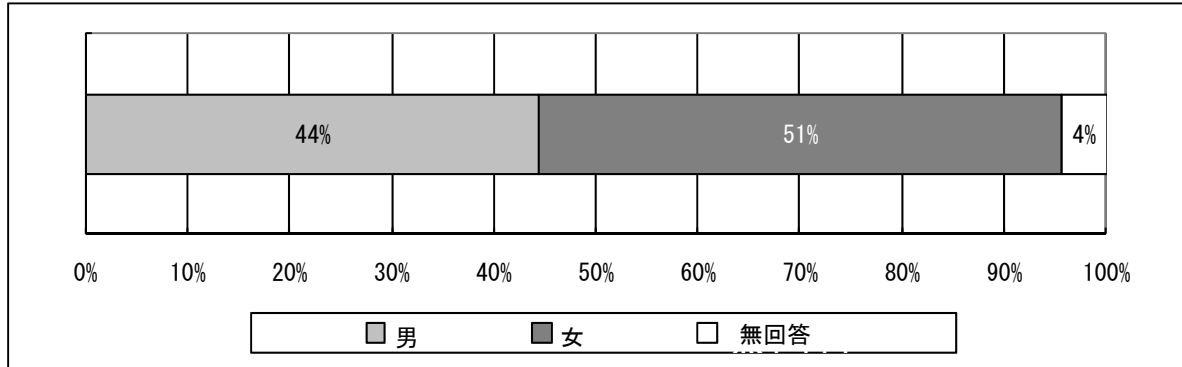
配布数1,000票に対して、有効回収数は607票、有効回収率は60.7%でした。

2. 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が44%、「女性」が51%となっており、女性の割合が高くなっています。

図 回答者の性別（単数回答）

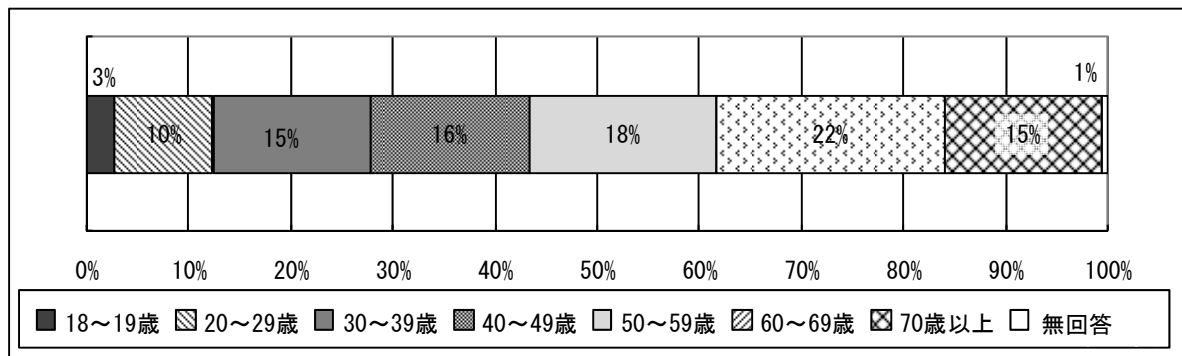


N=607

(2) 年齢

回答者の年齢は、「60歳代」が22%で最も高い割合を占め、次いで「50歳代」が18%、「40歳代」が16%となっています。

図 回答者の年齢（単数回答）

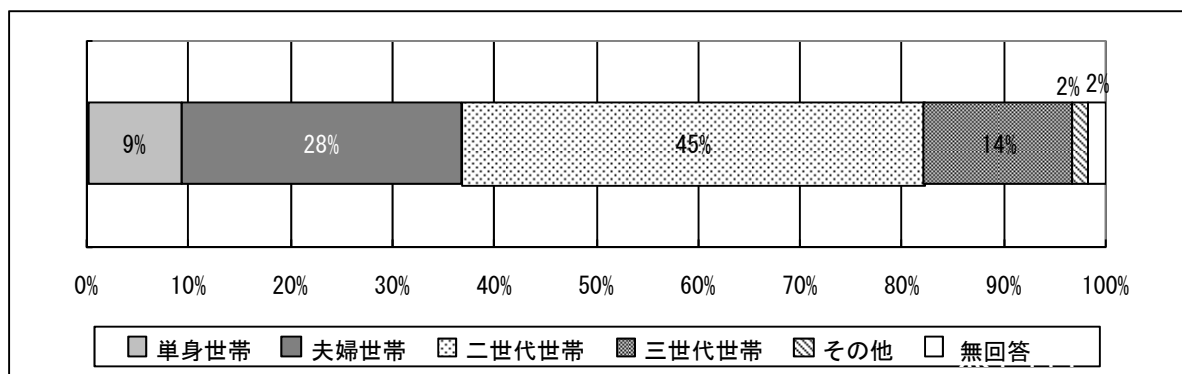


N=607

(3) 家族構成

回答者の家族構成は、「二世世代世帯」が45%で最も高い割合を占め、次いで「夫婦世帯」が28%、「三世世代世帯」が14%となっています。

図 回答者の家族構成（単数回答）

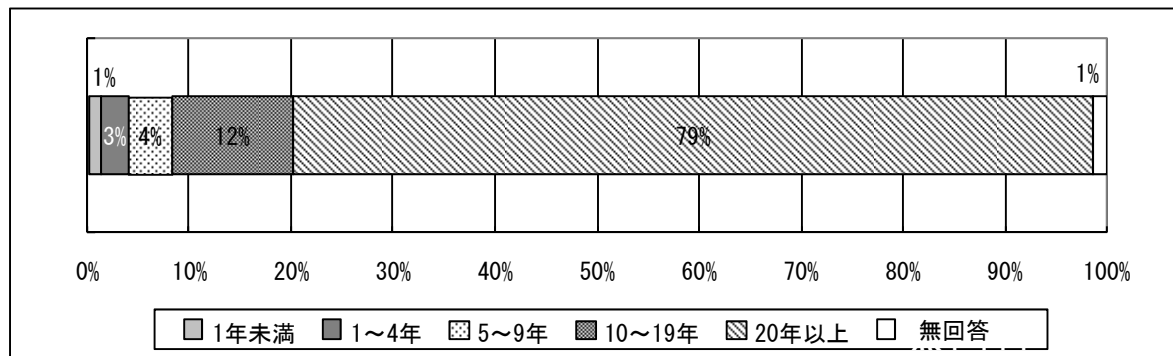


N=607

(4) 居住年数

回答者の八戸市内居住年数は、「20年以上」が79%を占めています。

図 回答者の居住年数（単数回答）

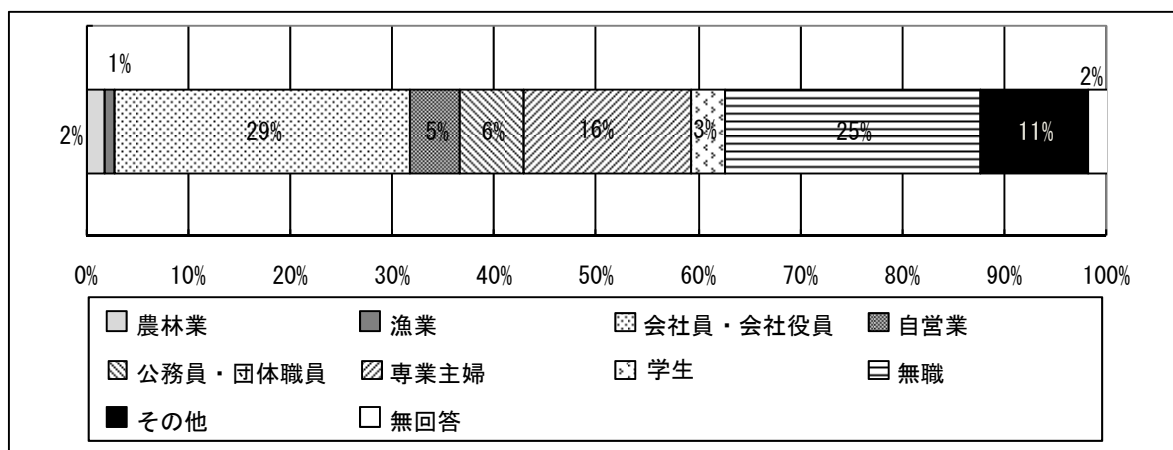


N=607

(5) 職業

回答者の職業は、「会社員・会社役員」が29%、次いで「無職」が25%、「専業主婦」が16%となっています。

図 回答者の職業（単数回答）



N=607

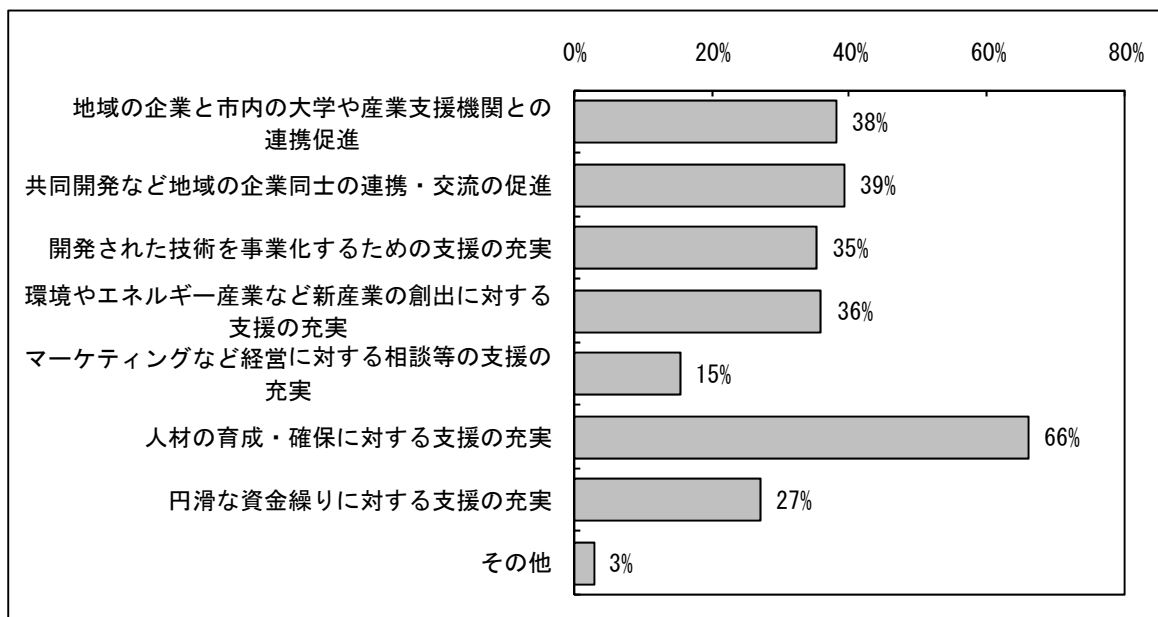
3. アンケート結果

(1) 地域産業の高度化

問1 あなたは、当市の地域産業の高度化のために、どのようなことが大切だと思いますか。

当市の地域産業の高度化のために必要とされている取組みは、「人材の育成・確保に対する支援の充実」が66%で最も高くなっており、2位の回答割合に対して約1.5倍の評価を得ています。「共同開発など地域の企業同士の連携・交流の促進」、「地域の企業と市内の大学や産業支援機関との連携促進」、「開発された技術を事業化するための支援の充実」、「環境やエネルギー産業など新産業の創出に対する支援の充実」に対する評価は、35～39%となっており、長期的な観点から取り組む施策に対する支持が高くなっています。

図 地域産業の高度化のため何が必要か（複数回答：あてはまる選択肢3つまで）

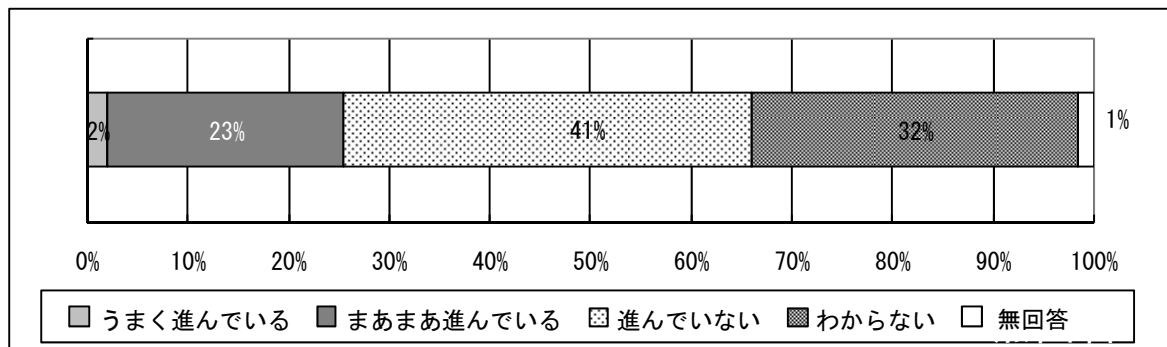


N=607

問2 あなたは、当市の地域産業の高度化の取組みについてどのようにお考えですか。

当市の地域産業の高度化の取組みに対する評価は、「うまく進んでいる」と「まあまあ進んでいる」の回答が合わせて25%となっており、全体の1/4の評価を得ています。一方で、「進んでいない」は41%となっています。

図 八戸市の地域産業の高度化の取組みについてどのように考えているか（単数回答）



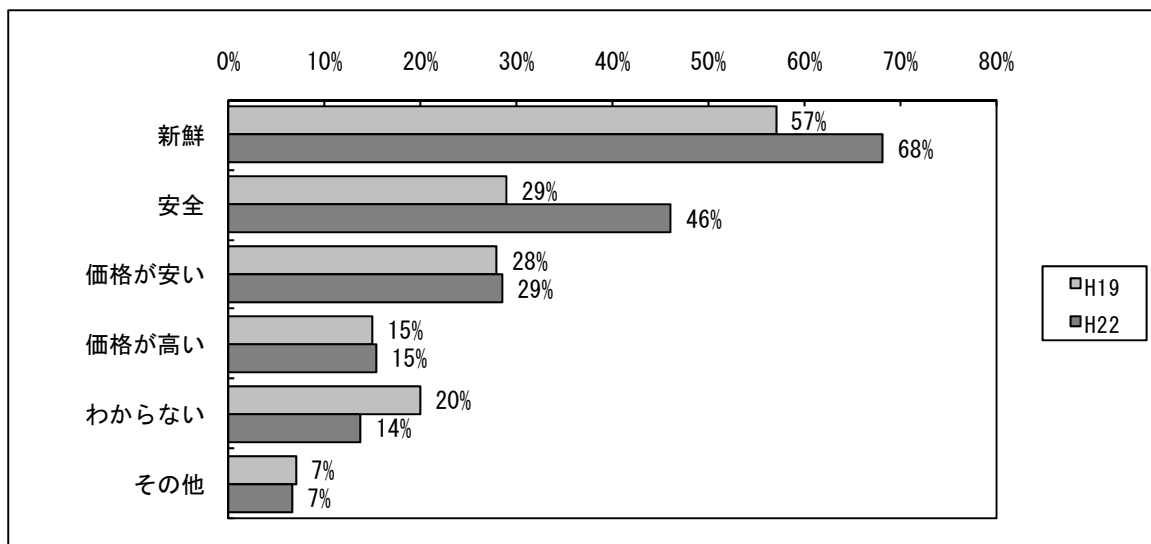
N=607

(2) 農産物の地産地消の普及

問3 あなたは八戸地域で生産された農産物についてどのようにお考えですか。

八戸地域で生産された農産物に対する評価は、「新鮮」が68%と最も高く、次いで「安全」が46%となっています。どちらも平成19年度と比較すると、「新鮮」が11ポイント、「安全」が17ポイント高くなっており、地元の農産物への評価が高くなっていることがわかります。

図 八戸地域で生産された農産物についてどのように考えているか（複数回答：あてはまる選択肢すべて）

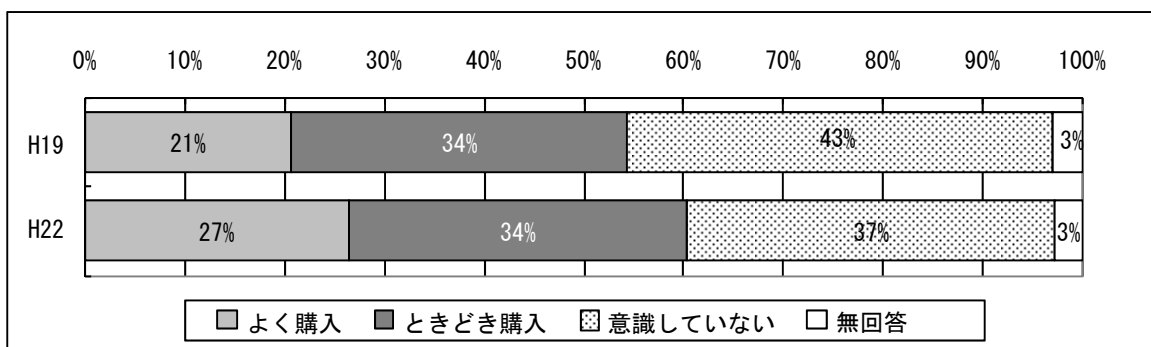


N=607

問4 あなたは、農産物を購入する際に八戸地域の産品をどの程度購入していますか。

八戸地域で生産された農産物の購入実態は、「よく購入」と「ときどき購入」の回答が合わせて61%となっており、半数以上が意識的に購入しています（19年度と比較すると6ポイント上昇）。特に、「よく購入」は21%から27%に増加しています。「ときどき購入」は、ほぼ変化がありません。

図 農産物を購入する際に八戸地域の産品をどの程度購入しているか（単数回答）

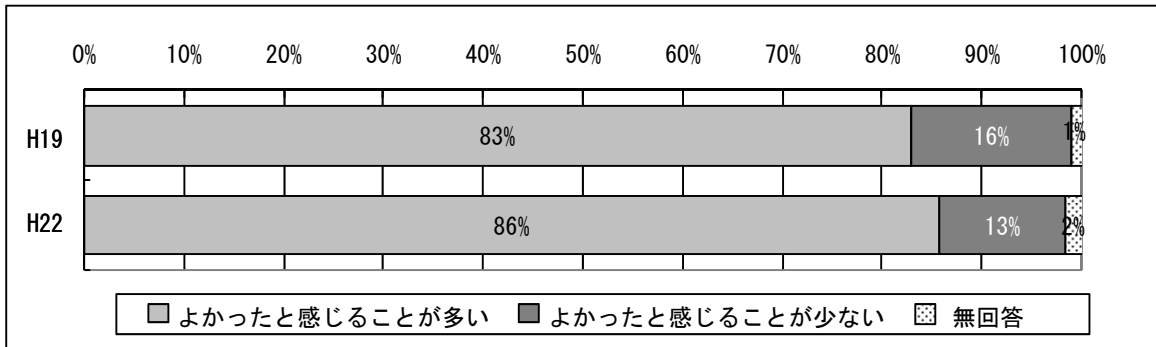


N=607

問4-1 あなたは、実際に八戸地域の産品を購入してみて『よかった』と感じますか。

問4で「よく購入」又は「ときどき購入」と回答した人に対して、購入後の評価を尋ねました。「よかったと感じることが多い」が86%を占めており、八戸地域の農産物が高いポテンシャルを持っていることがわかります。また、平成19年度と比較すると、「よかったと感じることが多い」の割合は、若干増えています。

図 実際に八戸地域の産品を購入してみて『よかった』と感じたか（単数回答）



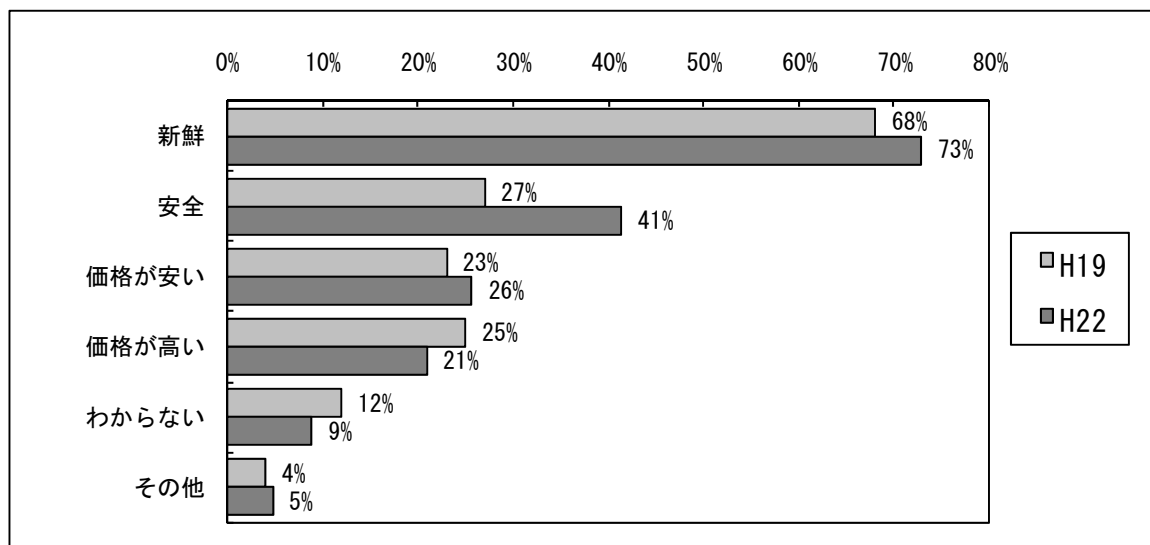
N=367

(3) 水産業の活力の維持・回復

問5 あなたは八戸産の水産物についてどのようにお考えですか。

八戸産の水産物に対する評価は、「新鮮」が73%と最も高くなっており、次いで「安全」が41%となっています。これらの項目に関しては、平成19年度より評価が上がっており、特に「安全」は、14ポイントも高くなっています。また、平成19年度は「価格が高い」が「価格が安い」を上回っていましたが、今回の結果では逆転し、「価格が安い」が「価格が高い」を5%上回っています。

図 八戸産の水産物についてどのように考えているか（複数回答：あてはまる選択肢すべて）

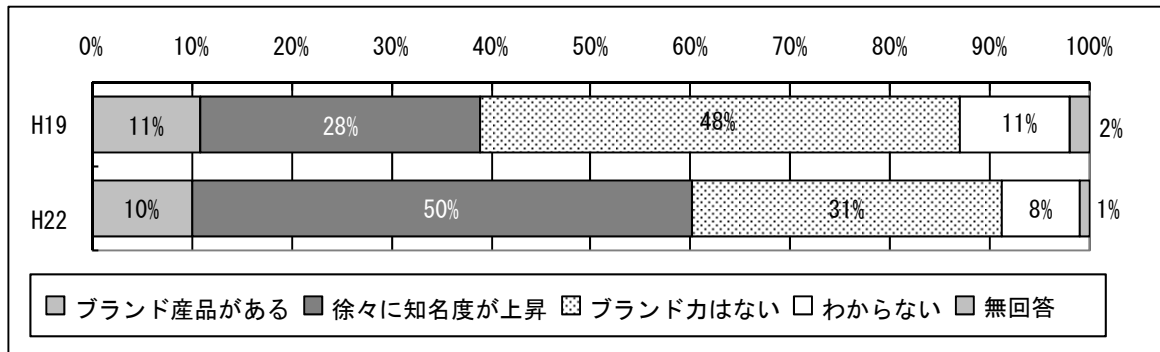


N=607

問6 あなたは、八戸産の水産物がブランド商品になっていると思いますか。

八戸産の水産物のブランド力については、「ブランド商品がある」と「徐々に知名度が向上」を合わせた積極的な評価は60%となっています。特に「徐々に知名度が向上」の評価は、平成19年度から22ポイント高くなっており、「ブランド力はない」は17ポイント低くなっており、八戸前沖さばや八戸銀鯖のような八戸産の水産物に対する評価が上がってきていることがうかがえます。

図 八戸産の水産物がブランド商品になっていると思うか（単数回答）



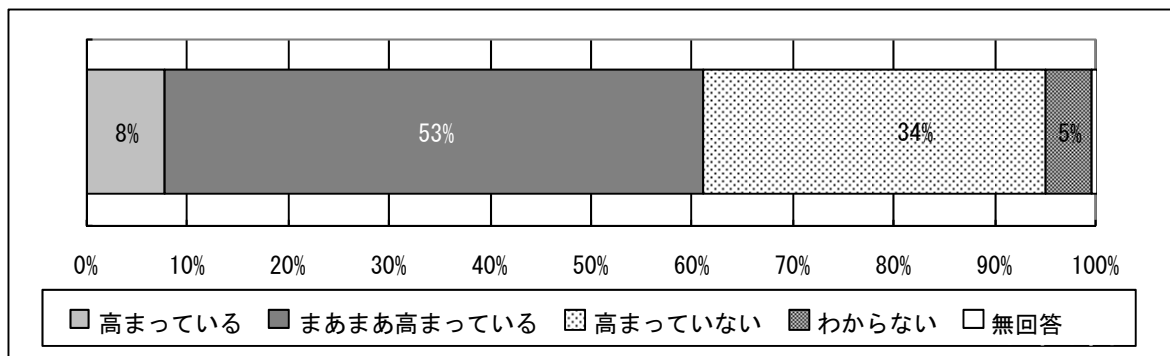
N=607

(4) 八戸市の魅力を全国に発信する取組み

問7 八戸市の全国における知名度について、どのように感じていますか。

八戸市の知名度の評価は、「高まっている」と「まあまあ高まっている」の回答が合わせて61%となっています。せんべい汁など、八戸の食文化が全国的にマスコミに取り上げられている影響が反映されていると考えられます。また、水産物のブランド力を評価している人が多いことの影響も考えられます。

図 全国における知名度について（単数回答）



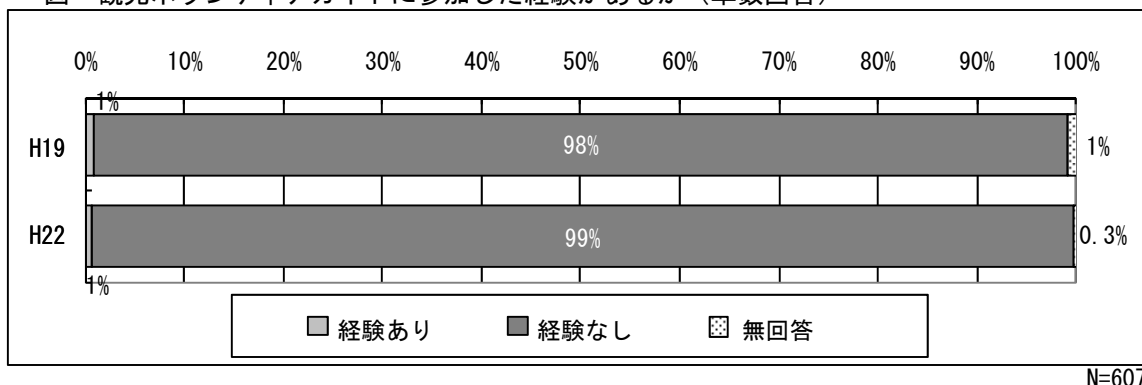
N=607

(5) 市民参画による観光振興

問8 あなたは、観光客の「おもてなし案内人」としての観光ボランティアガイドに参加した経験がありますか。

「おもてなし案内人」については、「参加経験がない」の回答が99%となっており、平成19年度同様、ほとんどの人が「おもてなし案内人」として観光ボランティアガイドに参加したことがないという結果がでています。

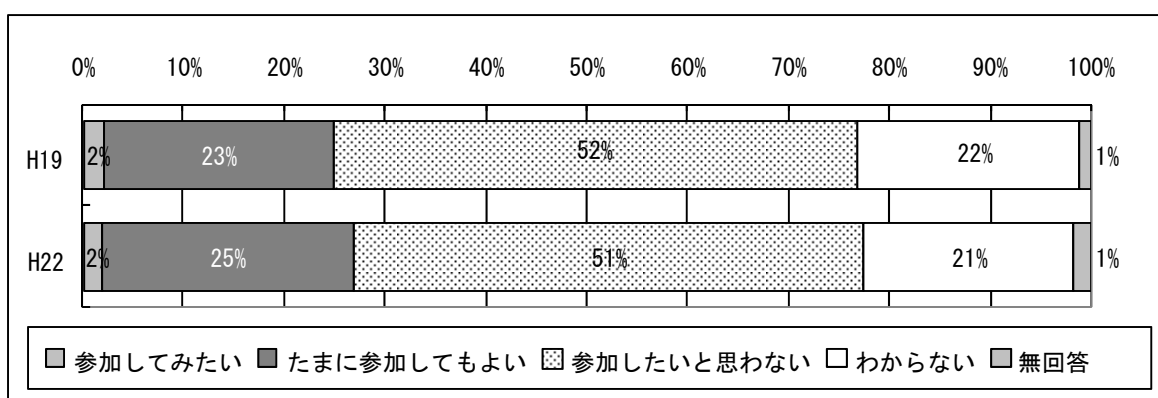
図 観光ボランティアガイドに参加した経験があるか（単数回答）



問8-1 あなたは、観光ボランティアガイドに参加してみたいと思いますか。

問8で「参加経験がない」と回答した人に対して、観光ボランティアガイドへの参加意向を尋ねました。「参加してみたい」と「たまに参加してもよい」の回答を合わせると、27%が参加意向を示しています。また、「わからない」は21%となっており、平成19年度からほとんど変化がありません。

図 観光ボランティアガイドに参加してみたいと思うか（単数回答）

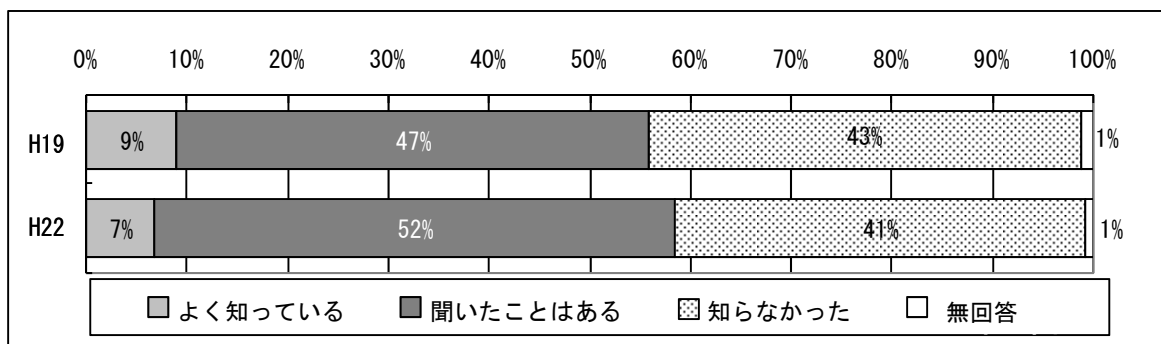


(6) 産学官民の連携促進

問9 あなたは、当市の大学などの学術研究機関（八戸工業大学、八戸大学、八戸工業高等専門学校）が地域経済の振興や地域振興などのまちづくりに参画していることを知っていますか。

学術研究機関が地域経済の振興や地域振興などのまちづくりに参画していることに対しては、「よく知っている」と「聞いたことはある」の回答を合わせて、59%が認知しています。平成19年度と比較すると、若干増えています。

図 大学などの学術研究機関がまちづくりに参画していることを知っているか（単数回答）



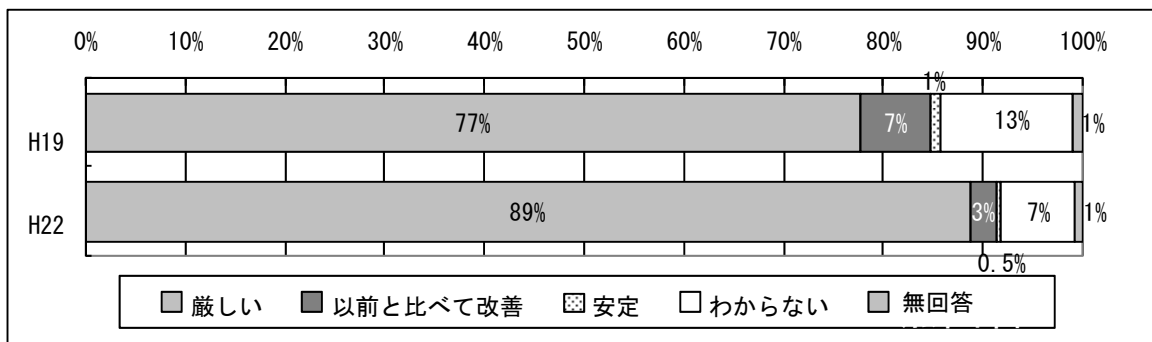
N=607

(7) 雇用を取り巻く状況

問10 あなたは企業の求人の動向など、当市の雇用を取り巻く状況についてどのようにお考えですか。

雇用を取り巻く状況に対しては、平成19年度より12ポイント高い89%が「厳しい」と回答しています。一方で、「以前と比べて改善」は3%に減少しています。この背景には、リーマンショックによる経済状況の悪化による影響があると考えられます。

図 当市の雇用を取り巻く状況についてどのように考えているか（単数回答）



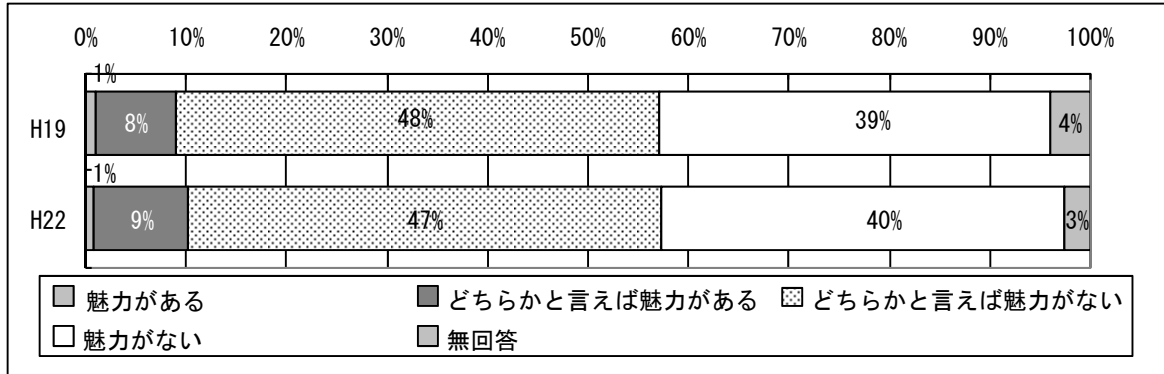
N=607

(8) 中心街の再生

問1 1 あなたは現在の中心街に魅力があると感じていますか。

中心街の魅力については、「魅力がない」と「どちらかと言えば魅力がない」の回答を合わせた87%が消極的に評価していますが、平成19年度と比較して、大きな変化は見られません。

図 中心街に魅力があると感じているか（単数回答）



N=607

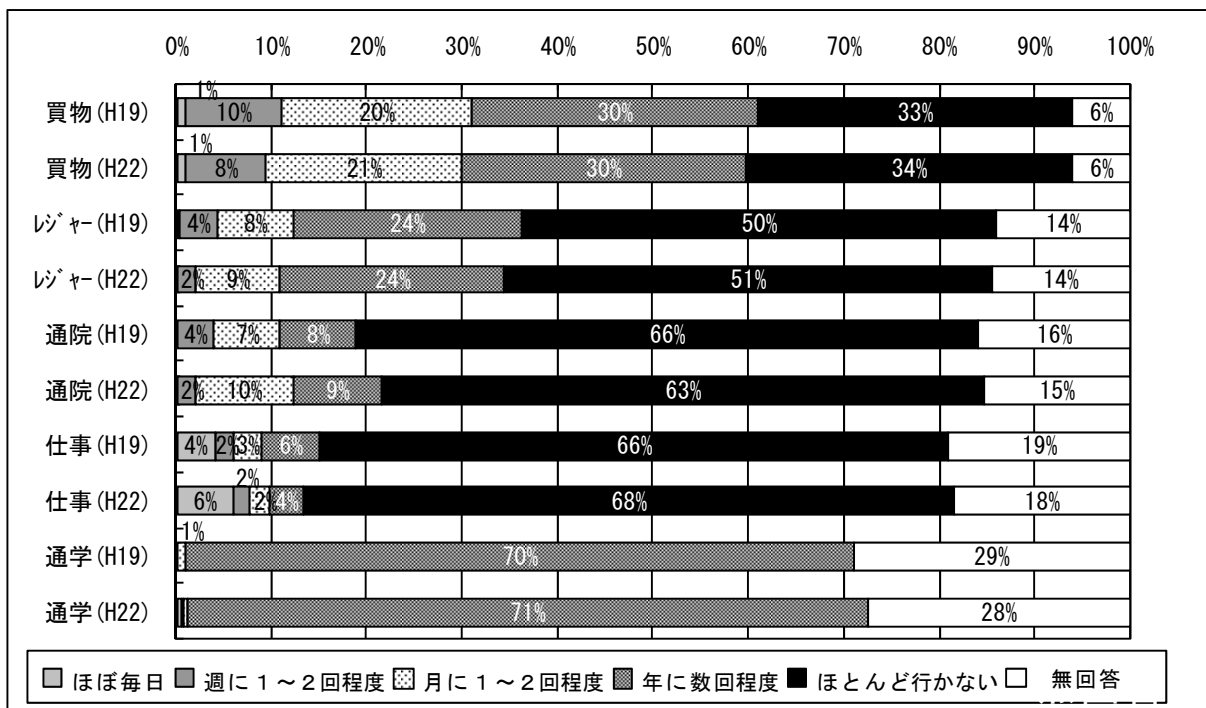
問1 2 あなたが中心街へ出かけていく頻度はどれくらいですか。

中心街へ出かけていく頻度は、買い物が最も多く、「ほぼ毎日」と「週に1～2回」の回答を合わせて9%となっています。また、「月に1～2回」を加えると30%となっています。

レジャーについては、「週に1～2回」と「月に1～2回」の回答を合わせて11%となっています。一方、通院や仕事で訪れる人は少なく、「ほとんど行かない」が63～68%となっています。

どの目的についても、平成19年度と比較して、変化が見られません。

図 中心街へ出かけていく頻度はどれくらいか（単数回答）



N=607

(9) 市民の自主的な文化活動、スポーツ活動の促進

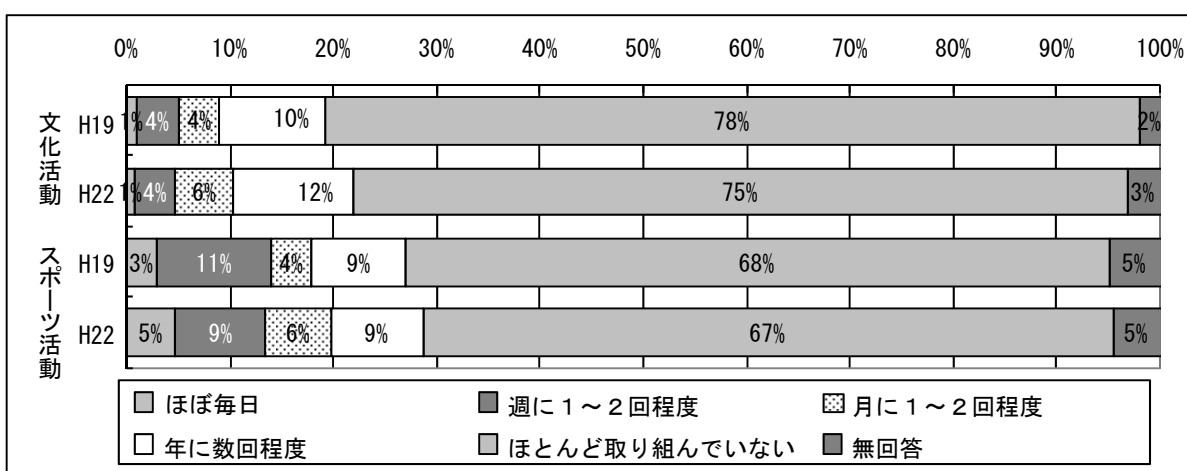
問13 あなたは、日頃から文化活動やスポーツ活動にどの程度取り組んでいますか。

文化活動については、定期的に活動している「ほぼ毎日」、「週に1～2回程度」、「月に1～2回程度」の回答を合わせると11%となっています。また、「年に数回程度」は12%となっています。

スポーツ活動は、文化活動よりも取り組む人の割合が高く、定期的に活動している「ほぼ毎日」、「週に1～2回程度」、「月に1～2回程度」の回答を合わせた割合は20%となっています。また、「年に数回程度」が9%となっています。

文化活動、スポーツ活動ともに、平成19年度と比較して、大きな変化は見られません。

図 文化活動やスポーツ活動にどの程度取り組んでいるか（単数回答）



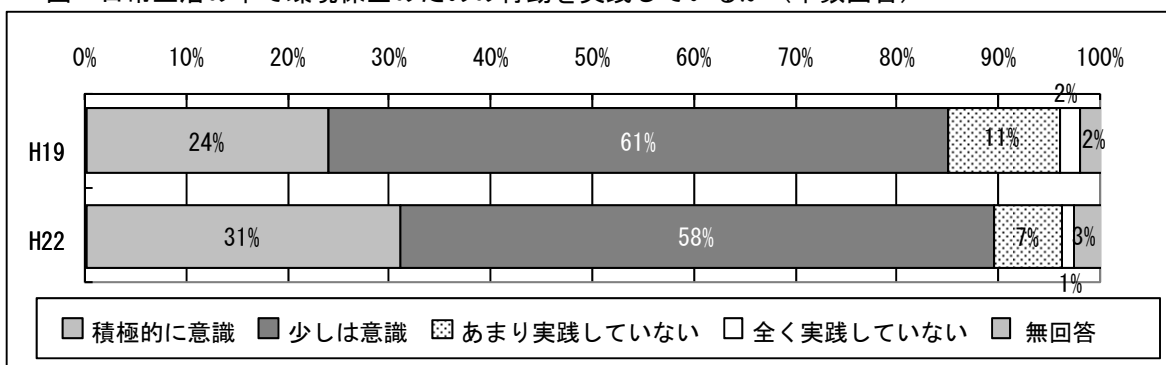
N=607

(10) 市民の環境意識

問14 あなたは、日常生活の中で環境保全のための行動を実践していますか。

日常生活における環境保全行動の実践状況は、「積極的に意識」の回答が、平成19年度より7%増え、31%となっており、「少しは意識」も含めれば、89%の市民が何らかの形で環境保全に配慮しています。

図 日常生活の中で環境保全のための行動を実践しているか（単数回答）



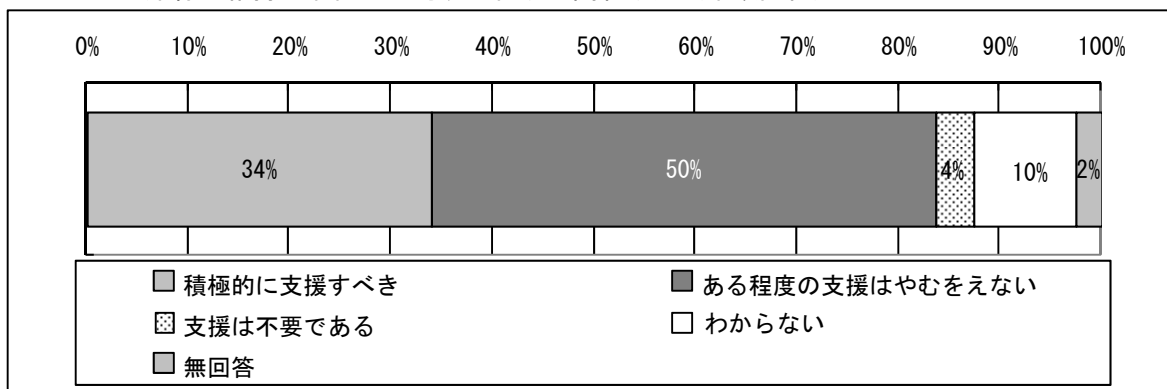
N=607

(11) 公共交通の活性化

問15 あなたは、バス路線の維持・活性化に対する行政の関わり方についてどのようにお考えですか。

バス路線の維持・活性化に対する行政の関わり方については、「積極的に支援すべき」と「ある程度の支援はやむをえない」の回答を合わせると84%となっています。多くの市民がバス路線の維持・活性化に対する行政の関与を望んでいると考えられます。

図 バス路線の維持・活性化に対する行政の関わり方（単数回答）

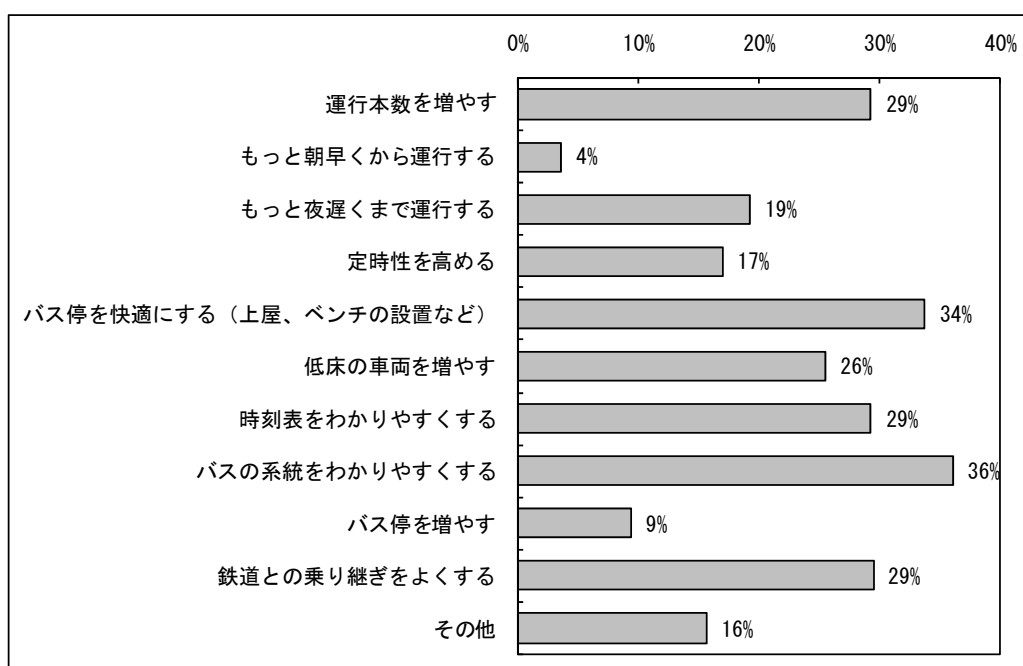


N=607

問16 あなたはバス路線の活性化に対して、どのような取り組みが必要であるとお考えですか。

バス路線の活性化に対しては、「バスの系統をわかりやすくする」が最も高く36%、次いで「バス停を快適にする」が34%、「運行本数を増やす」、「時刻表をわかりやすくする」、「鉄道との乗り継ぎをよくする」が29%となっています。

図 バス路線の活性化に対して、どのような取り組みが必要か（複数回答：あてはまる選択肢3つまで）



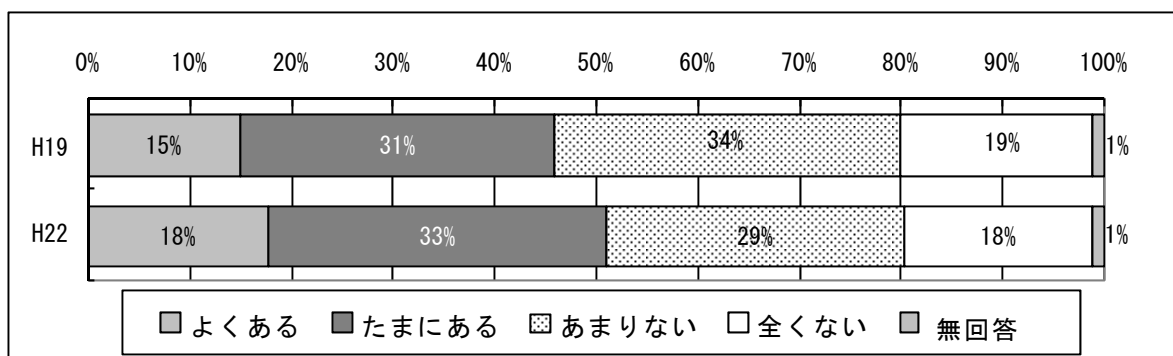
N=607

(12) 地域における世代間交流の推進

問17 あなたは、近所の子どもと話をしたり、子どもに声をかけたりすることがありますか。

近所の子どもと接する機会は、「よくある」と「たまにある」の回答が合わせて51%となっており、平成19年度より5ポイント高くなっています。

図 近所の子どもと話をしたり、子どもに声をかけたりすることがあるか（単数回答）



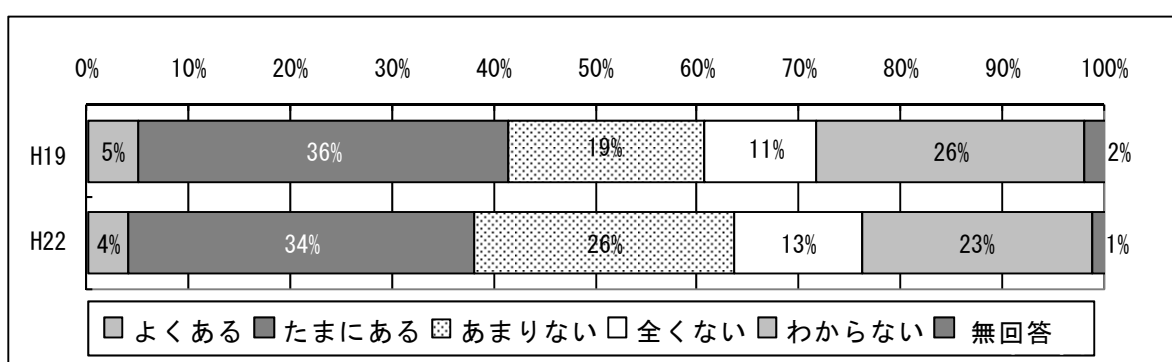
N=607

問18 あなたがお住まいの地域では、子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動がありますか。

地域で子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動は、「よくある」と「たまにある」の回答が合わせて38%となっており、平成19年度より微減しています。一方で、「あまりない」は7ポイント、「全くない」は2ポイント増加しています。

問17の近所の子どもと接する機会は微増していましたが、子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動は減少しています。

図 子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動があるか（単数回答）



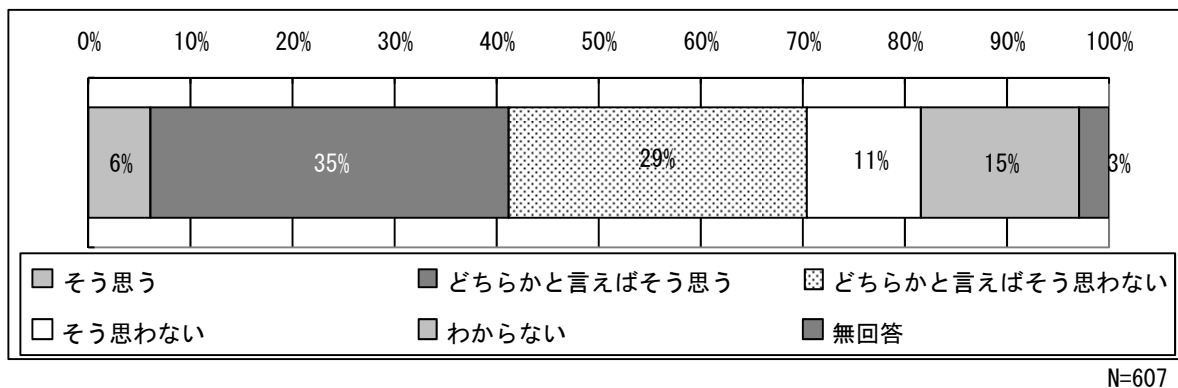
N=607

(13) 子育て環境

問19 あなたは、八戸市が子育てしやすいまちだと思いますか。

八戸市の子育てのしやすさについては、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の回答が合わせて41%になっており、子育てをしやすいと感じている市民は半数以下となっています。

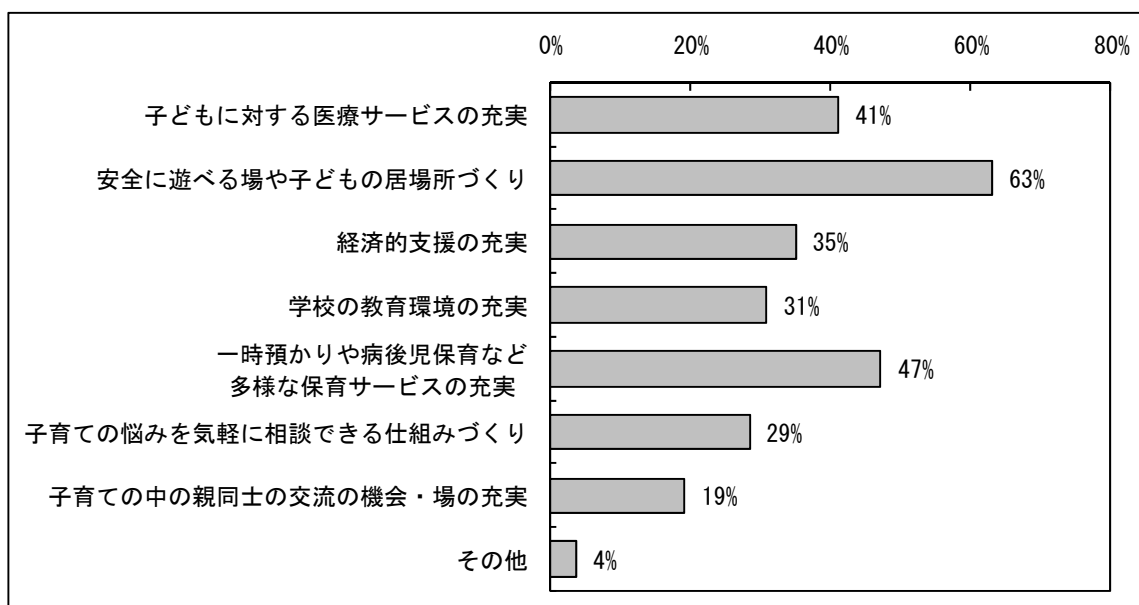
図 八戸市が子育てしやすいまちだと思うか（単数回答）



問20 あなたは、当市をより子育てしやすいまちにするために、どのようなことが大切だと思いますか。

子育てしやすいまちにするためにどのようなことが大切かについては、「安全に遊べる場や子どもの居場所づくり」の回答が最も高く63%となっており、子どもが巻き込まれる事故や犯罪報道等が背景にある可能性があります。次いで、「一時預かりや病後児保育など多様な保育サービスの充実」が47%、「子どもに対する医療サービスの充実」が41%となっています。

図 子育てしやすいまちにするために、どのようなことが大切か（複数回答：あてはまる選択肢3つまで）

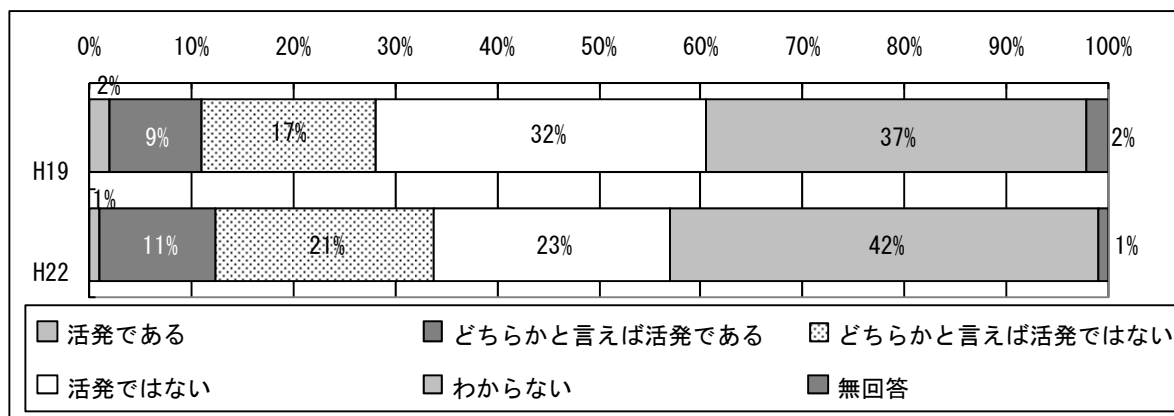


(14) 高齢者・障がい者の生活環境

問21 あなたがお住まいの地域では、福祉ボランティア活動が活発に行われていると感じていますか。

地域での福祉ボランティア活動は、「活発ではない」と「どちらかと言えば活発ではない」の回答が合わせて44%となっており、平成19年度から大きな変化は見られません。

図 福祉ボランティア活動が活発に行われていると感じているか（単数回答）

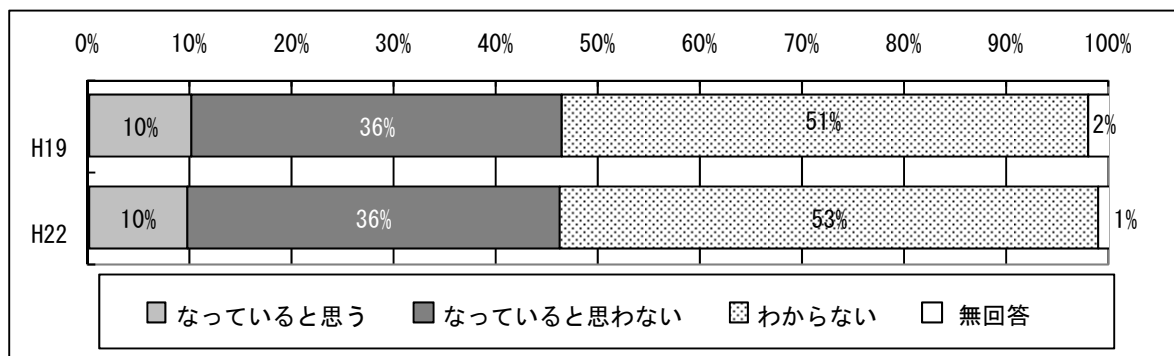


N=607

問22 あなたがお住まいの地域では、障がい者やひとり暮らしの高齢者が、災害時などの緊急時に地域の中で支援を受けられるようになっていると思いますか。

障がい者やひとり暮らしの高齢者が災害時などの緊急時に地域の中で支援を受けられるようになっているかどうかについては、「なっていると思う」が10%、「なっていると思わない」が36%の回答となっており、平成19年度からほとんど変化は見られません。

図 障がい者やひとり暮らしの高齢者が、緊急時に支援を受けられるようになっていると思うか（単数回答）



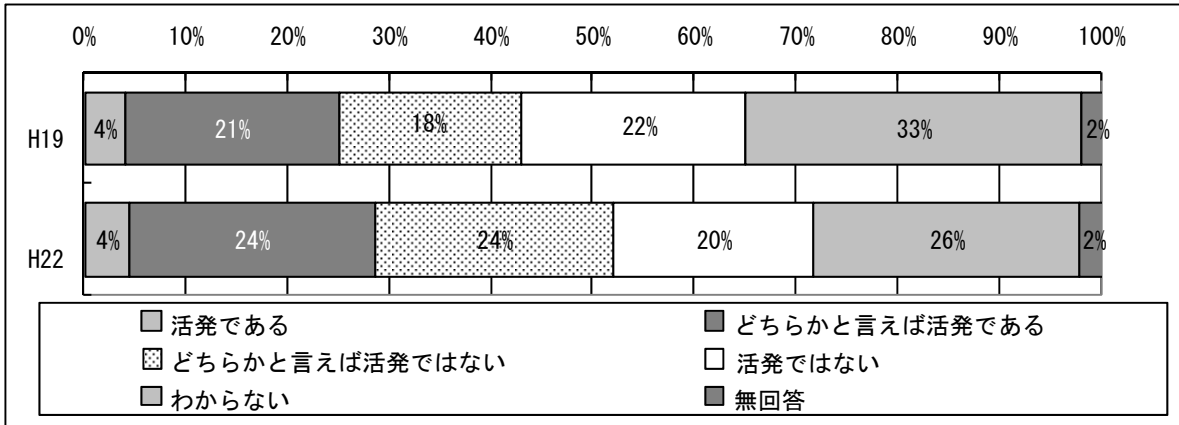
N=607

(15) 健康な生活や暮らしの安全の確保

問23 あなたがお住まいの地域では、健康講座や運動指導をはじめとした健康づくり活動が活発に行われていると感じていますか。

地域での健康講座や運動指導をはじめとした健康づくり活動の状況は、「活発ではない」と「どちらかと言えば活発ではない」の回答が合わせて44%となっており、平成19年度からほとんど変化が見られません。一方で、「どちらかと言えば活発ではない」は6ポイント増加しています。

図 健康づくり活動が活発に行われていると感じているか（単数回答）

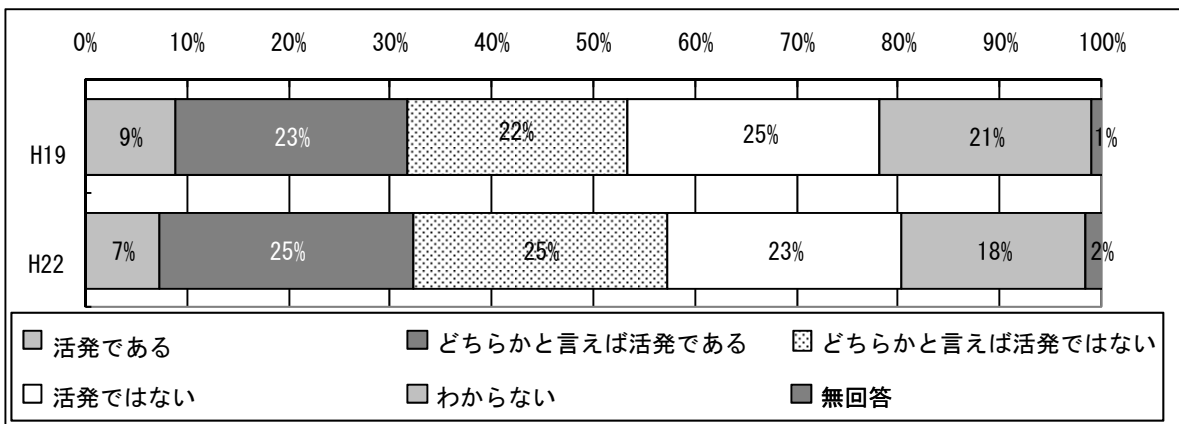


N=607

問24 あなたがお住まいの地域では、日ごろから安全・安心活動（防災訓練、防犯パトロールなど）が活発に行われていると感じていますか。

地域での安全・安心活動の状況は、「活発ではない」と「どちらかと言えば活発ではない」の回答が合わせて48%の回答となっており、平成19年度から変化が見られません。

図 安全・安心活動が活発に行われていると感じているか（単数回答）



N=607

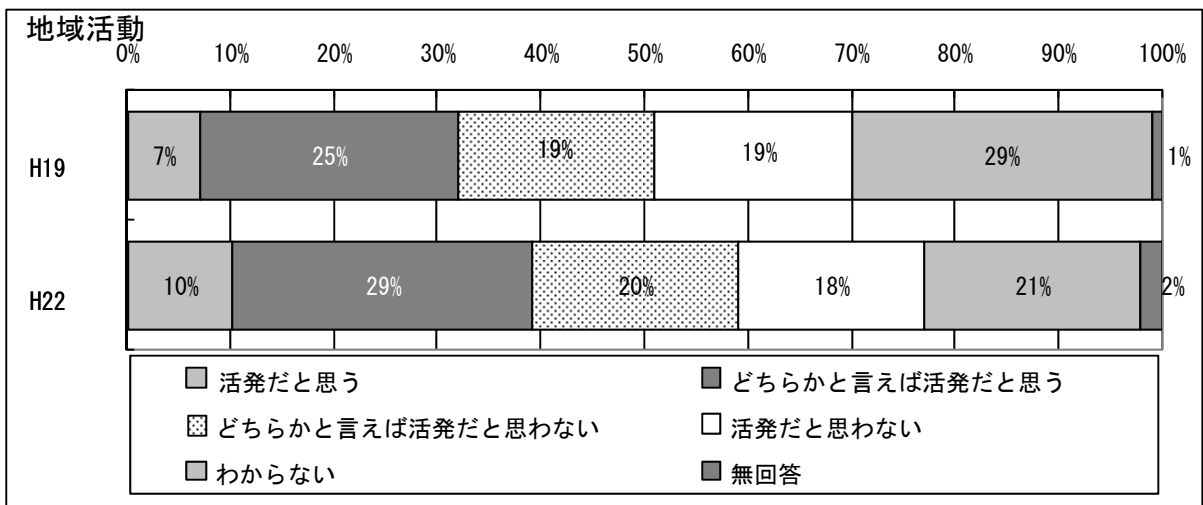
(16) 市民と行政による協働の仕組み

問25 あなたがお住まいの地域では、町内会や自治会などの地域活動が活発だと思いますか。
また、本市では市民活動が活発だと思いますか。

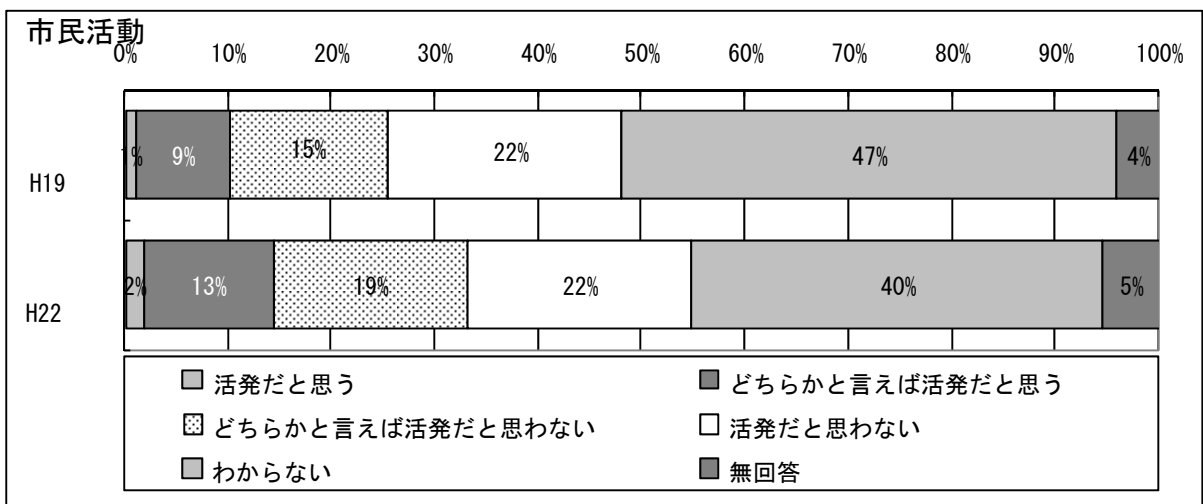
地域活動の状況は、「活発である」と「どちらかと言えば活発である」の回答が合わせて39%となっており、平成19年度と比較すると増加しています。

一方、市民活動の状況は、「活発である」と「どちらかと言えば活発である」の回答が合わせて15%となっており、平成19年度から増加しています。一方で、「どちらかと言えば活発だと思わない」と感じている人は微増しています。

図 地域活動・市民活動が活発だと思うか（単数回答）



N=607



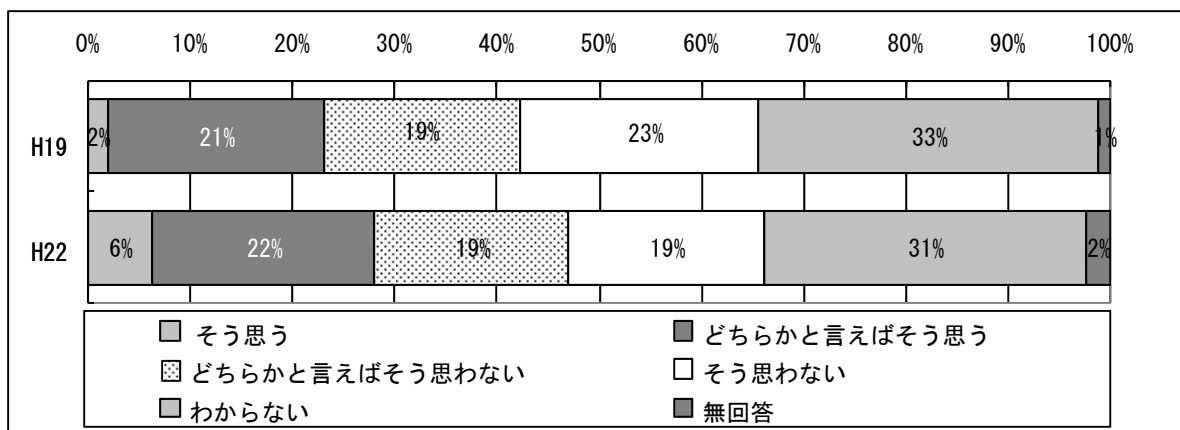
N=607

(17) 市民福祉の向上や効率的な行政運営

問26 あなたは、市の行財政運営に関して、積極的に情報が公開・提供されていると感じますか。

市の行財政運営に関し、情報公開・提供がなされているかどうかについては、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の回答が合わせて28%となっており、平成19年度より増加しています。一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」の回答は、合わせて38%となっており、平成19年度より減少しています。

図 市の行財政運営に関して、積極的に情報が公開・提供されているか（単数回答）



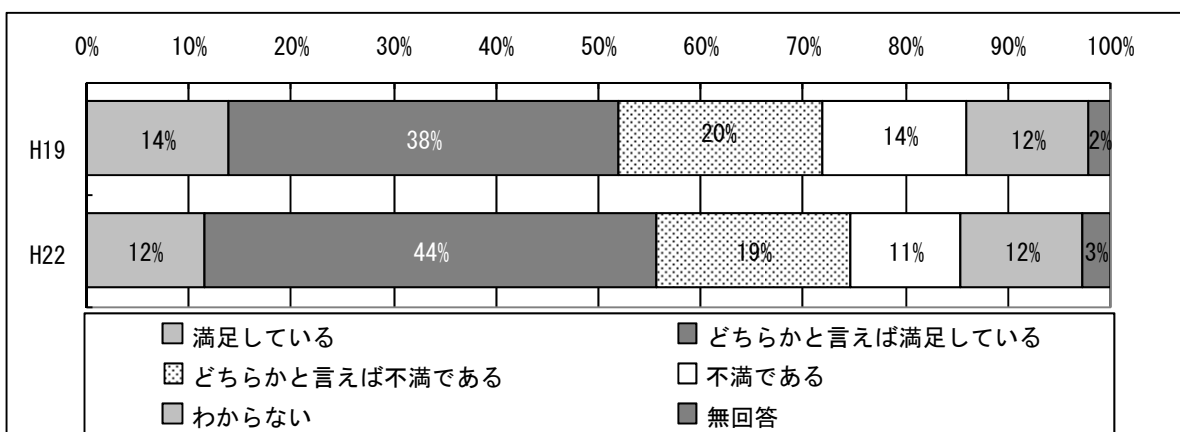
N=607

(18) 窓口サービスの向上や、市民への情報提供

問27 あなたは、市役所の窓口での職員の対応や姿勢に満足していますか。

市役所の窓口での職員の対応や姿勢については、「満足している」と「どちらかと言えば満足している」の回答が合わせて56%となっています。平成19年度と比較すると、「満足」する傾向はやや増加しています。

図 市役所の窓口での職員の対応や姿勢に満足しているか（単数回答）

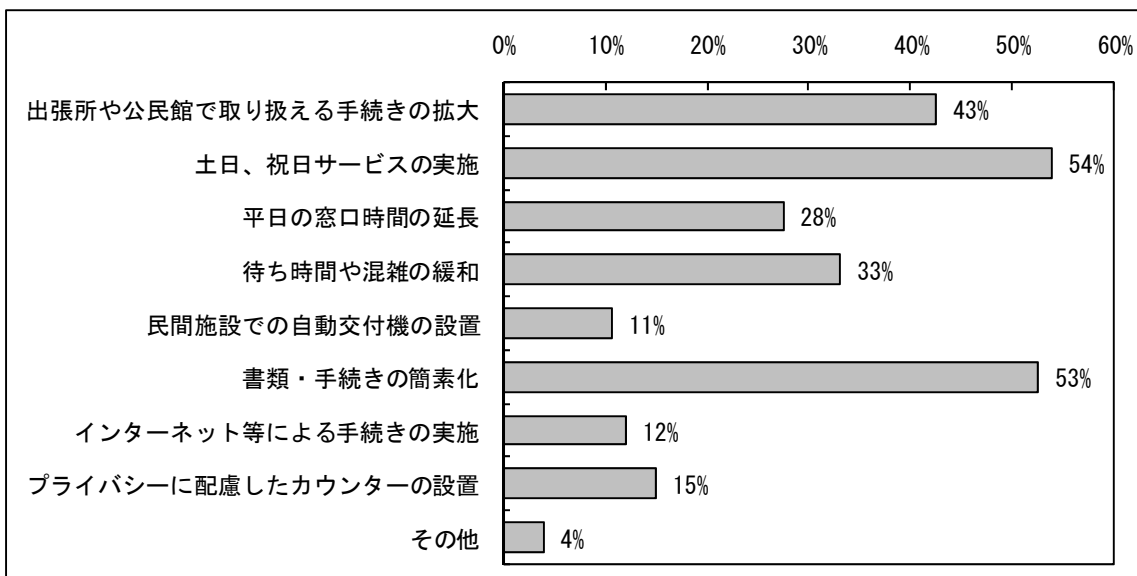


N=607

問28 あなたは、市役所の窓口で、どのようなサービスを充実してほしいと思いますか。

市役所の窓口でのサービスについては、「土日、祝日サービスの実施」が最も高く 54%、次いで「書類・手続きの簡素化」が 53%、「出張所や公民館で取り扱える手続きの拡大」が 43%となっています。

図 市役所の窓口で、どのようなサービスを充実してほしいか（複数回答：あてはまる選択肢3つまで）

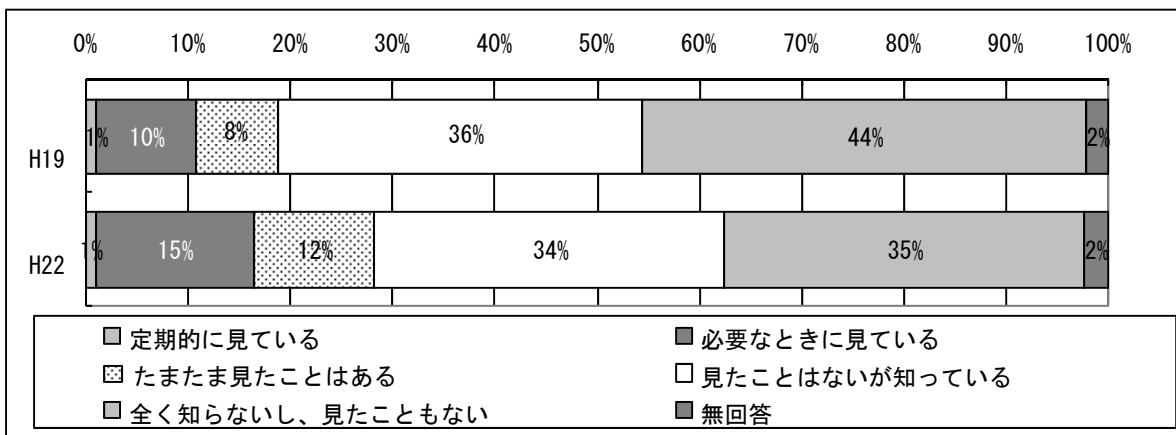


N=607

問29 当市では、インターネットにホームページを開設し、さまざまな情報の提供を行っています。あなたは八戸市のホームページをご覧になったことがありますか。

八戸市のホームページを見たことがあるかどうかについては、「定期的に見ている」と「必要なときに見ている」の回答が合わせて 16%となっており、平成 19 年度より増加しています。一方、「全く知らないし、見たこともない」は 35%となっており、平成 19 年度より減少しています。

図 八戸市のホームページを見たことがあるか（単数回答）

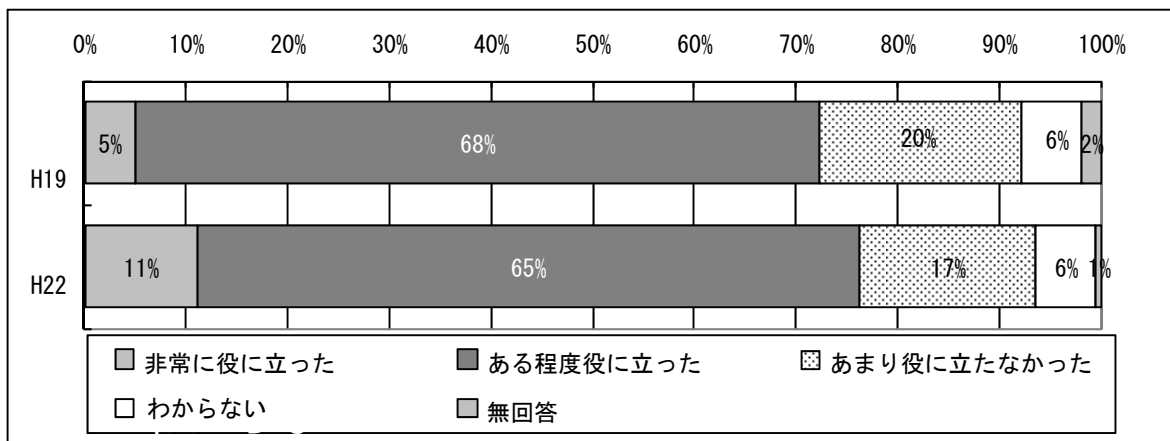


N=607

問29-1 市のホームページについてどのように感じましたか。

問29で「見たことがある」と回答した人に対して、市のホームページへの評価を尋ねました。「非常に役に立った」と「ある程度役に立った」の回答を合わせた76%が役に立ったと感じています。特に「非常に役に立った」は19年度と比較すると増加しています。

図 市のホームページについてどのように感じたか（単数回答）



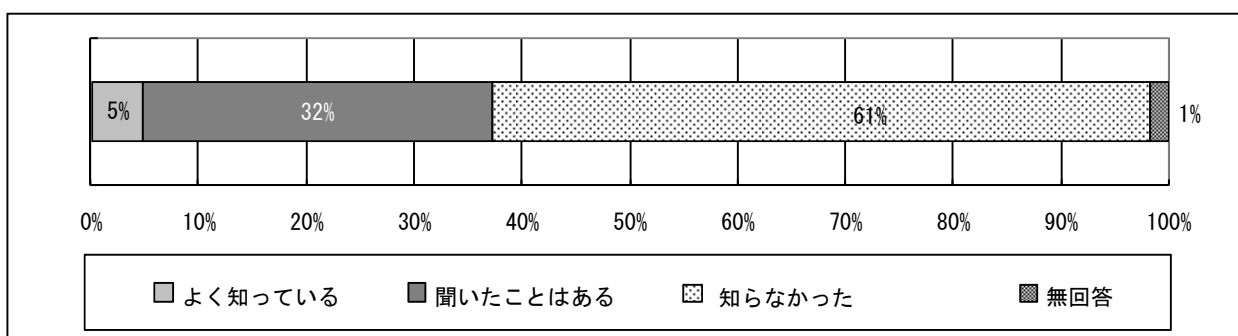
N=117

(19) 定住自立圏構想

問30 あなたは、本市が「定住自立圏構想」を推進していることを知っていますか。

「定住自立圏構想」の推進については、「よく知っている」と「聞いたことはある」の回答を合わせると37%となっており、全体の1/3程度にとどまっています。

図 「定住自立圏構想」を推進していることを知っているか（単数回答）

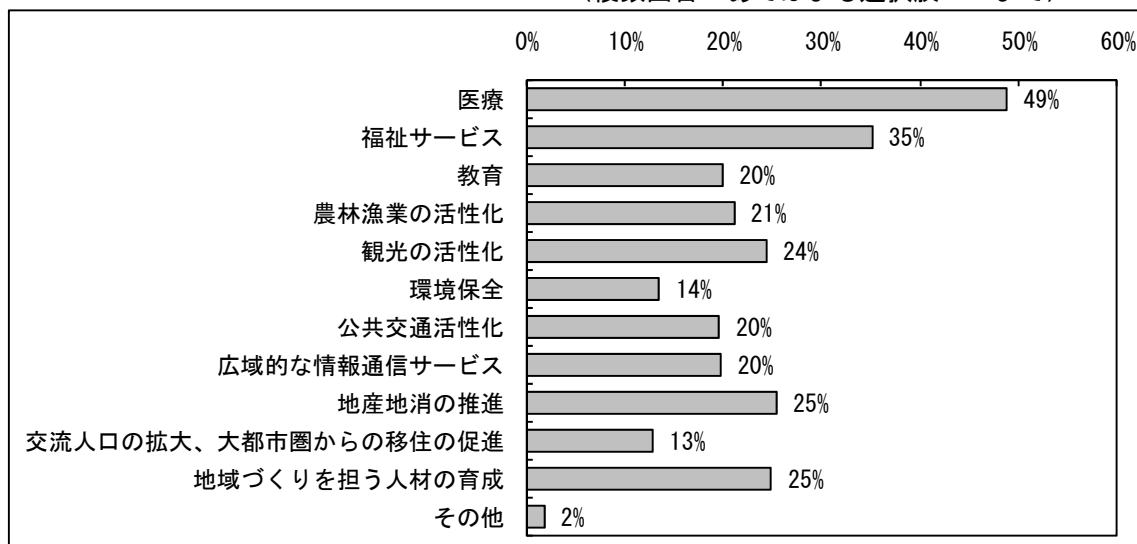


N=607

問31 あなたは、「定住自立圏構想」の推進にあたり、どのような分野での連携・協力を期待しますか。

「定住自立圏構想」の推進にあたり期待することについては、「医療」が最も高く49%、次いで「福祉サービス」が35%となっています。

図 「定住自立圏構想」の推進にあたり、どのような分野での連携・協力を期待するか
(複数回答：あてはまる選択肢3つまで)



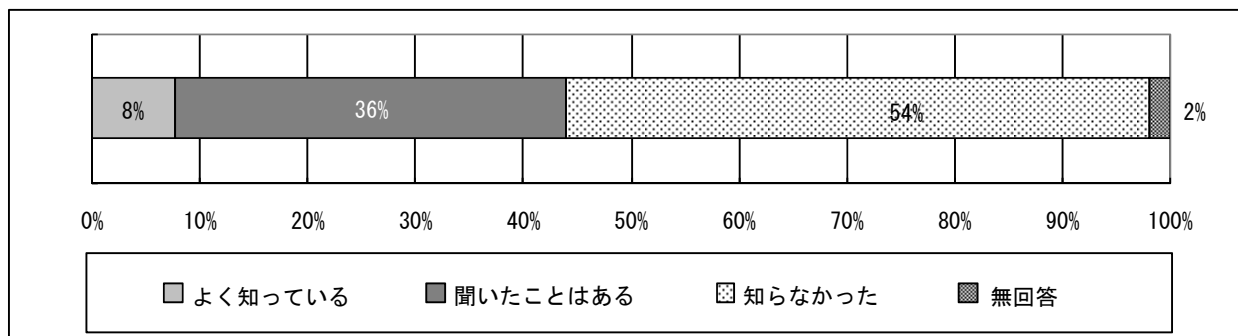
N=607

(20) 三圏域連携

問32 あなたは、本市が「三圏域連携」を推進していることを知っていますか。

「三圏域連携」の推進については、「よく知っている」と「聞いたことはある」の回答が合わせて44%となっており、「定住自立圏構想」より認識が高くなっています。

図 「三圏域連携」を推進していることを知っているか(単数回答)

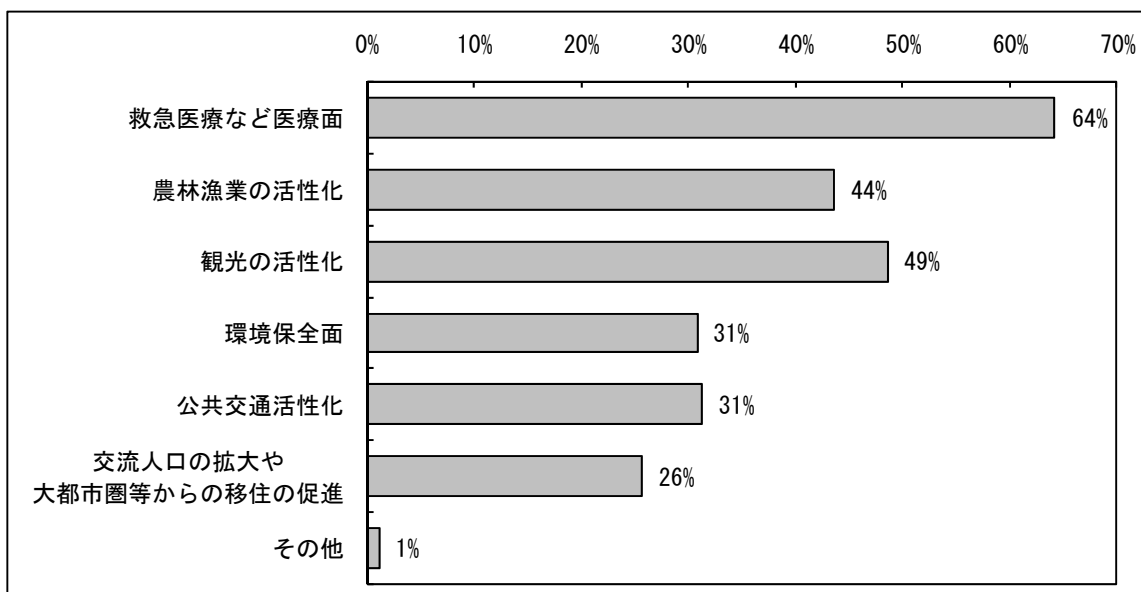


N=607

問33 あなたは、「三圏域連携」の推進にあたり、どのような分野での連携・協力を期待しますか。

「三圏域連携」の推進にあたり期待することについては、「救急医療など医療面」が最も高く64%、次いで「観光の活性化」が49%、「農林漁業の活性化」は44%となっています。

図 「三圏域連携」の推進にあたり、どのような分野での連携・協力を期待するか
(複数回答：あてはまる選択肢3つまで)



N=607

4. 自由意見

	項目	自由意見		
住民自治	住民自治	私達の地区の老人クラブは資源回収の費用でゴミの回収ボックスを設置しました。すごい力です。今まで散財していたゴミも見ただ目にきれいになり、地域の美化は地域に住む人で心がけなければいけないと思います。		
		現在、携帯ばかりを使っている若者達は新聞を読むという習慣がありません。なので、八戸でどんな取組をしているのか、社会がどうなっているかなんて分からない人が多いと思いますし、社会の厳しさを知らない方が多いように感じています。これから作っていく若者達に、まず協力する姿勢が見られませんし、分かっていないのです。活性化も大切です。しかし、その前に市民の意識・協力がなくてはできない事だと私は思います。		
		自分の考えをしっかりと持った人が少ない。		
		八戸駅から八戸線に乗り、長苗代で降りて通勤しているが、中国からの観光客の方も目にするようになりました。歯の治療に行くと欧米の方とも会います。バスの中・電車の中で若い人のマナーがなくなって、つつい口を出すこともありますが、その点、スポーツをしている子達はしっかりしていて好感が持てます。外国人の方から見て恥ずかしくない（マナーを守る）若い人達を育てて欲しいと思います。		
	町内会・自治会	近所づきあいの希薄さにビックリしております。自治会に入る事をためらう人達の多さもすごい無責任だと感じています。		
		町内会に入る人が少なく、町内会費を負担している人だけが損をしているみたいになっている。絶対に支払わなければならないようにして欲しい。例えば年 3500 円とかを、住民税に足して支払わせるなど。		
		問 24. 安全・安心活動については、巡回する事が目的になっているようで、何の為に疑問を持つ事もあり。		
		問 25. 町内会・自治会の地域活動状況については、アパート住まいで町内会にも入っていないので、町内の様子とか何をやっているのか等、何も分かりません。		
		自治体経営の強化	自治体経営	・庁舎の利用者窓口について 窓口は行政と言ってもサービス業と私は考えております。それは利用者には直接接しているからであります。各種相談や書類の受渡、時間待ちなど挨拶・態度（お待たせ致しました、少々お時間お掛け致しますが、お待たせ致しました等々）、接客基本動作用語意識が欠如されていると思われませんが、従来型の役所職員意識から、①感じの良い発声、②親切、③丁寧、④迅速なる対応。 時代に即応した改革をして頂きたいと思います。特にベテラン職員の皆様へ。新人の職員方々全員は2～3ヶ月位、窓口研修にて接客技術向上を目指す制度はどうか。
				天下りに反対。
アンケートの質問・答えが、市の仕事を肯定的に捉えているが、八戸市にとって今一番考えなければならないのは、市職員の意識改革ではないのか。				
岩手県では住民票や印鑑証明書等がコンビニでとれると聞きましたが、八戸ではまだですか（以前よりは待ち時間が短縮されていると思いますが）				
議員の削減。				
議会での決定事項や市長の顔がまったく見えてきません。このアンケートを出す前に、八戸を良くする方法が分からないのでしょうか？				
公務員の給料が高いので見直して欲しい。				
この前、市営バスを利用した際にアンケートを取っていましたが、恐らく運転手の人は臨時職員の人だと思います。運転席の後ろに座っている人がアンケートを回収する人です。運転手の人は頭を下げてありがとうございますと、よけいに頭を下げ、恐らく市職員の交通部の人（アンケート回収の人）はふんぞり返ったまま無言でした。誰がより収入を得るべきで、誰が収入を得すぎているか考えて下さい。市営バスの例でもこんなことなのに、八戸が活性化することはないですよ。				
これだけ技術が発達しているのに公務員の人員を減らせないのは何故？ 企業が利益を出す為にまず行うことは、無駄を省くという事。何故行政はできないのかというと、公務員という甘え。				

分野	項目	自由意見
自治体経営の強化	自治体経営	市がどのような方向に進んで行きたいか？や、どのような取組をしているのかを、今回のアンケートで知る内容のものもありました。おそらく内容（取組）を知らない人は多いのではないのでしょうか。 広報や何かで呼びかけたり、地域の方々との交流が少なくなっているのので、各地区ごとのイベントなどを企画するのも良いのではないのでしょうか？
		支所は必要かどうか疑問。来所者達はほとんど証明届（戸籍、印鑑証明等）の為に感じる。 難しい件に関しては本庁に行く事になるので必要ないと思う。対応も愛想なく、時間前に帰宅の用意をしているところもある。 支所の在り方を見直した方が宜しいのではないかと。良い印象はない。
		市で取り組んでいる事が多いようですが、それが市民に伝わっていない気がします。もっと分かりやすく市民に多く伝わる工夫が欲しい。
		市役所、銀行、郵便局は、日曜日でも営業して欲しいです。
		住みよい八戸（市議会の方をお願い） 八戸市民の事を中心に考えられない議員様、バッチを外して市議会を辞任して下さい。市民全員の税金です。
		問 27. 市役所職員の対応については、市庁は不満だが、支所は満足している。
		独自のサービス等を考えて実行して頂きたい。行政で目立つような住民サービスを考えて欲しい。そういう意味で日本国中から注目を浴びて頂きたい。
		何年前かに市役所でのアルバイトをさせていただきましたが、正直、そこで初めて市役所の現状を見た気がします。 私だけの判断ではなんとも申し上げる事はできませんが、まだまだ改善すべき点はあるのではないのでしょうか。市民と一番多く接するところが、市役所全体のイメージになると思います。当たり前のように行われている事が市民にとっては当たり前でないという事も多いと思います。 当市において様々な活動が行われているのは分かりますが、その結果がどうなのか、市民が本当に望んでいる事は何かを理解していただきたいと思います。
		漠然とした話ですが、子ども達の時代になっても八戸の財政が健全でいられるかという事が心配です。今もどうかよく分かりませんが。 自分の田舎が大好きです。よろしくお願ひします。
		八戸観光に訪れる方々に言葉づかいと笑顔を忘れないで欲しいと思います。特にタクシー会社をお願いします。
		八戸は税金が高すぎる！（市役所の職員も言っていた）どれだけ頑張っても納めても何も残らない！貯蓄ゼロです。 市役所は取り立てがすごいね、サラ金みたい。払うときは手続きの連続で時間かけるし。
		本当に生活に困っている人達の話を知りたい。特に役所職員の対応には腹が立つ事が多く、お役所意識を無くして欲しい。
		民間企業の労働者と公務員との収入の格差が地域経済の妨げになっているのではないのでしょうか？ 会社では利益の還元としてボーナスが支給されます。公務員のボーナスは何の還元なのですか？ありえないでしょ！私達の税金で生活している人達が税金で国を支えている人達より豊かな生活をしているなんて！ そんな社会の中で血を吐く思いで働き、賃金を得て、生活を切り詰めてまで税金を納めているのに、まちづくりに協力しろと言われても「自分たちの生活を守るのに精一杯です」としか言いようがありません！貧富の差の無い街にして下さい。
		もっと市職員の人数や役割などを見直し、市が市民の為のものという事を自覚してもらいたい。
		我が家では税金を沢山払っている方だと思っていますが、家の周りには除雪も来ないし、なんかあまり自分達に反映されていないと感じます。
		経済状況が低迷しているなか、市県民税、固定資産税なども高く、取るものは取るという感じで、あまりに暮らしぶらい街だと思ひます。
		今回の状況だと市民が役人の為になけなしの金を出しているようである。もっと公務員が一般市民の目線にならないとダメだと思ひます。

分野	項目	自由意見
自治体経営の強化	自治体経営	市政の無理・無駄・ムラは、金額的な意味も含め、どのように役に立ったのかをもっとアピールすべき。
		市長さんも選挙の時だけ良い顔をしているという印象です。もっと市民に近い市長さんになって下さい。
		市役所の職員が多すぎる。
		市役所の窓口の人数が多すぎる！アルバイトの方が頑張っているのに職員の方がボーっとして終了時間をただお茶を飲みながら待っている！もう少し財政難なこの時期考えてもらいたい！
		重税感が非常にある。無駄遣いはしないで、名古屋の市議会を参考にしてみてもどうですか？
		障がい福祉課の窓口の人（その人だけであろうが、偉い人らしい）が、利用申請に訪れた人に対して高圧的な言動をしたり、「〇〇事業所？何をしているのか分からないし、勧められない、評判も良くない」などと、聞きようによっては営業妨害ともとれるような対応をしている。申請に訪れた人は戸惑うし、果たして公平であるはずの行政が特定の事業所に対しての個人的な意見・見解を押しつけてもよいものなのか…と、甚だ疑問に感じる出来事を見聞きした。本来あってはならないことだと思う。
		情報公開については、議会で誰が提案・賛成・反対したか、個人名をその都度明確に公開して欲しい。
		人口の割合に対して議員の数が多いと思う。次の選挙の時は数を減らして下さい。議員の定年制を設けて下さい。
		税金・物価が高い。
		納税等で期日までに納められず、肩身を狭くして相談に行くのですが、人によっては犯罪者のように扱われました。市職員の教育をして頂きたいです。
		問 27. 市役所の窓口での対応については、30分以上会話して遊んでいる市職員が居る。
		問 27. 市役所職員の対応については、数年前の団地受付の年輩の男性（メガネ無し）は態度が最悪でした。何度も一つの事で休日に足を運ばなければならず、説明不足なところがあります。
		問 28. 市役所の窓口サービスについては、書類・手続きの簡素化で老人にやさしくして欲しい。
		問 28. 市役所の窓口サービスについては、平日の昼の待ち時間や混雑の緩和を望む。
問 29. ホームページでの情報提供については、年を取った人にインターネットやホームページなど関係ない。		
有給と称して、遊びのために忙しくても休みをとれる市の職員に対する管理のずさんさが見えます。年間の休みを 100%取るという考えは、一般会社の私にとってとてもあまく、とても私達の税金を使用している職員の姿ではありません。市の管理はずさん過ぎると思います。		
教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画	学校教育	公立学校の整備をして欲しいです。（古すぎてかわいそう）
		出産から成人するまでの各種支援を充実させて欲しい。 例えば幼稚園、小学校、中学校、高校での基本的な教育費等や、スポーツクラブ、医療。（予防接種の費用）
		八戸は教育環境が良くないと思う。もっといかに教育が大事なのかを小さい頃から教え込んで、将来のために個人レベルを上げていかないとダメだと思う。
		南高校の廃校の中止を強く希望します。鮫町が死んでしまいます。

分野	項目	自由意見
教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画	社会教育 スポーツ	教育にお金をかけて人育てをするべき。地元の魅力があれば必ず戻ってくるはず。
		現在市では、屋内スケート場の建設を頑張っておられますが、年に1～2回プロ野球でも呼べるような球場を作ってもらいたい。 観戦することで少年達のレベルの向上につながり、ひいては全てのスポーツ選手の励みになると思います。
		県立屋内スケート場を本年中に作る事。
		プロ野球を呼べるような球場も欲しい。
		体力維持の為にウォーキングされている方々が居ますが、河川敷などウォーキングできる場所もありますが、もう少し整備されれば良いと思います。
	文化	(新縄文学習館) 建設している意図がよく分からない。合掌土偶用の施設でしょうか？オープンしても1回行けば2回目は行きたいと思わない。建設している場所(是川の田んぼ)も悪いので、わざわざ行く人はよほどの土偶好きでしょう。
		郷土史の市民への普及活動。(例：根城南部氏と八戸南部氏の違い等)
		縄文館、山車会館は必要ないと思う。
		美術館の建設をお願いしたいです。
		八戸美術館の見直し(場所、展示、イベント)をして欲しい。
	レジャー	こどもの国がつまらない。民営化した方が良い。しなさい。
		ポートアイランドへのレジャー施設を造る。
		海の八戸なので本格的な水族館があれば良いと思う。イルカショーや海底トンネルなどが最低限必要で、今のマリエントには足を運ぶ気にもなれない。
		娯楽施設の充実。
		子どもが集まれば活性化へ自然とつながると思うのですが…。 いわて子どもの森のような、中でも外でものびのびできる施設を作って欲しいです。 自然の良さと、屋内で大人・子どもが充実できる場が欲しいです。
		中心街に子どもを思いっきり遊ばせられる所があると行くと思います。 八食センターの2階のような三輪車をしたり走ったりできるホールと、シンフォニープラザの2階のような、ゴムでできたケガをしないような遊具のあるスペースがあると良いです。中途半端なこぢんまりとしたものではなくて、どんと大きく作って欲しいです。料金はなるべく安く！行ったら多分ランチもすると思うし、買い物もすると思います。家族で食事できる所も欲しい！かっぱ寿司みたいな。 郊外のショッピングセンターは子どもも親も楽しめるように作られているけど、中心街は残念ながらそうではありません。子ども達が喜んでくれるようなものがあれば、土・日曜日は街が家族で溢れると思います。「遊」「食」「買」が連動すると良いと思います。「遊ぶ」ところで「食事」の割引クーポン券をくれたりとか。
		動物園など、子どもと親と一緒に遊べる施設の充実化。
遊ぶ施設(レジャー)が子どもの国の他にもあれば良い。		
産業・雇用	観光	PR不足。(閉鎖的) イカの街八戸で全国的に知られていると思います。 しかし実際にはイカの看板が見あたりません。誰が来ても分かるような大きな看板が必要だと思えます。今のままだと寂しい限りです。八戸が通過駅にならない事を願っています。
		色々な面で外部へのPRが弱い。もっと遠慮ないくらいでも良いのでは。PRの時代なのだから。
		ウミネコマラソンはすばらしいです。三社大祭もすばらしいです。でも年1回ですよ。新幹線の通過点にならない発想を皆で考えませんか？
		温泉・宿泊施設など、もっともっと良くして、観光客が遊んで泊まっていける街になれば良いと思う。
		観光の活性化の為に景観を整えて、人に美しさと感動を与える市の作りをして欲しい。
		現状でいくと新幹線(青森市)開業とともに八戸市は通過点になり悪くなる一方だと思う。もっと観光や目玉商品など住みやすい環境にしないと、市民も出て行くと思う。
		中心から離れた地域でも三社大祭に参加できるようにしては。

分野	項目	自由意見
産業・雇用	観光	中心街にある店の情報が全く分からないので、情報誌とかがあると良いと思いました。私の場合は、北海道フェアや、おめざフェアのときだけ行きます。
		目玉売り込みが無い。せいぜい八食センター、蕪島、種差など。
		大胆かつ非戦的発想の中で、全国的に取り上げられる事業が必要。(例：ドラマ化、全国的フェスティバル等)
		八戸市には観光地が少ない。他県から人が来ても、温泉旅館もないので、十和田湖等に観光に行き、そこで宿泊する人が多いと思う。ビジネスホテルはあるのに…。新幹線も来ているし、高速道路もあるのに観光客が少ない。
		八戸に親戚が遠方から来たとき、紹介したい場所が無いことが、とても寂しく思います。小さな子どもが楽しめる場所もありません。天候が良い日なら蕪島、種差海岸、植物公園など思いつくのですが、雨や雪などの寒い日は中心地以外のデパートのゲームセンターか他県へ出かけるしかなく、八戸に魅力が感じられません。
		八戸には美味しいものや美しい場所など、他の地域にアピールしたいものがたくさんありますが、何かに的をしぼって宣伝して広めていったら良いと思います。スポーツや文化活動でも「八戸に来たらこれが楽しめる」というものを確立できたら良いと思います。八戸市民皆で「八戸といったらコレだよ」と共通認識して、他地域の人達にお勧めできるようなものが必要だと思います。
		八戸には観光においても三社大祭、えんぶり、種差海岸等、いい所がたくさんあります。十和田湖もDVDなどの商品があるけど、皆日本語ばかりで英語のスーパー(文字)が付いていれば海外の友人達にもすごく自慢できるのですが、残念です。でも知人等に送っています。喜んでいますが意味が解らない。
		中心街に作っている「はっち」はうまくいくと思わない。現在ある施設を使ったまちづくりをして欲しかった。
		中心地に観光といっても、「はっち」で人が集まるのか。お金の無駄遣いのようにしか感じられません。
		はっちですが、一部の人は集まると思いますが、集客力があるとは思えません。行事の宣伝次第だと思いますが、いかに八戸が良いところだとアピールしても、客が来ないとどうにもならないと思うので、まず都心などで八戸をアピールして集客してはどうでしょうか？又、八戸の人も集まるのかなあと疑問に思っています。
		現在建設中の「はっち」は、必要ないと思う。あの施設では人が集まるとは思えない。何億もかけ、作る程のものではないと思う。税金がもったいない。私の周りには魅力を感じている人は一人も居ません。
		まちなか活性化の為に、はっちが広く市民に開放され、沢山の人が利用されるよう、各種の企画・イベントが催される事を期待します。
		みんな中心街をどうしようというのか。「はっち」も開店と同時に「破れほころびる」。
		私自身、中心街に行くことはあまりありません。必要な事がない限りです。例えば買い物などは全く行かないです。日曜日にイベントがあっても行って見ても、なんかこれだけ？と思い、行かなくなりました。イベントをやるならもっと回数を減らしてでも、しっかりと楽しめるものにした方が良いです。また中心街で買い物をすると何か良いことがあるよとか、惹きつけるものがないと…。イベントはみんなに知られているのでしょうか？
		観光客に八戸の街はゴミ一つ無い美しい街であることを望みます。
		三社大祭でも賑わうよう、神社をもっときれいにすべきだと思います。駐車場や屋台等、東京地方の神社やお寺を見習ってみては如何でしょうか。
		三社大祭等のPR。
		市を全国に知ってもらう必要あり。 ①全国ネットのテレビ取材が来たときは金を使っても協力する。 ②氷都八戸復活の為、スピードリンク、カーリングリンク等に金をかけて、スケート大会(全国規模の)は八戸というところまでやる。 ③三社大祭は、日程・時間を含め再考の余地有り。コースの商店も、店の前の歩道は店のものではない事を知るように、観光客をもっと歓迎せよ。無料大駐車場を確保し、中心街まで無料バスを運行する。(こういうところに金を使う)
		種差、八戸駅、まつりんぐ広場、シーガルビューホテルなど、観光地や公園を利用して軽い運動も採り入れたイベントを行ってはどうか。

分野	項目	自由意見
産業・雇用	観光	湊町に結婚と同時に暮らしております。暮らしやすい良い町です。駅前には観光客も多くにぎわっております。駅前には観光案内の絵図もありますが、八戸市民はもとより、遠くの方々にも少し足を運んでいただくため、駅前にグレットタワーみなとまでののぼり・標識なりも示して欲しい。 観光の方々はみなと市場での買い物に終わらせないで、海を見下ろせる高台にあるタワーで、まさに360度ぐるっと見ていただき、(太平洋と街並み、その周辺はすばらしい眺めです)是非これを最高にアピールする事により、八戸(湊)→八戸線(むつ湊)の乗降客をおおいに増やすことにつながるのでは。ガイドの案内があれば尚良し。市政80年と開港70年とこれからも…。神田重雄の像が湊町に光りを放つように、街おこしにつなげていきたいと思えます。
		問6. 水産物のブランドについては、もう少し上手にアピールしたら良いと思えます。
		八戸ガイドの人は南部弁ができる人にする。その方が他県から来た人が、標準語のガイドより“八戸に来た”と思えるのでは。
		問8. 観光ボランティアガイドについては、何故ボランティアなのか。本気で考えているのなら報酬があつてしかるべきではないのか。
		問8. 観光ボランティアガイドについては、体力的に難しい。
		問8. 観光ボランティアガイドについては、“おもてなし案内人”自体があまり浸透していないように思えます。
		問8. 観光ボランティアガイドについては、体が不自由なので参加できない。
		問8. 観光ボランティアガイドについては、高齢の為、参加できません。
		問8. 観光ボランティアガイドについては、賛成ではあるが現在仕事を持っていて一年中忙しいので、この先10年は無理。
		問8. 観光ボランティアガイドについては、常時は難しいが、たまに参加してみても良いが、年齢的に難しいし、今更育成されるのが無理
	問8. 観光ボランティアガイドについては、体調不良で参加できず残念。	
	雇用	10年以上昇給・賞与が無い。(老後の貯えが無く不安) 10年以上サービス残業有り※月70時間位。(健康が心配)
		60歳を過ぎている私ですが、おかげ様で現役で働いています。もっと60歳になっても元気な方がたくさんいると思いますので、仕事面で働ける場所が欲しいです。
		県外へ仕事で出ていった友人や家族が本当は地元へ戻って来たいが、仕事がないので戻れずにいます。もっと求人や産業が活性化できるような市になれば良いと思えます。
		このたびの不況下、約7年間勤めておりましたパート先で解雇となりました。(3月いっぱいパート員は全員解雇になりました。残念…) フルタイムでなくても構いません。例えば午前中4時間のみ、週3～4日など、少しずつでも働ける場を「市」でも斡旋できないもののでしょうか。企業にも働きかけて。 頑張って就活に励んでおりますが、市を挙げての雇用に向けた“何か”を期待いたします。
		雇用が安定して住み良い街になれば良いと思っています。
		雇用の創出に力を入れて欲しい。
昨年ある企業を退職しました。月給は30万～40万以上でした。ハローワークで県内の求人を見ると、こんな給料で生活できるわけないと思う内容の求人ばかりです。又、将来のことも不安な事だと思えます。すでにあきらめている人ばかりだと思う。八戸はかなりこんな人が多いんですよ。企業が賃金を上げられないのは仕方ないですが、働く人が収入を多く得ることを八戸は推進するべきです。例えばある企業で時間給の人を雇い、月給が多くて15万円で他での就業を禁止しているところがかなりある。これでは生活できない。		
障がい者の働く場を増やして欲しい。お願いします。		
息子が二人おり、仕事にはついておりますが、時間の短縮等など有り収入も減っていますので、景気回復するような街づくりをお願いします。		
もっと雇用を増やして欲しい。		

分野	項目	自由意見
産業・雇用	雇用	若い人達の良い職場が沢山でき、子ども達・孫達の声を聞き、私達も若い気持ちで生活できる、良い八戸であって欲しいと思います。20～30年くらい前のように。今では子どもの声もしない、死んだ街のように思います。(何に付けても若い方々が他県に流れないように、良き八戸であって欲しいと思います。)
		若い人の働く場を多くして、県外の大学等に居る人が安心して帰ってこれる八戸市にして欲しい。
		若者達をもっと多く働ける場所が必要だと思う。地元に残る若者が少なければ未来はないように思える。
		若者の県外流出が多いと思うので、若者にチャンスや魅力のある街づくりが必要だと思います。
		若者の働く場を。
		雇用が不安定すぎるので、新産業の創出がかなり必要だと思います。
		雇用の充実、企業誘致。
		雇用促進をお願いします。
		失業率が悪い事を考えて欲しい。
		若い方もこの八戸を守り・生活してくれるように、若い方が多い街になって欲しい。働きたいと思っても仕事が無いのもとても大変です。
		八戸で40歳代で年収400万とれるような仕組みを考え・つくり、頑張ればそのくらい稼げると、市の活性化は必ず実現しますよ。
		八戸市に今必要な事は、若者が働く場所が無い、正社員で働ける場所が無いという事です。まちづくりまちづくりと言っていますが、まず大切なのはみんなが安心して働ける場所じゃないでしょうか？私には子どもが3人居て独立していますが、子ども達の生活もギリギリで、私自身、この先の生活が不安です。今は仕事があって低所得者ではありますが、アパートを借りて生活しています。毎月9万円弱の給料で家賃を払い、光熱費を払い、わずかながら食べていかなきゃなりません。まちづくりの前に安定したお給料や仕事場の確保が優先じゃないですか？9万円弱のお金でアパートを借りて生活してみてください。今の八戸にはこういう人達が沢山居ますよ。このようなアンケートは少々不愉快でした。
		問10. 雇用については、最低賃金の引き上げを。
農林水産業	水産業	水産業の再生を推進し活性化する事が、八戸市経済に多大な貢献を成す事を、もっと市民にアピールすべき。
		白銀地区に住んでいますが、安全な食品の地産地消がもっと広まって欲しいと考えています。食は人の健康の基礎と考えるからです。野菜は無農薬のものを自分で作って、ほぼ一年分を賄っています。農家の減農薬には限界があると聞きます。大量に作るもの・売るために作るものには、農薬使用が欠かせないと聞いていますが、安全食品の流通を希望しています。
		八戸市長者山下片町の朝市の存続を願う。日本で有名な石川県能登半島輪島の朝市より、当市の朝市が盛んであったと思います。存続について一考を要す。
		八戸で活性化しているものの一つとして、朝市があります。観光客も見受けられ、大変良いのですが、フリーマーケット状態です。それはそれで良いが、水産物が鮮度にかけるものが多く残念です。地元の人は買う気になれません。
		プラス面は八食センターの魚のおいしさに感動しました。ただ送料が高く、お得感が無く、ちよくちよく送ろうという気が失せるくらい送料が高かったです。
		毎週日曜日の湊朝市の時間帯をもう少し長くのばして欲しく、もう少し皆さんに知って欲しいと思います。
		港町八戸でもあるのに、自宅近くのスーパーには八戸産の水産物はなかなか入ってこない。つまり購入できない。地産地消が促進する取組を希望。
		私は朝市に出店しているものですが、先日保健所の講習があり、そこでの話では、鮮魚の販売はできないとの事でした。八戸の朝市で魚の販売ができないと、朝市の価値が無くなってしまいます。そこで、市も保健所も協力して、安心して販売できるように何かできないものではないでしょうか？

分野	項目	自由意見
産業・雇用	農林 水産業	地元の野菜が高すぎる。
		八食センターは地元の人には値段が高く、密着していません。観光客の人が対象でしょうから仕方ないのかな。
商業・中心 市街地活 性化	問4. 農産品の購入頻度については、八戸地域の産品かどうか確認はしている	(八戸駅) いつ行っても寒いです。何故ですか？駅ビルにすれば良いと思う。八戸駅前は何もなくて観光客が驚くと思います。もう少し工夫した方が良いと思う。
	(中心街) 人が集まるようなファッションビルを作った方が良いのでは。中心街唯一のチーンでさえ、テナントがなくなってきています。このままでは八戸の若者達がどんどん市街へ出て行くでしょう。 アウトレットなど、集客モールを作るべき。 市中心地の活性化の為、まつりめぐ広場の夕市をやめ、無料駐車場にした方がよい。 郊外が活性化していると感じる。学生の自分にとって、郊外はどうしても車やバス等を使ってしまう事になり、正直行きづらいと思う。八戸の活性化には中心街、そして駅前の活性化が必須だと思う。駅前がもの寂しいのでは、せっかく新幹線で観光に来た人もガッカリするのでは？(青森市へ開通してしまえば、今よりもずっと観光客は減ってしまうと思う)	
	田向地区にジャスコのような複合的な建物を切望いたします。	
	田向地区に商業施設が来るような話があるが、近くには市民病院があります。渋滞を招くような要因となると感じる商業施設を建てるべきではないと思います。	
	中心街が閑散としていて、ピアドウ、下田イオン等に人が流れていると思います。盛り上げる為に、様々な努力をしていますが、反映されていないと思います。若い世代の行くような Shop (雑貨、服、etc) など少ないので、誘致できるようにした方が良いのではないですか？私は札幌等に居たので、行っていた石けん屋などもなく、服等も八戸ではあまり欲しいものがないので、盛岡や札幌に行ったときに靴・服等を買っています。	
	中心街の活性化の為には、若い人達の人口流入が必要です。具体的には、 1. 旧市民病院跡地等に、大学・専門学校等の市内誘致 (中央有名私立大の経済学部等) 2. 大学夜間課程の開設 3. 市内経由交通網の充実 (八戸駅から市内への時間短縮等) 4. 市庁内へ活性化専門室の設置 (旗振り役の明確化)	
	中心街に資金を使うのは無駄だと思います。	
	中心街に魅力を感じないのは、買い物等に行っても駐車場には入りにくいし、料金がかかる等、出かける気がしない。	
	中心街の活性化。	
	中心街の活性化と言いますが、無理なのでは？全然方向性が見えてきません。	
	中心街の活性化の為、より努力して欲しいです。 無料駐車場のある、家族 (子ども連れ) で楽しめる場があると良いと思います。	
	中心街の事ですが、役人と市民の考えがずれているような気がします。どうして中心街なのか。各地に小さくても人の集まる所がもっとあるといいと思います。	
	中心街の電線地中化に早期に取組み、きれいな街づくりを進めて欲しい。	
	中心街の範囲に無料駐車場を設けないと、街の活性化にならないと思います。(その他大勢の方々からお話があります。)	
	中心街の見直し・活性化。	
	中心街の駐車料金を安くして欲しい。	
	中心街を活性化すると聞きますが、具体的にめぼしく変わったところがあるとは思えません。沼館地域やニュータウン (田向地域) などに新しい建物ができるのは助かりますが、地域が離れすぎていると思う。まとめてある一角を目立たせた方が買い物もしやすいし、交通の便も良い。	
	中心街をもっと活発にして欲しい！	
	中心市街地の整備・再開発を進めて、無料のパーキングとか公園を整備。	
	中心商店街の活性化を心から願っております。魅力ある街づくりが、これからよりよい方向に進むことを希望します。	
	八戸駅周辺の開発・活性化。	
	八戸駅にショッピングセンターができれば良いと思います。他の都市の駅ビルのような。新幹線などを利用しないときでも、駅に遊びに行ってみようかなと思える場所になって欲しいです。	
	八戸駅前がパツとしない。新幹線を降りても何も無い。	

分野	項目	自由意見
産業・雇用	商業・中心市街地活性化	八戸駅前を他県に見習ってショッピングモールにするとか集客を増やす工夫が必要。それが無理なら本八戸駅までの新幹線延長。お金がかかっても今のままでは全然魅力を感じない。
		八戸市の中心街を以前のように活気のある場所にして下さい。休みの日など、“街に買い物に”とフラッと行けるよう、かつての八戸の街にして下さい。よろしく願います。寂れていく八戸の街は見たくないです！
		八戸中心街で買い物をしたいと思って出向きますが、一カ所（店舗）で用事が足りない時があります。 多くの店が入った魅力のある大型店舗があっても良いのではないかと思います。
		八戸中心街の再生は必要ない。何故中心街にこだわるのか？多くの人達は中心街には行かない。
		八戸に県外から友人が遊びに来て、連れて行く場所が無い。仙台のような場所（三井アウトレットモール）があったらと思う。 中心街は、らしくなく、恥ずかしいです。
		八戸の中心街を何とかして、人が足を向けるようにする事が必要だと思う。 私の知り合いは、街にはもう何年も行っていないという。街に用事は無いとも言っていた。
		パチンコ、ホテル（ビジネス）、同じような業種ばかりで埋め尽くされ、人口が減少しない岩手・仙台のような街づくりができるような、レジャースポット、施設など、もっともっと大手産業を街に入れるとか、活性化していかないと、保守的な街になり高齢者ばかりの街になっていきます。
		ファッションストリートなどをつくってみては？（中心街など）
		不景気の影響を受けてだと思いますが、営業していない店舗が沢山あり、閑散としたイメージがあり他県の人にここが中心街ですとは恥ずかしくて言えない状況です。八戸市の活性化による景気の向上を深く願います。
		みろく横町の一区画あたりの使用料は、利用者の割合に対しての商売上の地代（設備、公共費等含む）が、経営者の大きな負担になっているのではないかとと思う。 地元の消費者が多く利用できるのであれば、観光客へのサービスも落ちるのでは。みろく横町を八戸市の振興の一環とするなら、オーナーの利益を度外視してもという、街づくりの思い切った方針を示さなければ、中途半端な考えでは積極性に欠けると思う。
		もっと中心街を発展させて欲しい。
		もっと夜の街（飲み屋）などを活性化すべきであると思う。若者が都会へ行ってしまうのは何故なのかを考えて、雇用の促進や若者のためのレジャー施設（遊び場、全国チェーンの衣料品店など）を増やすべき。財政的に厳しいとは思いますが、街にはお年寄りばかりが目立ちはじめている。街だけでももっと魅力あるものになれば良い。
		もっと大きな商業施設が欲しい（ジャスコやサティなど）。ニュータウンに「赤ちゃんホンポ」が無くなって、子どもを持つ親としては不便になった。
		私の住んでいる場所にはスーパーが無い。大型店の出店の予定もあったらしいが、市の決定により中止になった。 地域住民の生活の充実を図るのが行政の本来の仕事であるべきなのに、住民の意見を聞いて下さったのでしょうか？ある一部の人達の利益を優先していると思えないのですが！
		坂道を転げ落ちるものは誰にも止められない。時代の流れだと思う。中心街は夜の街で再生を。
		市の観光施設など、なるべくまとめるような形で公共の建物などを建てたりする方が良いと思う。
		市街地については、魅力がないのに駐車場の有料はおかしいと思う。無料にするなど、まずはそこからやらないと本当に終わる。
		若者の雇用促進のため、郊外型のショッピングセンター（田向地区）を認めるべきで、中心街の商店は特徴ある販売に努力するよう指導を。 三春屋、さくら野以外は八戸市に頼りすぎではないのか。
		若者も楽しめる街づくりをして欲しいです。
		若者達には魅力が無い街のようです。中心街の移動は必要です。

分野	項目	自由意見	
産業・雇用	商業・中心市街地活性化	十三日町、八日町も買い物する店が少ない。	
		中心街にこだわる必要はないと思う。時代に合っていない！	
		中心街に高齢者でも利用できる、お酒落な喫茶店が欲しいです。	
		中心街に大駐車場（3千～4千台）を作り、3時間未満無料とする。3時間以上300円で一時間毎100円増しの20時間までで、その後は一日1万円等、考えること。	
		中心街は寂れた印象です。人通りも少ないと思います。	
		中心街やショッピングセンターはターゲットをしぼりすぎではないでしょうか。もっと幅広い層を見て発展させていくべきであると思います。又、テントで野菜等を販売している年輩の方々に“市場”として場を提供するのも一つかと思えます。	
		電線の地中化。	
		八戸駅西口の土地改良事業に予算投入し、早期に完成して欲しい。	
		八戸都市圏の「顔」の中心街を、もっと活気のある街にして欲しい。	
		問11. 中心街の魅力については、中心街に空間が無く、ビルが多すぎると感じる。	
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	高齢者・障がい者	子どもが障がい児であるため、児童デイなど福祉サービスを利用することが多い。八戸市はそういった福祉サービスを受けられる事業所が多く、選択肢も多いと感じるが、それでもまだまだ足りない。例えば、児童デイの「ゆめ」などは、自閉症に特化した支援・療育をしているため、全県内外から訪れる人がいると聞く。そういった事業者は経済的にも厳しいので、行政が支援して行くことで観光スポットとはまた違う視点からの街づくり・街の特色になり、人の行き来が期待できるのではないかと。	
		八戸は障がい者の住みにくい街。	
		本人が認知症のため、聞いてもあまり分かりませんので、認知の病院、安心して入院できるようにしてもらいたい。入れる所は高額な為。	
		本人は自閉症のため、兄が全て面倒をみています。兄が亡くなったらその息子が面倒をみることになります。何とかして下さい。	
		私は70歳以上の女性ですが、介護保険料が高すぎると思います。	
		高齢者、障がい者の施設の拡充を望みます。待機者が多すぎます。	
		私達夫婦は高齢（夫84歳、私79歳）で、二人とも病身なので、通院にはお互いに付き添いの日が多く、家事もできない時があり困っております。身体障がい者でなくても、ホームヘルパーさんをお願いできたらと思っている毎日です。	
		老後の住みやすい街づくりをお願いします。	
		子育て	子育てしやすい街づくり、子ども達が安心して遊べる場所があると良いと思います。八戸で子育てしたいと思える「市」になって欲しいと思います。残念ながら今は思えません…。
			子ども手当や遊び場を増やして欲しい。市長ファイト！
	子どもを育てやすい環境づくり。		
	是川にも子育てしながら働く場所がもっとあれば良いと思う。小・中学校の空き教室を利用して共働き家庭の為に放課後の運動や勉強のできる居場所を提供したら良いと思います。		
	児童館を増やして欲しい。		
	所得に関係なく、子どもの医療費は無料化して欲しい。小さいうちは抵抗力も無く、色々な病気にもかかるし、所得が多くても体の弱い子どもは沢山居ます。もっと“子育てしやすい”街づくりを！		
	八戸市に引っ越してきて3年目ですが、子どもが居る私達にはとても住みにくいです。		
	子どもの医療費の助成を1割でもお願いしたいです（中学卒業まで）		
	子育てをしながら働ける環境の充実。		
	小学生の子どもが2人いますが、学校の集金額が高いです。給食代も3校目ですが、今までで一番高額です。		
	問20. 子育てしやすいまちにするためには、水際作戦をしないことです。		

分野	項目	自由意見
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	子育て	<p>幼児（元気な子）、小学生、中学生、高校生、1人も悪い子どもはいません。子ども達に声かけをして下さい。子から先に声がかかってきます。大人が勇気を持って声をかけて下さい。</p>
		<p>問17の「子どもに声かけ」についてですが、不審者・変質者と勘違いされるのが怖くて「声かけ」などできません。 近所の子どもにさえも無関心を装うしかできないのが辛いです。嫌な世の中になりました。</p>
		<p>問17. 子どもへの声かけについては、仕事中は制服を着ているし、子どもの知っている仕事をしているので、その地域の子どもには声をかける事が多い。</p>
	社会保障	<p>形（戸籍）だけの母子家庭（別姓で同居）に対して手当が支給されている。もっとまともなお金の使い方をして欲しい。</p>
		<p>仕事できるのにしないで生活保護をもらって好きなものを買ったりしている人が近所にいるのですが、生活保護をもらっている人達を定期的に訪問して、仕事を探しているのか、ハローワークに行っているのか聞いて、行っているのなら証明とか見せてもらおうとかしないと、パートなどで仕事をしている人より生活保護をもらっている人の方が高いのがおかしい。その面はいつも不満ばかりです。他の人も生活保護について不満だらけです。</p>
		<p>生活弱者に対して考えた方が良い。特に老人や障がい者に対してサービスや金銭的補助をすべき。 生活保護世帯の老齢加算は直ちに復活させるべき。自殺者が増える原因である。</p>
		<p>年をとってくると、若いときにはなかった事が起きてきます。例えばバスの乗り降りの大変さだとか、耳も聞こえづらくなり、視覚もせまくなるとか。 老人の体験ができる体験グッズ（手足に重しを付ける、メガネを付けて狭い視覚になる）があるそうなので、若い人が体験グッズを付けて老人体験をし、バスに乗ったり市役所の手続きをしたりしてみたらいかがでしょうか。弱い人の立場が分かってきますと、きっと良い八戸の街づくりができてくるのではと思いました。</p>
		<p>八戸市に住んで長いですが、これから高齢化社会となり、自分達で生活できる八戸市のまちづくりに期待します。</p>
		<p>子どもにやさしい街づくり、高齢者にやさしい街になるよう、切に願います。</p>
		<p>収入のない世帯への支援が50億以上と聞いています。中には時間のゆとりがあって、娯楽を楽しんだりしている方も居るようです。私は人間は働いて暮らすのが最上と考えています。支援を受けている人達が市民に対するボランティア（市が設定したもの）に参加して、社会の一員としての活動を義務付けたら良いと思います。税金を納めている市民も働きがいがあるというものですし、引きこもりや不正受給をなくし、健全な社会になってゆけると思います。八戸市の活性化のために今後の活躍に期待しています。</p>
<p>父子家庭の行政支援策。</p>		
<p>保育園の待機児童問題より、旦那さんの賃金だけでも生活が成り立ち、主婦が働かなくてもよくなるような生活水準になる事を望みます。</p>		
医療	<p>救急医療は市民病院等充実していますが、その救急処置後に退院し、自宅療養の他に、安定するまでまだ痛みなどで通院を余儀なくされる方がいますが、なかなか八戸市内で長期入院可能な場所などがなくて、七戸町工藤医院まで探し求めてやっといった具合で、安心して入院できる設備がまだまだ確立されていないように思います。</p>	
	<p>市民病院の事ですが、新聞では色々最新の医療設備が整ったりした情報を読みます。それは素晴らしいが、実際に受診すると医者は不親切で意地悪、思いやりのない対応。「頭にきたー！」と帰ってきてから言っている家族や友人達です。別の科同士の連絡が行き届いていない。二度と行きたくない病院の一つでもあります。何とか改善して下さい。</p>	
	<p>現市民病院を八戸市民が利用時に、駐車料等の特典があれば良い。（近隣住民の利用が多い為）</p>	

分野	項目	自由意見
環境・リサイクル・エネルギー	資源リサイクル	<p>ごみの分別も以前住んでいたところより、リサイクルの取組が進んでいないように思える。マイバッグを使用しても、ビン・缶・ペットボトルと一緒にビニール袋に入れてゴミに出すなんておかしい。プラスチックの回収もないし、環境、産業、教育、どれに力を入れて取り組んでいるのか？</p> <p>全国に誇れる市にする為には、たった一つだけでも何かの取組で模範になる事を進めなくてはなりません。エネルギー産業などの環境に配慮した取組（プラスチックゴミなどの石油化施設）など、近代化だけが良い街づくりだと思っている人は少ないと思います。</p> <p>このアンケートの内容が、どれも本当に必要か？と言ったら、そんなに重要な事は書いていないような気がします。現状以上を求めている人も少ないと思います。むしろ不満も無いように思います。無駄のない循環型社会性の街にしましょう。要は分別したのに再生化されていない雑誌の問題や、資源物の利用方法をもっと考えて、資源化するべきでは？八戸市は今も住みやすい街ですよ！</p> <p>買い物をする際、マイバッグを持ち歩いてはいますが、ゴミ箱にかけるための袋を100均で買う人が多いようです。マイバッグの意味はあるのでしょうか。</p>
	エネルギー	<p>日中でも電灯がついているところがあります。省エネに力を入れ、イルミネーションは行事の時のみつけるようにしたらどうでしょう。</p>
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	居住環境	<p>街路樹について、木がとてもかわいそうです。年に2回、園芸の知識があるのかどうか分からない業者によって、涼しい木陰の嬉しくなる、又、ありがたい7月下旬と、紅葉の美しくなる秋に剪定されている。落葉の始末の大変さは分かりますが、全く風情のない丸裸で泣いている感じ。</p>
		<p>下水道の完備。 中心街に近い地域でも便所が水洗化できない等、生活環境整備の遅れ。</p>
		<p>高齢者が気軽に集える場所等がもう少し多くあればと思います。</p>
		<p>コミュニケーションの場を増やすなど。</p>
		<p>市長さん、お願いがあります。 40年以上郊外に住み、税金も真面目に払ってきました。 近所で側溝へトイレの排水を流しているので、夏は臭くて窓も開けられません。市の中心街ばかりに力を入れているようですが、郊外で暮らしている私達がいることを考えて、早く下水道の整備をよろしく願います。時間が無いのです。</p>
		<p>八戸市のゴミ集積所に網がかかっているところと、すべてかかっていないところがあり、カラスがゴミを漁って道路を汚してしまうので、徹底した方がよいです。</p>
		<p>八戸は自然が多くとても環境は良いと思います。 しかし、子どもの遊ぶ場所がなさすぎ。 都会は空気は悪いけど、公園がたくさんあって子どもにとっては良かったと思います。 是川の縄文施設やはっちを作るくらいなら、公園をたくさん作って欲しいです。</p>
		<p>以前より子どもの数が少ないせいか、子ども会などの交流も少なくなっておりますので、高齢者の方々と小さなお子さん達の交流の場を作ることにより、一人暮らしの高齢者の方々にも刺激を与える事ができるのではないのでしょうか。</p>
		<p>公園に子どもが遊べる遊具やアスレチックなど置いて欲しい。</p>
		<p>公園の整備が進んでいないので、近くの公園より遠くまで車で行かなくてはならない。 新井田橋もとサンクスから松館方面への一方通行で往復する区間の中央部分、例年5月に必ず除草剤を散布（市の建設部）しています。雑草でも緑が美しく気にならないのが、散布後の枯れた草の汚い色、毎日目にする者にとっては悲しくなります。一度来て見て下さい。</p>

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	居住環境	道路に対する樹木の本数が少ないので、できればもう少し緑豊かな街にして欲しい(私の通学路には街路樹が多くないので…)
	公共施設	葦毛崎および種差海岸のトイレは、設備が不十分で不衛生だと思います。外国人の方が洋式がないので困っていました。岩手はどこへ行っても八戸よりきれいだと思います。よろしく願いいたします。長年の希望でした。記入させて頂き嬉しく思います。
		公共機関を利用したとき、トイレや階段など体の不自由な方々や子ども連れの方々に不便だと思う所が多いです。 弱い方々(助けを必要とする方々)に嬉しい街が誰にでも優しい街だと思います。これからは八戸のためによりよろしくお願い致します。
	交通環境	H22.4に八戸市に引っ越してきたばかりです。主人の転勤で色々な所に住んでいます。 八戸のマイナス面は道路がガタガタでビックリしました。 JR白銀駅から労災病院への歩道整備。(現状は危険すぎる)
		P6. に、自家用車に依存しない…とあるが、目的地までどのバスに乗ったらいいのか、又、どの停留所で降りるのか、行き先が違って路線によってはそこも通るのか、バスの時刻表からは分からずにいました。これではバスよりも自動車です。
		これからの高齢化社会に向けて、交通の利便性の充実を図って欲しい。 例えば各地域から3大病院(市民病院、労災病院、日赤病院)への直通バスを設ける等。
		問16. バス路線の活性化については、時間帯により運行本数を増やす。
		バス・車ともに快適に走れるよう、バスレーンを多く整備して欲しい。バスを追い越す際(是川団地付近など)に見通しが利かず、怖い思いをしているので、バスレーンの整備を望みます。
		バス時刻表のポケットフレンドの字が小さく見えにくいので、もっと大きくしてもらいたい。バスを利用している人はみんな、年を重ねた人。
		バス代が高いのでほとんど行きません。
		バスはもっと夜遅く(市中心街)まで運行すると良い。
		バス利用もワンコイン100円・500円などを採り入れて欲しい。
		八戸市の発展は非常に難しい状況にあると思われまます。 地形的に、川2本、橋が足りない。住民自身が交通渋滞に巻き込まれ、中心地に行きづらい。(中心発展より郊外、中心地に行く必要がない、行くとしても一方通行が多い)
		歩道の整備を。例えばグランドホテル周辺(番町)や長横町など。 市民・観光客が安心して歩けないのでは、中心街に集まらない。折角「はっち」を建設してもいかなものか。
		もっと最終電車の時間を遅くして欲しい。二次会に行けない!
	観光については、まず交通マナーが悪すぎて、八戸市を観光場所として勧める事が恥ずかしいです。黄ではもちろん、赤でも止まらずに行くのをしょっちゅう見ます。携帯をかけながらの運転(これは自転車もかなり多い)などもあり、20年以上住んでいるのに何も変わってきたようには感じませんが、今までどのような仕事をしてきたのでしょうか?	
	観光に力を入れると言っても、この八戸市の道路では恥ずかしいと思う。狭い、でこぼこ、つぎはぎだらけ。八戸に対する印象は良くないと思う。貧しいイメージ。もう少し環境を整えてからでないと、観光客に失礼だと思う。	
	金浜の道路は穴ばかり空いていて、車で走りづらいです。子どもが小さく、揺れが気になり心配です。	
	市営バスの運転がなかなかひどい。信号が赤なのに曲がってきたり、強引に前に入ってきたりするので、ぶつかりそうになった事もあります。少しマナーが悪いと思う。	

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	交通環境	中心街の一方通行解除。
		道路に穴が空いていたりして不便。運転しにくい。色々な所で工事しているのに直して欲しいところは直っていないくて、毎年同じところをやっていたり、意味がある工事をして欲しい。
		八戸は道路の舗装が非常に悪い。道路の作り、信号に対しても複雑にして、生活道としてはまずいと思います。
		八戸駅に直結する道路（駅の正面の信号のある道路）が狭すぎると思います。
		八戸市営バス停をもっと横断歩道のそばに置けないでしょうか。バスから降りる人が横断歩道を渡らないので危ないです。
		八戸市民は交通マナーがあまりにひどく、県外の人達もマナーの悪さを指摘しているので、交通指導をした方がよいと思います。
		歩道の広さ、段差がなく車椅子・乳母車の往来が安心してできる街。
		本八戸駅から市役所への道路改良も、早期に工事着手して欲しい。
		本八戸駅から長根運動公園までのアクセス道路を広くして欲しい。
		本八戸駅発着のワンコインバス（100円、※マイクロバス）で市内周遊することも計画してみてもは。
		問15. バス路線の活性化については、各々がバス利用を心がけることが大事。それが市の活性化になると思う。
		問16. バス路線の活性化については、特に中心街バス停（旧長崎屋前）の現状は悪天候時に最悪。改善して下さい。
		問20. 子育てしやすい街にするために大切な事については、学校の教育環境の充実に通学路も含めてもらいたい。
		70歳以上のバス券は安いので、もっと取って欲しい。後期高齢者一律にして、病院にかかった人からは3割取るようにしたら如何ですか。
	自家用車に依存しない街づくりという事ですが、八戸は車が無いと何もできませんよ。	
	防災	地域住民の安全を図る為、冬季の除雪をもう少し工夫して欲しい。
		除雪のしっかりできる街を希望します。
		除雪をしっかりやって欲しい！（回数少なくても下手！）
		冬の道路は狭い道の除雪がきちんとされていないので、車やバスも通りにくい状態で、青森市の方が雪道になれていない私達には道路も歩道もきちんと整備されているので安心。
	防犯	安心な街、生活しやすい街、活性化した街を望む。
八戸市は南郷区と合わせて人口が20万人ぐらいが一番良いのではないですか。ゆっくり人生は過ごすべきだ。		
事件・事故・詐欺・喧嘩の無い市生活が一番でしょう。		
皆さんが安心して住める八戸市の街づくりをお願い致します。		
真偽の合間で何を信じれば良いかわからない世の中ですので、地域の警察の方は1年に1度、顔写真入りの名刺を配る等して欲しいものです。急に訪問を受けても不安になるのではないのでしょうか？		
道路の街灯などはもっと増やした方がよいと思う。		
行政	まちづくり	“本当の意味”で住み良い街になって欲しいなと思います。時代も変わり、生活も変わり、新しいものを受け入れ、古いものを大切に、うまく共存しあい、“八戸に住んで良かった”と思える街づくりに期待しております。
		新しく橋を架けるにも、かなりの年数を必要とします。八戸の街づくりについて、色々な案や対策をしていることと思いますが、残念ながら市民が感じとれるほど実行しているようには思われません。今後の行政の行動力に期待します。
		問7. 市の知名度については、新幹線の通過点になることが心配である。
		都会的な建物が増えても人が集まらなければ無意味なので、八戸らしいまちづくりを望みます。

分野	項目	自由意見
行政	まちづくり	無駄な公共工事や市民には必要のないものに税金を使っているように思います。
		問7. 市の知名度については、新幹線通過駅になってしまったら知名度は下がると 思います。
		<日本全地域> ①高齢化（限界町内化、買い物難民化） ②少子化（近い将来、就業労働減等） ③一都市集中化（行政も産業も構造の变革） ④所得再配分と税収の問題等 ⑤無縁社会の到来等々 八戸市も近い将来抱える課題・難問山積 1. 縦軸行政から横軸行政に軸足を。住民（市民）の安全・安心の生活向上目指して。 政策担当の皆様も庁舎から時間の許す限り地域（市内）の到る所に向き、見て（街 の風貌）、聞いて（市民の生活実態）、プランニング（企画立案）、実行（政策反映） し、検証し、遠近の諸問題達成に対処いただきたいと。既に取り組み、達 成の領域事項もあると存じますが。 2. 市政の財政は。税収と補助金執行。都市間競争に勝利し地域の雄に。 民間並みのバランスシートの確立。各事業は費用対効果の原則と検証、見直し。無 駄の撲滅。予算配分は市民生活に直結した部門と八戸市の将来像への投資。競争に 勝利しうるグローバル産業育成。域内資源の発掘と素早い市場化戦略。 3. 行政も民間の営業部並み（部門）の部署設置構想また在り方は。 市（地域）の特産品発掘。多様な市の施設の集客と活用。またPRを民間並みの多 角多面的企画で一過性にしない為にも（指定管理者制度の整合、検証）。工夫と企画 力そして人間力で八戸らしさの発信。365日、エンドレスで春夏秋冬の季節対策、 集客。そして安全・安心、新鮮、美味しく、楽しく、面白く、そして再来。 個人で、家族で、友人で、チームで、集団で、そして情報発信。この事を見据えて 市の係る関係部署の人材育成。①民間に出向また、②民間からも出向者を招き、い ずれも1～2年くらい在籍しうるべき。まちづくりの構想し具現化いただきたい。 4. 庁舎の利用者窓口について 窓口は行政と言ってもサービス業と私は考えております。それは利用者には直接接し ているからであります。各種相談や書類の受渡、時間待ちなど挨拶・態度（お待た せ致しました、少々お時間お掛け致しますが、お待たせ致しました等々）、接客基本 動作用語意識が欠如されていると思われ。従来型の役所職員意識から、①感じ の良い発声、②親切、③丁寧、④迅速なる対応。時代に即応した改革をして頂きたい と思います。特にベテラン職員の皆様へ。新人の職員方々全員は2～3ヶ月位、 窓口研修にて接客技術向上を目指す制度はどうか。
		意外と八戸の事を知らないんだなと思いました。中心街を活性化して欲しいです。 建物を建てるだけでは活性化にならないので、もっと人が集まるようなお店ができた らいいなと思えます。
		意味のない箱物は少ない方がよい。目先の事より五年後十年後の事を見て欲しい。
		これから育つ子ども達が、八戸に生まれて良かったと思えるような街づくりを望み ます。
		市街化調整区域の縮小化。
		市の中心街の再生等のアイデアなど、広く市民らにこのようなアンケート形式など で協力してもらい、推進するべきだと思う。
		スムーズな交通の実施。秘策は持っておりますが、市長さんに直接お話したい。う まくすれば市の財政、経済への波及効果は大変なものになると思う。
		地域活性化については現状で良いと思う。
		中心街もですが、その他の場所等でも市民がイベントや交流でもっと楽しめる空間 を増やして頂きたいです。
		長期的な視点に立って、収入に見合った行政の在り方を目指して頂きたい。 JALが何故破綻したのか、再建の為に何をしようとしているのかよく学んで、政 治だけに頼らず、自ら改革を押し進めるという気概を見せて欲しい。
		箱物事業が多すぎる。税金を無駄遣いしているように感じる。
		八戸市が岩手県にならないか希望しています。良いところを全て青森市が持ってい ってる。岩手県八戸市になれば、住みやすい市づくりができるのではないかと思 います。
		八戸市が中心となり、周辺市町村との連携を深め、活力ある街づくりをして欲しい。 三日町（市中心）に箱物を立てても無駄だと思う。もっと生きた金の使い方をして 欲しい。

分野	項目	自由意見
行政	まちづくり	私は漁師です。八戸は空・陸・海と、他県にはない恵まれた環境にある。この3点を利用したらどんなこともできると思う。市政をあずかる人間達（市長、職員、市議）がもっともっと知恵をしぼったら、他市に負けぬと思う。
		街づくりに統一性がない！（商業の面でバラバラ）
		旧市民病院跡の有効活用をして欲しい。
		他県・他地域の人々が「八戸は住んでみたいと思う場所か?」、その答えから導き出される施策を行って欲しいと思う。
		白山台方面ばかり整備されていますが、それはどうしてですか?他の地域にももっと目を向けて欲しいです。
		25年前に立派な遊歩道が整備され、3・4年前はブロックが雑草で持ち上がり、寂しい限りでしたが、今では所々雑草が目立つ位で、町内と力を合わせ良い方向へ…。願うばかりです。
		団地など、児童館、野外イベントライブができる（芸能人）、大物を呼べる場所など、もっともっと地元根付いていける街づくりを期待しています。
		住民参加
	職員の人はもっと外を見る（道路、下水道、公園等）ように。現地の人とも直接話しあうこと。	
	八戸の若者が県外へ流出している訳や意見は市の発展につながると思う。	
	八戸は無関心や自分だけの事しか考えてない人が多いと思うので、市政等もっと市民に開放したりして、八戸について語り合える場所が必要だと思ひます。	
	地域間交流の推進	津軽圏との協力を積極的に行つて欲しい。（人的交流など） 八戸は息苦しい。自由にものが言えない。
	その他	その他意見・要望等
いつも八戸のために働いて頂いてありがとうございます。 メディアなどで八戸のために頑張って下さる方々の話を知ることが最近増えたかとは思ひますが、一過性になってしまつていないかと思ひとき（あーそうなんだで終わつてしまつている自分を含めて）があります。 支え合い応援しあえるコミュニティになるといいなと思ひます。（私自身そうありたいと思ひます。）		
学歴、体力・知力も無いアナログ人間に、世の人をだまして金を得ることは至難の業。		
環境政策課だつたと思ひますが、カラスがひどくてゴミにかける網をお願いしたら、親切に対応して下さり、又、きれいな網も用意して下さり、とても助かりました。ありがとうございました。		
商工会議所（幹部）や中心街の一握りの悪者、坊ちゃんの考えの者の言いなりになつている市政が続く限り、八戸の発展はない。		
八戸市は色々工夫し頑張つていると思ひます。街がきれいになりました。		
まだ1年しか八戸にいないので、あまり市のことが分かりません。 アンケートの参考にならず、申し訳ありません。八戸の為に頑張つて下さい。		
魅力のある街づくりをと言つているが、とにかく八戸は田舎そのものだと思つている。市長・議員は他の街に行つて何を見てきているのか。あそこの街は良かっただけで終わつてしまつてますね。だから発展しないと思ひます。もっと計画的にやつてもらいたいと思ひます。		
街づくりといささか関係の無い提案かもしれないが、日本人としての誇りを持たせるために、自虐史観からの脱却として中学日本史「新しい歴史教科書（自由社）」、高校日本史「最新日本史（明成社）」を八戸市として採用してみてはいかがか。この2つの日本史書は、私から見ると物足りないところもあるが、自虐史観の克服という観点において一定の価値があると思ひます。戦後体制の中で我が日本民族は祖国愛、歴史観、国家観、民族愛を失つて久しい。是非ともこの提案を吟味して頂きたい。参考wikiサイト「国民が知らない反日の実態」。		

分野	項目	自由意見
その他	アンケート	83歳と高齢であり、回答及び記入する事が大変です。
		アンケートの対象者年齢等によると思いますし、かなり分かりやすくなりましたが、まだまだ難しい表現（お役所言葉的な）が沢山あり、もう少し一般の人に分かりやすい言葉・表現を使うべきと思われます。
		解答が矛盾しているのは、設問が判断しづらいからだと思って下さい。
		高齢、年金生活者で良く分かりません。申し訳ありませんが回答できません。
		高齢の為、このアンケートは役に立たないようです。これからの若者の希望を集めて住み良い八戸の発展に努力して頂きたいと思います。
		このアンケートがまちづくりに役立つとは思えない。
		市民アンケートは初めてですが、割に難しく、理解に時間がかかりました。
		私のような90歳近い者にこんなの書いてと言っても無理です。
		私は現在独身です。生活保護のお世話も受けています。10年になります。今回のアンケート調査に対し、お役に立てるのは分かりませんが記入させて頂きました。

参考. 調査票

第5次八戸市総合計画市民アンケート調査 ご協力をお願い

皆さまには、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。

本市では、「第5次八戸市総合計画」（基本構想・前期推進計画）を平成19年度からスタートし、これに基づき総合的かつ計画的な市政運営を行っています。

前期推進計画の計画期間は、平成23年度までとなっていますが、昨今の景気低迷による企業業績や雇用の悪化をはじめとする本市を取り巻く社会経済情勢等の変化に適切に対応するため、後期推進計画を1年前倒して策定することといたしました。

総合計画とは、市の目指すべき将来像とその実現に必要な諸施策の方向性を定めるもので、市政の最も基本となる最上位の計画です。策定にあたっては、社会情勢の変化や前期推進計画の進捗状況を整理するとともに、市民の皆様のご意見をお伺いしながら策定することとしています。

このたび市民アンケート調査を実施し、皆様のニーズや市政に対するお考え等をお伺いし、計画を見直すうえでの基礎資料として活用したいと考えています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、今回は、当市にお住まいの18歳以上の方から無作為で1,000人を選ばせていただいております。

また、ご回答の内容は、調査目的以外に使用することはなく、統計的に処理し、個々の内容が公表されることは一切ありません。

平成22年5月 八戸市長 小林 眞

ご記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人がお答えください（ご本人が記入困難な場合はご本人のご意見をお聞きしたうえで、ご家族の方などが記入くださっても結構です）。
- 質問ごとに、回答欄にあてはまる番号をご記入ください。なお、特に指定のある項目については、それに従ってお答えください。
- このアンケート調査は、6月2日（水）までに同封の返信用封筒で返送（切手不要）してください。
- 調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

八戸市総合政策部政策推進課（佐々木・谷崎）

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1

（電話）43-9233 （FAX）47-1485

E-mail:seisaku@city.hachinohe.aomori.jp

当市では、地域経済の活性化を目指して、地域産業の高度化に取り組んでいます。

問1 あなたは、当市の地域産業の高度化のために、どのようなことが大切だと思いますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を三つまで選んで○を付けてください。

1. 地域の企業と市内の大学や産業支援機関との連携の促進
2. 共同開発など地域の企業同士の連携・交流の促進
3. 開発された技術を事業化するための支援の充実
4. 環境やエネルギー産業など新産業の創出に対する支援の充実
5. マーケティングなど経営に対する相談等の支援の充実
6. 人材の育成・確保に対する支援の充実
7. 円滑な資金繰りに対する支援の充実
8. その他 ()

問2 あなたは、当市の地域産業の高度化の取り組みについてどのようにお考えですか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. うまく進んでいると思う
2. まあまあ進んでいると思う
3. 進んでいないと思う
4. わからない

当市では、農業振興の一環として、農産物の地産地消*の普及に取り組んでいます。

(※) 地産地消：地域で生産された食材を地域で消費すること。

問3 あなたは八戸地域で生産された農産物についてどのようにお考えですか。
下の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選んで○を付けてください

1. 新鮮である
2. 安全である
3. 価格が安い
4. 価格が高い
5. わからない
6. その他 ()

問4 あなたは、農産物を購入する際に八戸地域の産品をどの程度購入していますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. よく購入する
2. ときどき購入する
3. 八戸地域の産品かどうかは意識していない

問4-1 問4で「1」又は「2」を選んだ方にお聞きします。実際に八戸地域の産品を購入してみても『よかった』と感じますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. よかったと感じることが多い
2. よかったと感じることが少ない

当市では、基幹産業として地域経済を支えてきた水産業の活力の維持・回復に取り組んでいます。

問5 あなたは八戸産の水産物についてどのようにお考えですか。
下の選択肢の中からあてはまる番号をすべて選んで○を付けてください

1. 新鮮である 2. 安全である 3. 価格が安い 4. 価格が高い
5. わからない 6. その他（ ）

問6 あなたは、八戸産の水産物がブランド商品※になっていると思いますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

(※) ブランド商品：全国的に八戸のイメージを高めるような、地域特性を活かした商品のこと。

1. 全国的に通用しているブランド商品がある 2. 徐々に知名度が上がってきていると思う
3. ブランド力があるとは思わない 4. わからない

当市では、多くの観光客が訪れることを目指して、当市の魅力を全国に発信する取り組みに力を入れています。

問7 あなたは、当市の全国における知名度について、どのように感じていますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 知名度は高まっていると思う 2. 知名度はまあまあ高まっていると思う
3. 知名度が高まっているとは思わない 4. わからない

当市では、市民参画による観光振興の一環として、観光ボランティアの育成に取り組んでいます。

問8 あなたは、観光客の「おもてなし案内人」としての観光ボランティアガイドに参加した経験がありますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 参加した経験がある 2. 参加した経験はない

↓ 問8-1にお答えください

問8-1 問8で「2」を選んだ方にお聞きします。あなたは、観光ボランティアガイドに参加してみたいと思いますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 参加してみたい 2. 常時は難しいが、たまに参加してみてもよい
3. 参加したいとは思わない 4. わからない

当市では、地域の経済を支える新たな産業※の発展を目指して、産学官民（企業・大学・行政・市民）の連携促進に取り組んでいます。

（※）新たな産業：例えば、エネルギー・リサイクルなどの環境に関連する産業などのこと。

問9 あなたは、当市の大学などの学術研究機関（八戸工業大学、八戸大学、八戸工業高等専門学校）が地域経済の振興や地域振興などのまちづくりに参画していることを知っていますか。下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

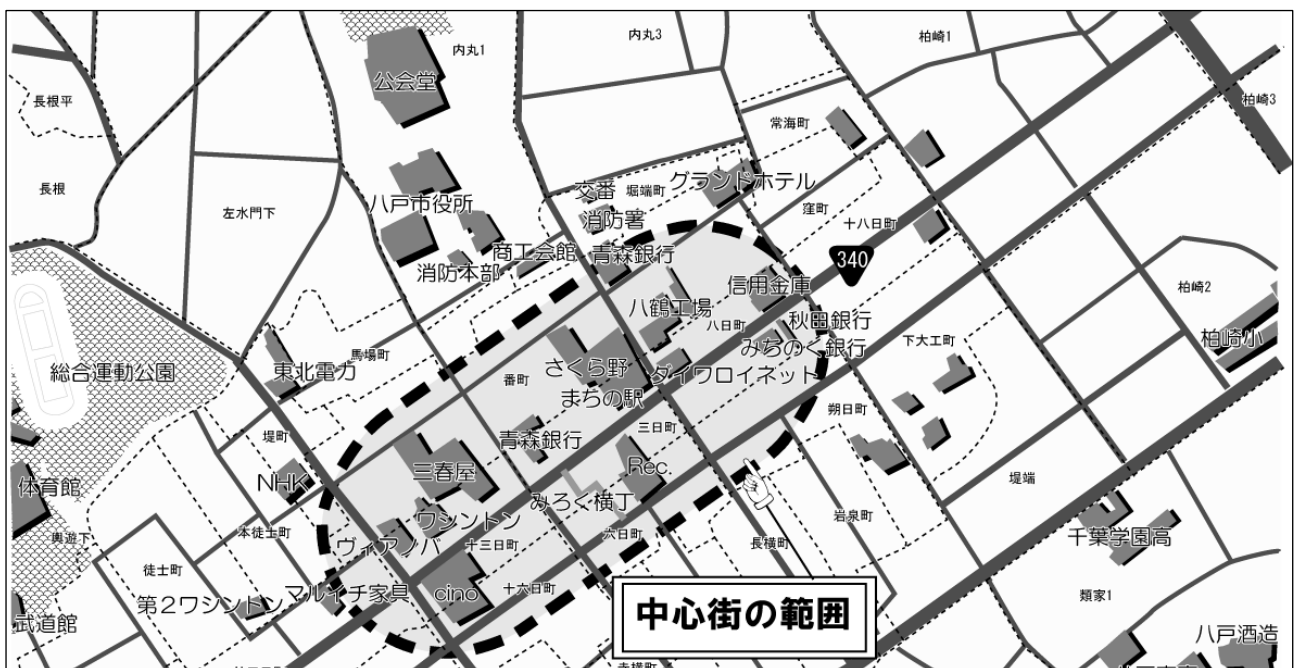
- 1. よく知っている
- 2. 内容はよくわからないが聞いたことはある
- 3. 知らなかった

当市では、多様な雇用機会の創出に力を入れています。

問10 あなたは企業の求人の動向など、当市の雇用を取り巻く状況についてどのようにお考えですか。下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- 1. 厳しい状況にある
- 2. 以前と比べて改善しつつある
- 3. 安定している（問題があるとは思わない）
- 4. わからない

当市では、八戸都市圏の「顔」としての役割を果たしてきた中心街が、にぎわいのあふれる空間となるよう、その再生に取り組んでいます。



問 11 あなたは現在の中心街に魅力があると感じていますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 魅力があると感じている
2. どちらかと言えば魅力があると感じている
3. どちらかと言えば魅力がないと感じている
4. 魅力がないと感じている

問 12 あなたが中心街へ出かけていく頻度はどれくらいですか。

出かける目的の別に、下の表の中からあてはまる番号を一つずつ選んで○を付けてください。

	1～5の一つに○				
	ほぼ毎日	週に1～2回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	ほとんど行かない
買い物	1	2	3	4	5
レジャー（娯楽・遊び）	1	2	3	4	5
通院	1	2	3	4	5
仕事	1	2	3	4	5
通学	1	2	3	4	5
その他 （具体的に)	1	2	3	4	5

当市では、多様で特色ある市民の自主的な文化活動や、健康で豊かな心身を育むスポーツ活動の促進に取り組んでいます。

問 13 この1年間の文化活動、スポーツ活動についてお聞きします。あなたは、日頃から文化活動やスポーツ活動にどの程度取り組んでいますか。

文化活動やスポーツ活動のそれぞれについて、下の表の中からあてはまる番号を一つずつ選んで○を付けてください。

	1～5の一つに○				
	ほぼ毎日	週に1～2回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	ほとんど取り組んでいない
文化活動 例) 文芸・音楽・歌唱・美術・写真・演劇・舞踊・伝統芸能・茶道・華道・書道など、自ら行う創作発表活動	1	2	3	4	5
スポーツ活動 例) スポーツチームへの参加、ゴルフ、テニス、スポーツクラブ、自主トレーニングなど	1	2	3	4	5

当市では、市民一人ひとりの環境意識の高揚に取り組んでいます。

問 14 あなたは、日常生活の中で環境保全のための行動*を実践していますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

(※) 環境保全のための行動の例

- 電気・ガス・水道等の節約 ○徒歩、自転車、鉄道、バスの利用 ○再生品やエコマーク商品の購入
○買物時における買物袋の持参 ○ごみの分別 ○緑化活動 ○自然保護活動 など

1. 積極的に意識して実践している 2. 少しは意識して実践している
3. あまり実践していない 4. 全く実践していない

当市では、自家用車に依存しない社会を目指して公共交通の活性化に取り組んでいます。

問 15 あなたは、バス路線の維持・活性化に対する行政の関わり方についてどのようにお考えですか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 行政が積極的に支援すべき 2. ある程度の行政の支援は止むを得ない
3. 行政の支援は不要である 4. わからない

問 16 あなたはバス路線の活性化に対して、どのような取り組みが必要であるとお考えですか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を三つまで選んで○を付けてください。

1. 運行本数を増やす 2. もっと朝早くから運行する
3. もっと夜遅くまで運行する 4. 定時性を高める
5. バス停を快適にする（上屋、ベンチの設置など） 6. 低床の車両を増やす
7. 時刻表をわかりやすくする 8. バスの系統をわかりやすくする
9. バス停を増やす 10. 鉄道との乗り継ぎをよくする
11. その他（)

当市では、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ社会を形成するための一環として、地域における世代間交流の推進に取り組んでいます。

問 17 あなたは、近所の子ともと話をしたり、子どもに声をかけたりすることがありますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. よくある 2. たまにある 3. あまりない 4. 全くない

問 18 あなたがお住まいの地域では、子どもたちと大人・高齢者世代が一緒になって行う活動がありますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

(※) 子どもたちと大人世代・高齢者世代が一緒になって行う活動の例

○スポーツ活動 ○ボランティア活動 ○文化活動 ○イベント・行事 など

1. よくある
2. たまにある
3. あまりない
4. 全くない
5. わからない

問 19 あなたは、八戸市が子育てしやすいまちだと思いますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 20 あなたは、当市をより子育てしやすいまちにするために、どのようなことが大切だと思いますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を三つまで選んで○を付けてください。

1. 子どもに対する医療サービスの充実
2. 安全に遊べる場や子どもの居場所づくり
3. 経済的支援の充実
4. 学校の教育環境の充実
5. 一時預かりや病後児保育など多様な保育サービスの充実
6. 子育ての悩みを気軽に相談できる仕組みづくり
7. 子育て中の親同士の交流の機会・場の充実
8. その他 ()

当市では、高齢者・障がい者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができる環境の整備に取り組んでいます。

問 21 あなたがお住まいの地域では、福祉ボランティア活動*が活発に行われていると感じていますか。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

(※) 福祉ボランティア活動の例

○障がい者やひとり暮らしの高齢者の話し相手、日常生活のお手伝い、外出の介助 など

1. 活発であると思う
2. どちらかといえば活発であると思う
3. どちらかといえば活発ではないと思う
4. 活発ではないと思う
5. わからない

問 22 あなたがお住まいの地域では、障がい者やひとり暮らしの高齢者が、災害時などの緊急時に地域の中で支援を受けられるようになっていると思いますか (例 救出活動、安否確認など)。

下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. なっていると思う
2. なっていると思わない
3. わからない

当市では、それぞれの地域コミュニティにおいて、健康な生活や暮らしの安全を確保するための体制づくりに取り組んでいます。

問 23 あなたがお住まいの地域では、健康講座や運動指導をはじめとした健康づくり活動が活発に行われていると感じていますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- 1. 活発であると思う
- 2. どちらかといえば活発であると思う
- 3. どちらかといえば活発ではないと思う
- 4. 活発ではないと思う
- 5. わからない

問 24 あなたがお住まいの地域では、日ごろから安全・安心活動（防災訓練、防犯パトロールなど）が活発に行われていると感じていますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

- 1. 活発であると思う
- 2. どちらかといえば活発であると思う
- 3. どちらかといえば活発ではないと思う
- 4. 活発ではないと思う
- 5. わからない

当市では、市民と行政による協働の仕組み[※]の構築に向け、新しい公共を支える協働のパートナーである地域コミュニティの振興や市民活動の促進に取り組んでいます。

（※）市民と行政による協働の仕組みとは、市民、事業者および行政のそれぞれが、適切な役割分担のもとに、お互い協力して住みよいまちづくりを実践する仕組みのことです。

当市では、平成 17 年 4 月 1 日に、八戸市協働のまちづくり基本条例が施行され、まちづくりのさまざまな分野において、NPOやボランティア活動、地域コミュニティの活動が盛んになってきています。

問 25 あなたがお住まいの地域では、町内会や自治会などの地域活動が活発だと思いませんか。また、当市では市民活動（NPOやボランティアなど）が活発だと思いませんか。
地域活動および市民活動のそれぞれについて、下の表の中からあてはまる番号を一つずつ選んで○を付けてください。

	1～5の一つに○				
	活発だと思 う	どちらかと言 えば活発だと思 う	どちらかと言 えば活発だと思 わない	活発だと思わ ない	わからない
地域活動(町内会・自治会など)	1	2	3	4	5
市民活動(NPOやボランティアなど)	1	2	3	4	5

当市では、平成22年2月に第5次行財政改革大綱を策定し、市民福祉の向上や効率的な行政運営のための各種改革に取り組んでいます。

問26 あなたは、市の行財政運営に関して、積極的に情報が公開・提供されていると感じますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

当市では、窓口サービスの向上や、市民への情報提供の充実に取り組んでいます。

問27 あなたは、市役所の窓口での職員の対応や姿勢に満足していますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば不満である
4. 不満である
5. わからない

問28 あなたは、市役所の窓口で、どのようなサービスを充実してほしいと思いますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を三つまで選んで○を付けてください。

1. 出張所や公民館で取り扱える手続きの拡大
2. 土日、祝日サービスの実施
3. 平日の窓口時間の延長
4. 待ち時間や混雑の緩和
5. 民間施設での自動交付機の設置
6. 書類・手続きの簡素化
7. インターネット等による手続きの実施
8. プライバシーに配慮したカウンターの設置
9. その他 ()

問29 当市では、インターネットにホームページを開設し、さまざまな情報の提供を行っていますが、あなたは八戸市のホームページをご覧になったことがありますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 定期的に見ている
2. 必要なときに見ている
3. たまたま見たことはある
4. 見たことはないが知っている
5. 全く知らないし、見たこともない

問29-1に
お答えください

問29-1 問29で「1」～「3」のいずれかを選んだ方にお聞きします。市のホームページについてどのように感じましたか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

1. 非常に役に立った
2. ある程度役に立った
3. あまり役に立たなかった
4. わからない

問 33 あなたは、「三圏域連携」の推進にあたり、どのような分野での連携・協力を期待しますか。
下の選択肢の中からあてはまる番号を三つまで選んで○を付けてください。

1. 救急医療など医療面での連携・協力
2. 農林漁業の活性化での連携・協力
3. 観光の活性化での連携・協力
4. 環境保全の面での連携・協力
5. 広域的なバス路線や鉄道など公共交通活性化での連携・協力
6. 交流人口の拡大や大都市圏等からの移住の促進における連携・協力
7. その他 ()

あなた自身のことからについておたずねします。

※調査結果を統計的に分析するために必要となりますので、必ずご記入ください。

問 34 あなたの性別、年齢、家族構成、お住まいの状況、職業についてお聞きします。
下の表のあてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

性 別	1. 男	2. 女		
年 齢	1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	
家族構成	1. 単身世帯	2. 夫婦世帯	3. 二世帯世帯（親と子）	
	4. 三世帯世帯（親と子と孫）		5. その他 ()	
八戸市※にお住 まいの年数	1. 1年未満	2. 1～4年	3. 5～9年	
	4. 10～19年	5. 20年以上	（※）八戸市には旧南郷村を含みます	
職 業	1. 農林業	2. 漁業	3. 会社員・会社役員	
	4. 自営業	5. 公務員・団体職員	6. 専業主婦	
	7. 学生	8. 無職	9. その他 ()	

<自由記入欄>

この調査でお聞きしたことのほか、今後の八戸市のまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の自由記入欄にご自由にご記入ください。

アンケートにご協力くださいまして、誠にありがとうございました。

第5次八戸市総合計画

有識者アンケート調査

報 告 書

平成22年8月

八 戸 市

— 目 次 —

1. 調査の概要	1
2. アンケート結果	2
3. 自由意見	14
参考. 調査票	25

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、前期推進計画の5年間で重点的に取り組む施策や事業について、現在と比較して5年後にどの程度成果が現れているかを把握し、総合計画の進行管理に役立てることを目的として実施しました。

(2) 調査項目

推進計画に記載した行政分野別に目指す姿を基本に、6段階（十分満たされている、まあまあ満たされている、どちらともいえない、あまり満たされていない、ほとんど満たされていない、わからない）で現在の状況を評価していただきました。

(3) 調査対象

この調査は、市の政策について一定の関心・知識を持っている有識者 238 名としました。

(4) 調査方法

調査方法は郵送配布、郵送回収です。途中、回収率を高めるため、お礼・督促状を配布しました。

(5) 調査期間

平成 22 年 5 月 19 日に発送し、6 月 2 日を投函締め切りとしました。

(6) 回収状況

配布数 239 票に対して、有効回収数は 194 票、有効回収率は 81.2%でした。

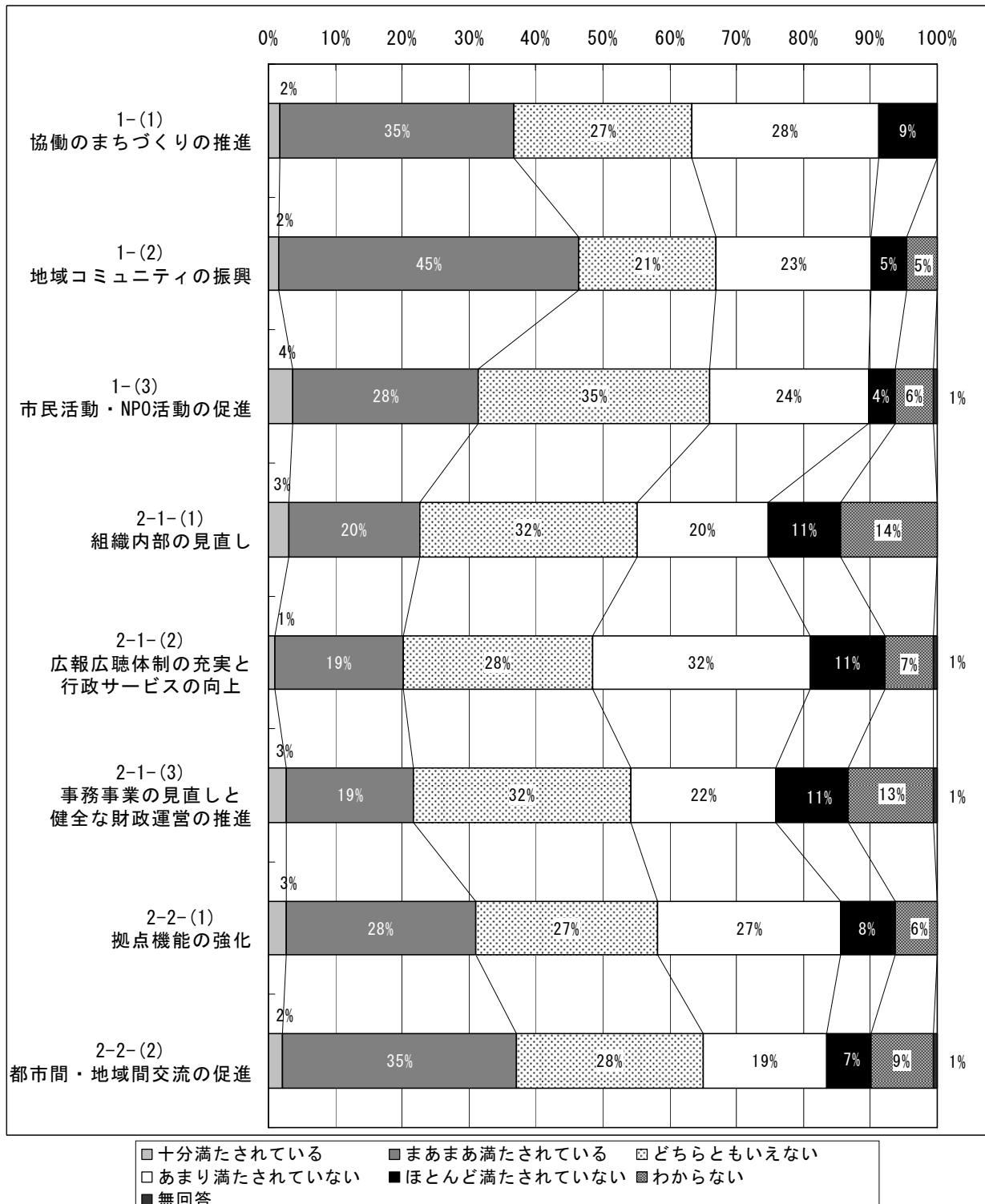
2. アンケート結果

(1) 住民自治の推進・自治体経営の強化

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「地域コミュニティの振興」で47%であり、それ以外で3割以上の支持があるのは、「協働のまちづくりの推進」、「都市間・地域間交流の促進」、「市民活動・NPO活動の促進」、「拠点機能の強化」となっています。

図 住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での現状評価



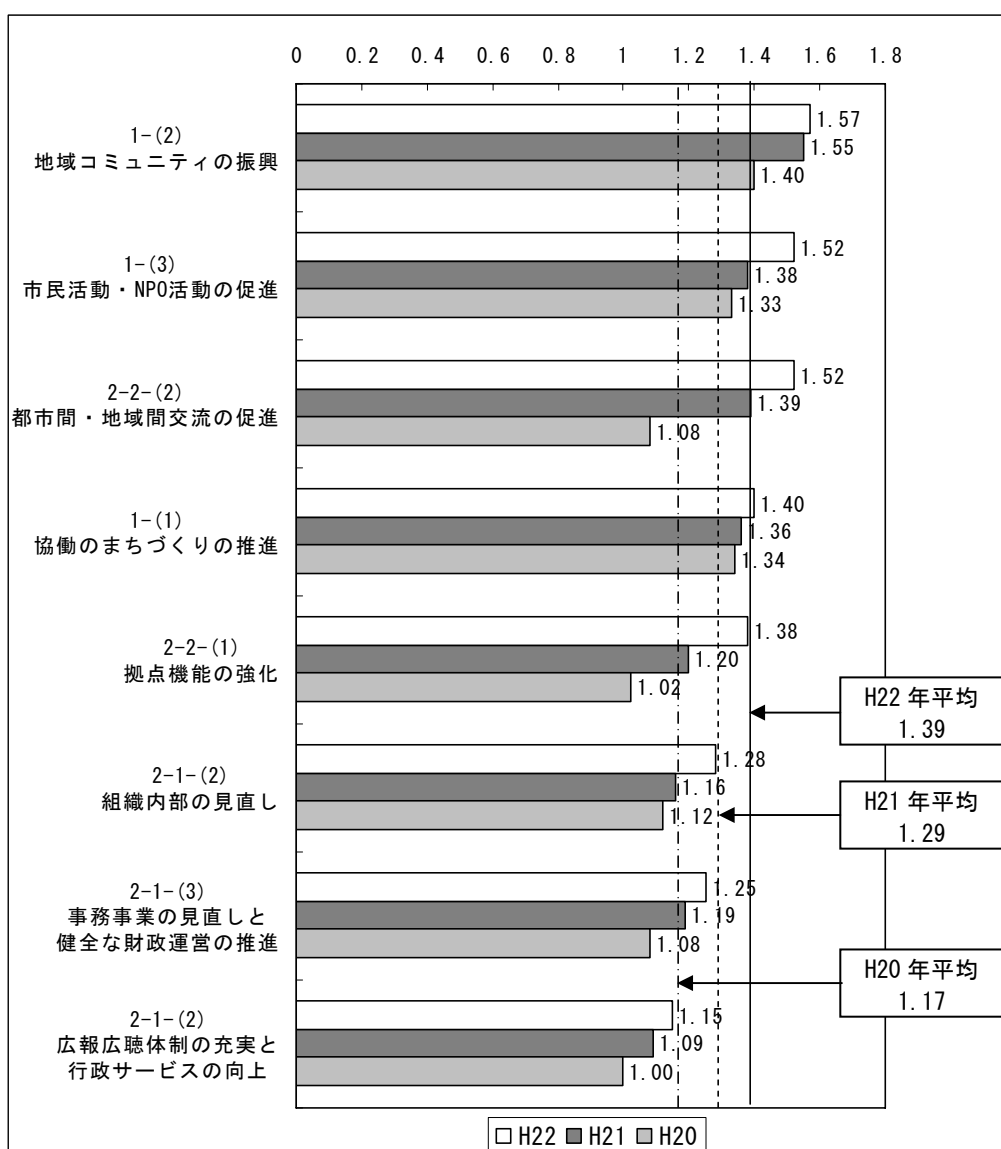
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での満足度得点の平均値は1.39点であり、前回は0.1点上回りました。また、全8項目で前回は上回っています。

「地域コミュニティの振興」や「市民活動・NPO活動の促進」、「都市間・地域間交流の促進」、「協働のまちづくりの推進」などが平均を上回っています。一方、自治体経営の強化に関する分野が平均値以下になっています。

図 住民自治の推進・自治体経営の強化の分野での満足度得点

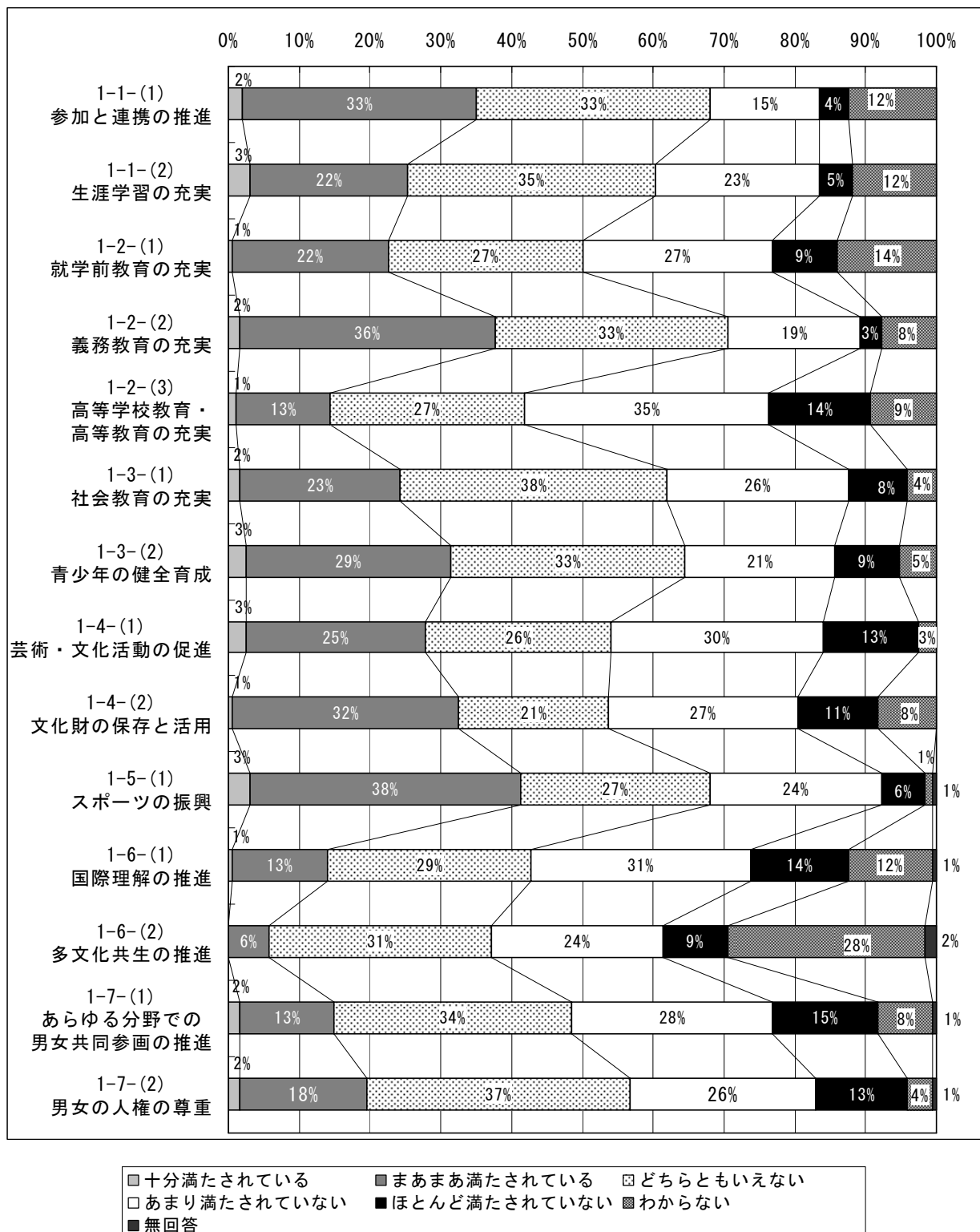


(2) 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「スポーツの振興」で41%であり、それ以外で3割以上の支持があるのは、「義務教育の充実」、「参加と連携の推進」、「文化財の保存と活用」、「青少年の健全育成」となっています。

図 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画分野での現状評価



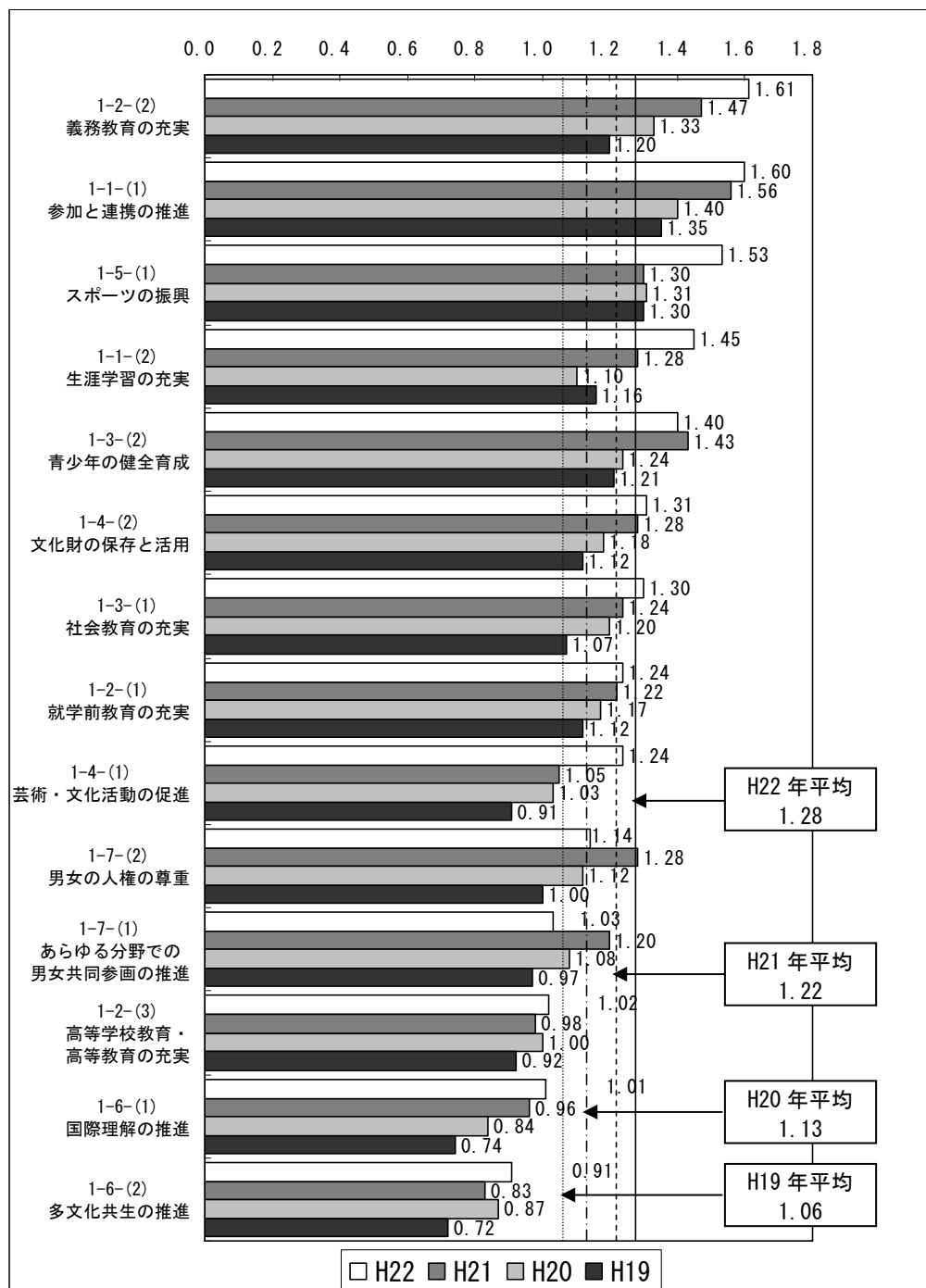
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画の分野での満足度得点の平均値は1.28点であり、前回は0.06点上回りました。また、全14項目中、11項目で前回は上回っています。

「義務教育の充実」や「スポーツの振興」、「青少年の健全育成」などが平均を上回っています。一方、男女共同参画や国際化に関する分野が平均値以下になっています。

図 教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画分野での満足度得点

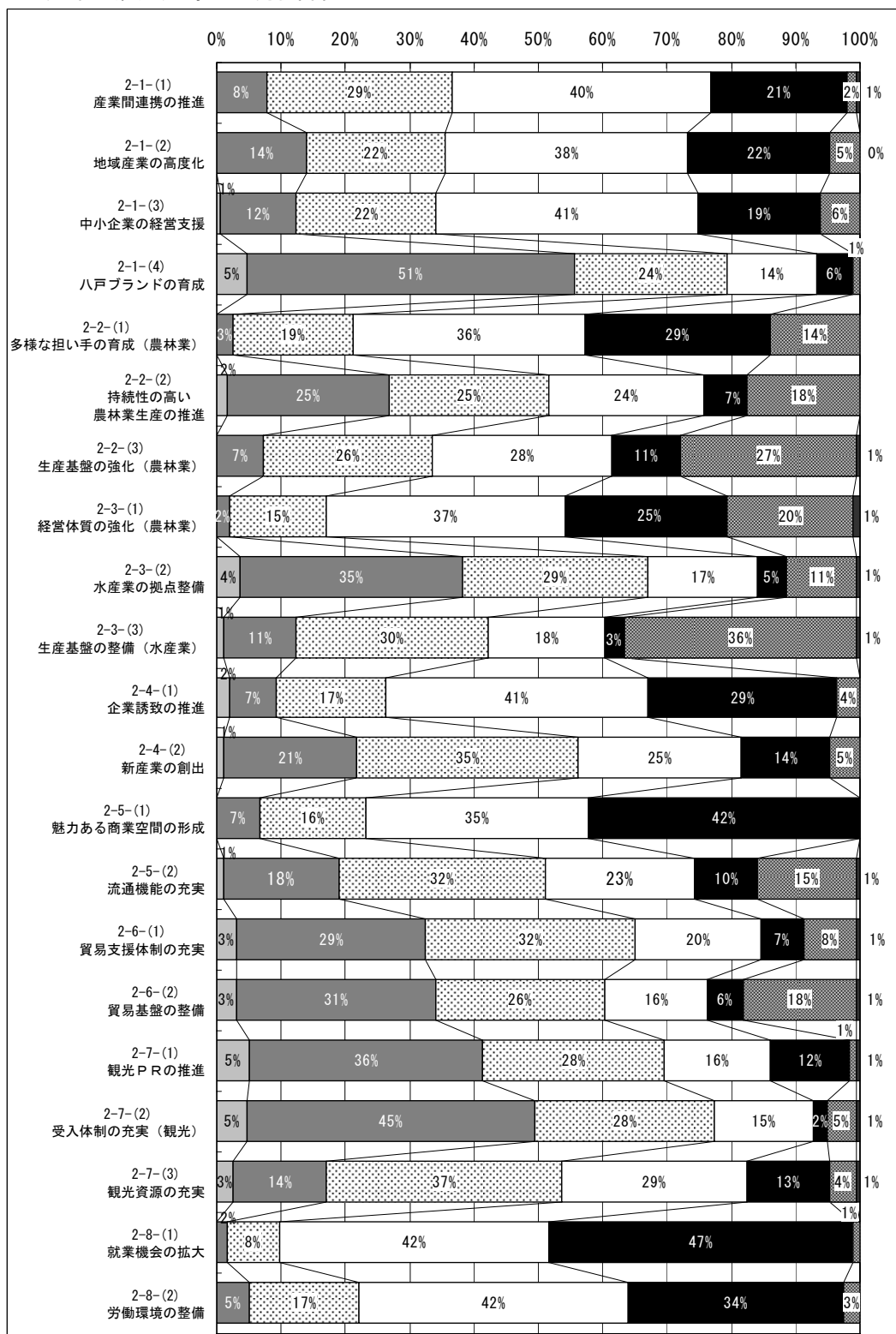


(3) 産業・雇用

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「八戸ブランドの育成」で56%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「受入体制の充実（観光）」、「観光PRの推進」となっています。

図 産業・雇用分野での現状評価



□ 十分満たされている ■ まあまあ満たされている □ どちらともいえない
 □ あまり満たされていない ■ ほとんど満たされていない □ わからない
 ■ 無回答

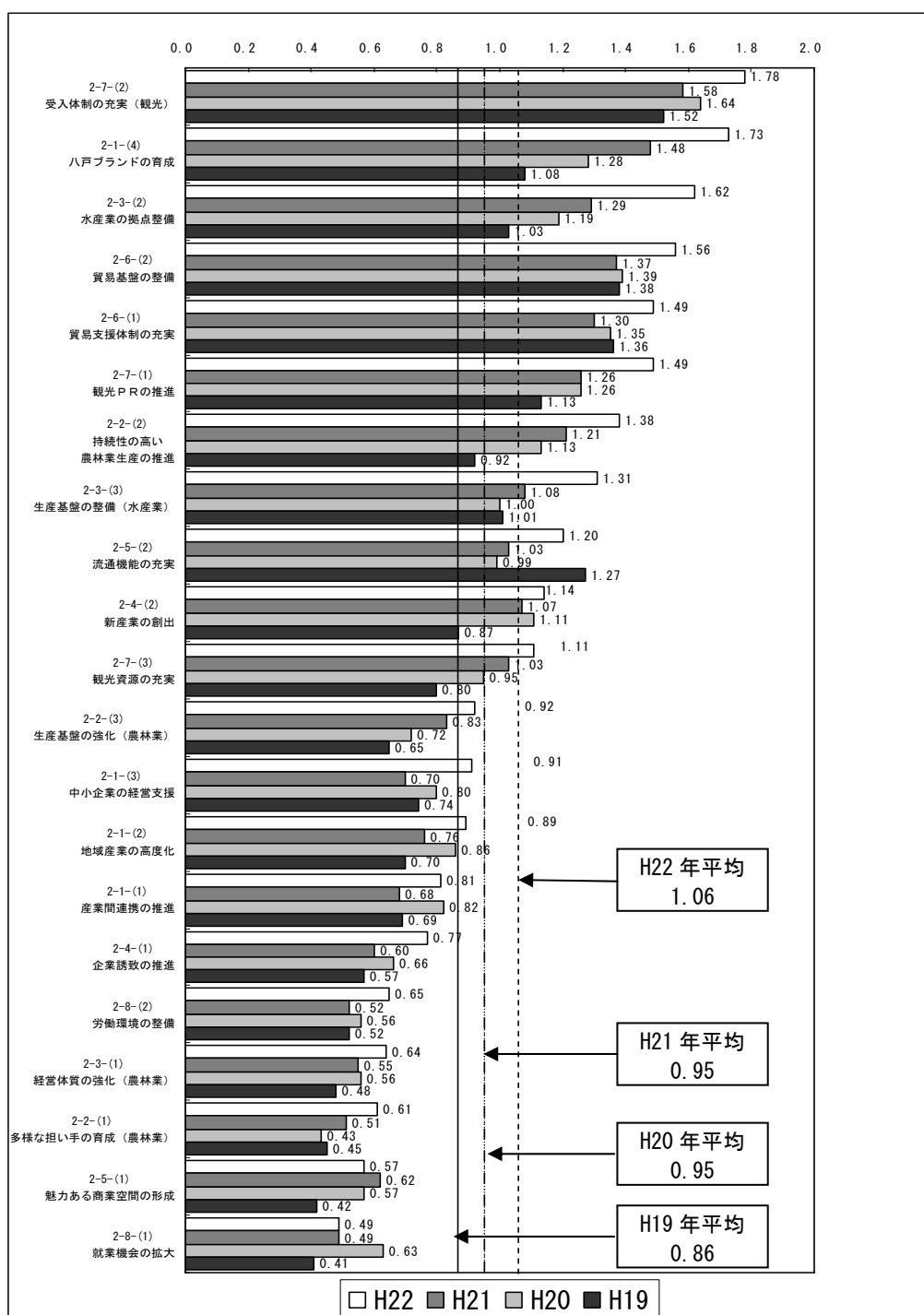
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

産業・雇用の分野での満足度得点の平均値は1.06であり、前回は0.11点上回りました。また、全21項目中、19項目で前回は上回りました。

「受入体制の充実（観光）」や「八戸ブランドの育成」、「水産業の拠点整備」など近年の新たな取組みが平均を上回っています。一方、就業機会や労働環境の整備、農林業の担い手確保、中心市街地の活性化など、従来から課題となっている分野が平均値以下になっています。

図 産業・雇用分野での満足度得点

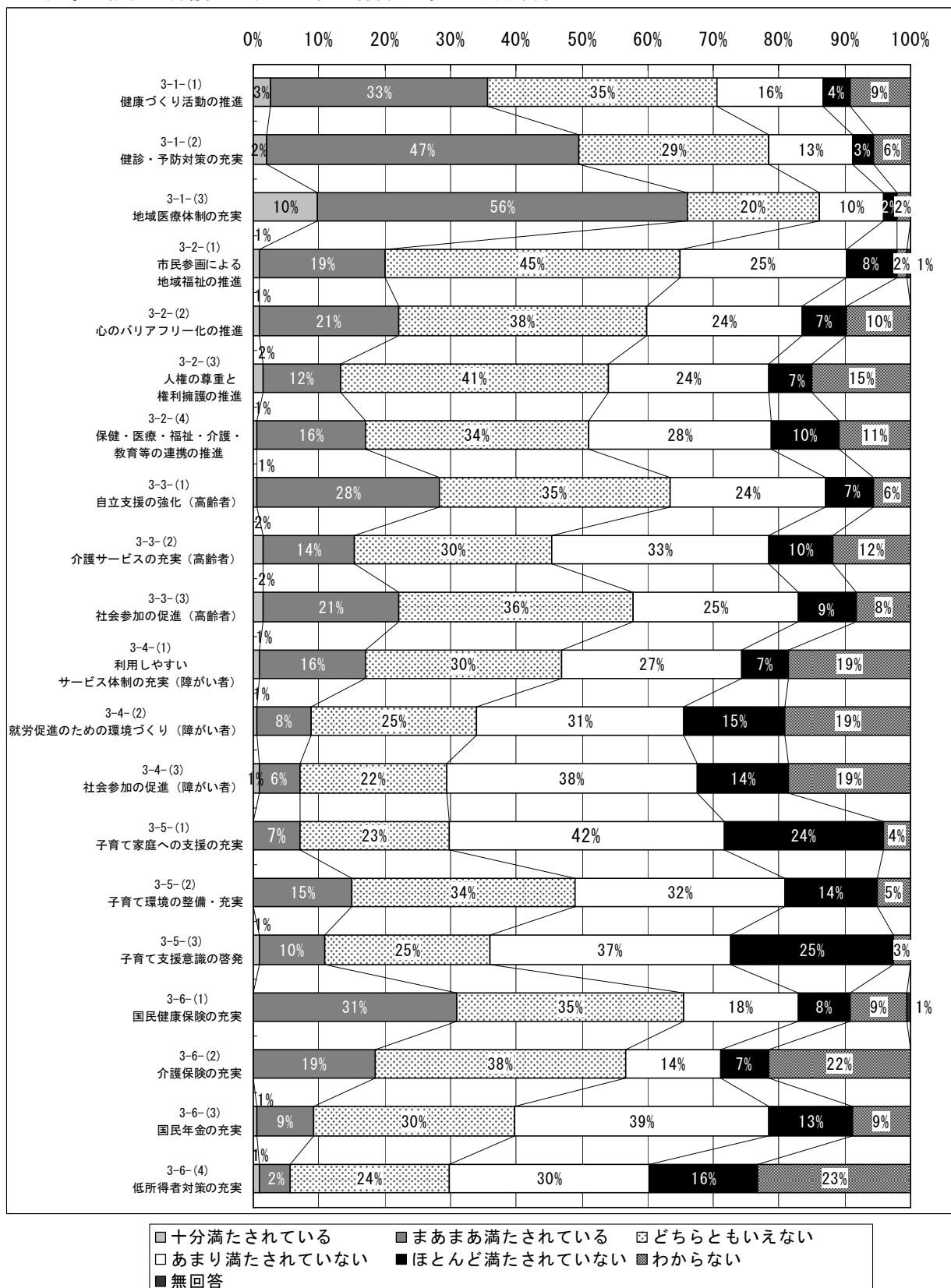


(4) 健康・福祉・介護・子育て・社会保障

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「地域医療体制の充実」で66%であり、それ以外で3割以上の支持があるのは、「健診・予防対策の充実」、「健康づくり活動の推進」、「国民健康保険の充実」となっています。

図 健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での現状評価



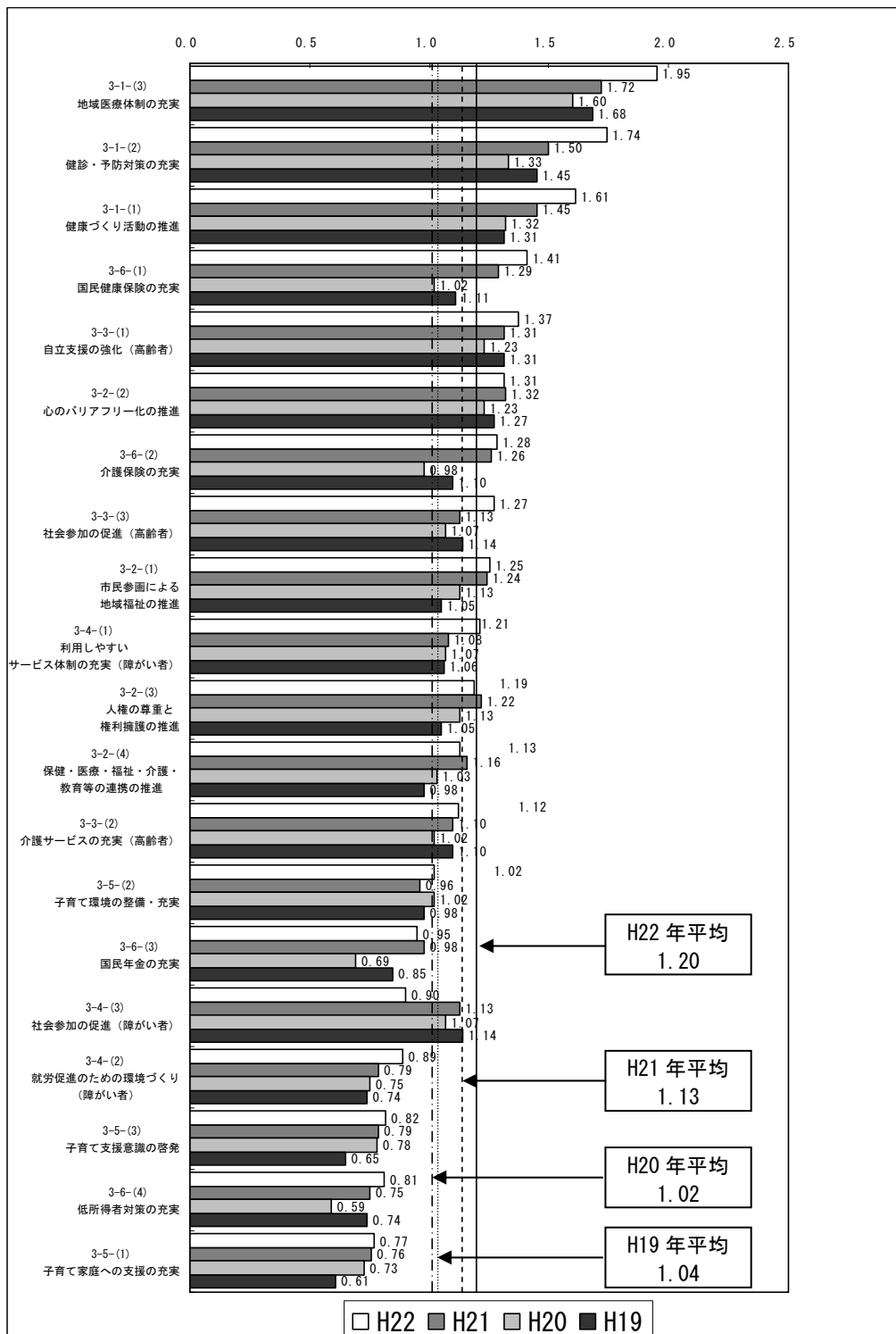
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

健康・福祉・介護・子育て・社会保障の分野での満足度得点の平均値は1.20であり、前回は0.07点上回りました。また、全20項目中15項目で前を上回りました。

「地域医療体制の充実」や「健診・予防対策の充実」、「健康づくり活動の推進」などの医療や地域福祉に関する分野が平均を上回っています。一方、子育て支援に関する取り組みや低所得者の対策等は平均値以下になっています。

図 健康・福祉・介護・子育て・社会保障分野での満足度得点

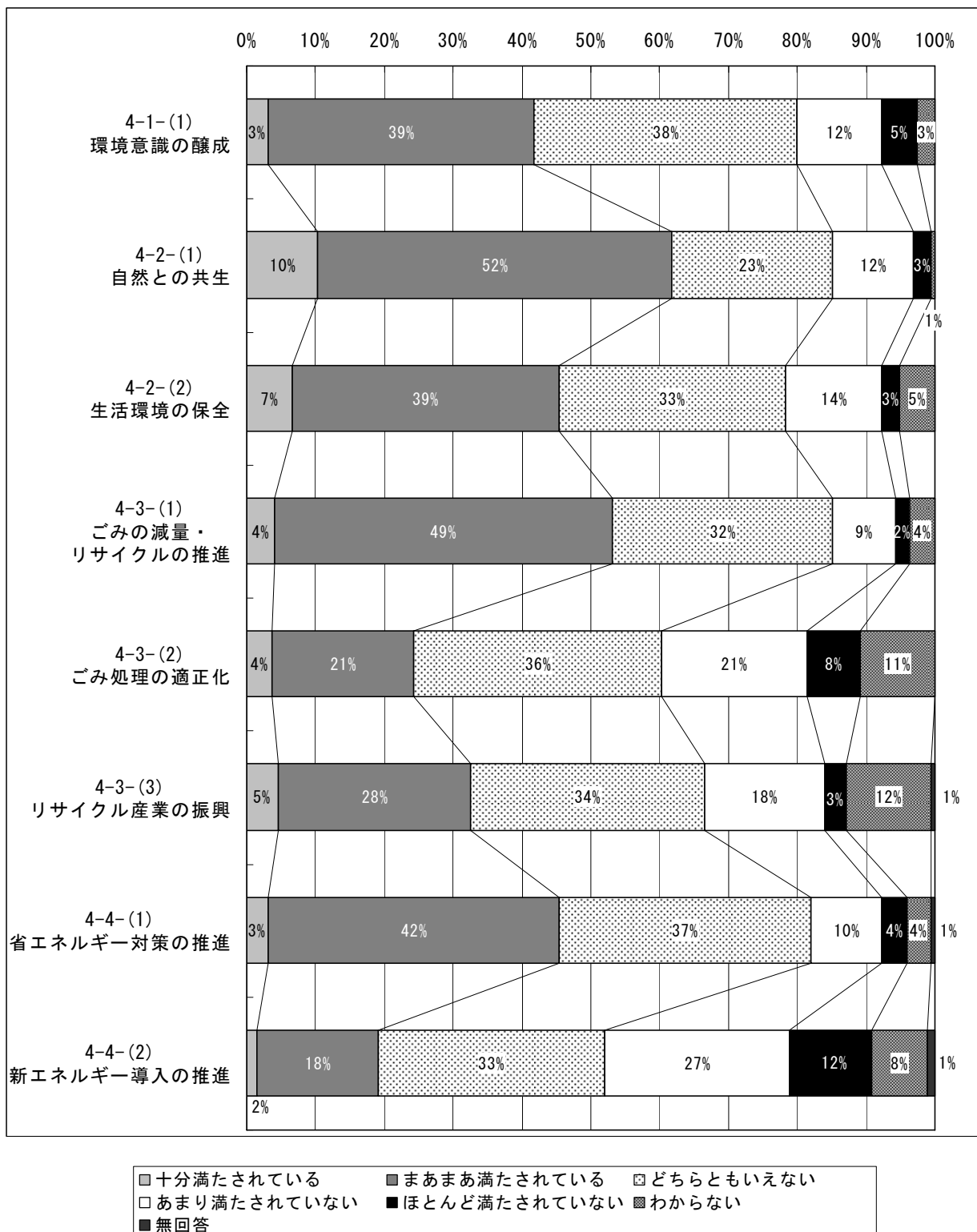


(5) 環境・リサイクル・エネルギー

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「自然との共生」で 62% であり、それ以外でも「ごみ処理の適正化」や「新エネルギー導入の推進」を除き、3 割以上の支持となっています。

図 環境・リサイクル・エネルギー分野での現状評価



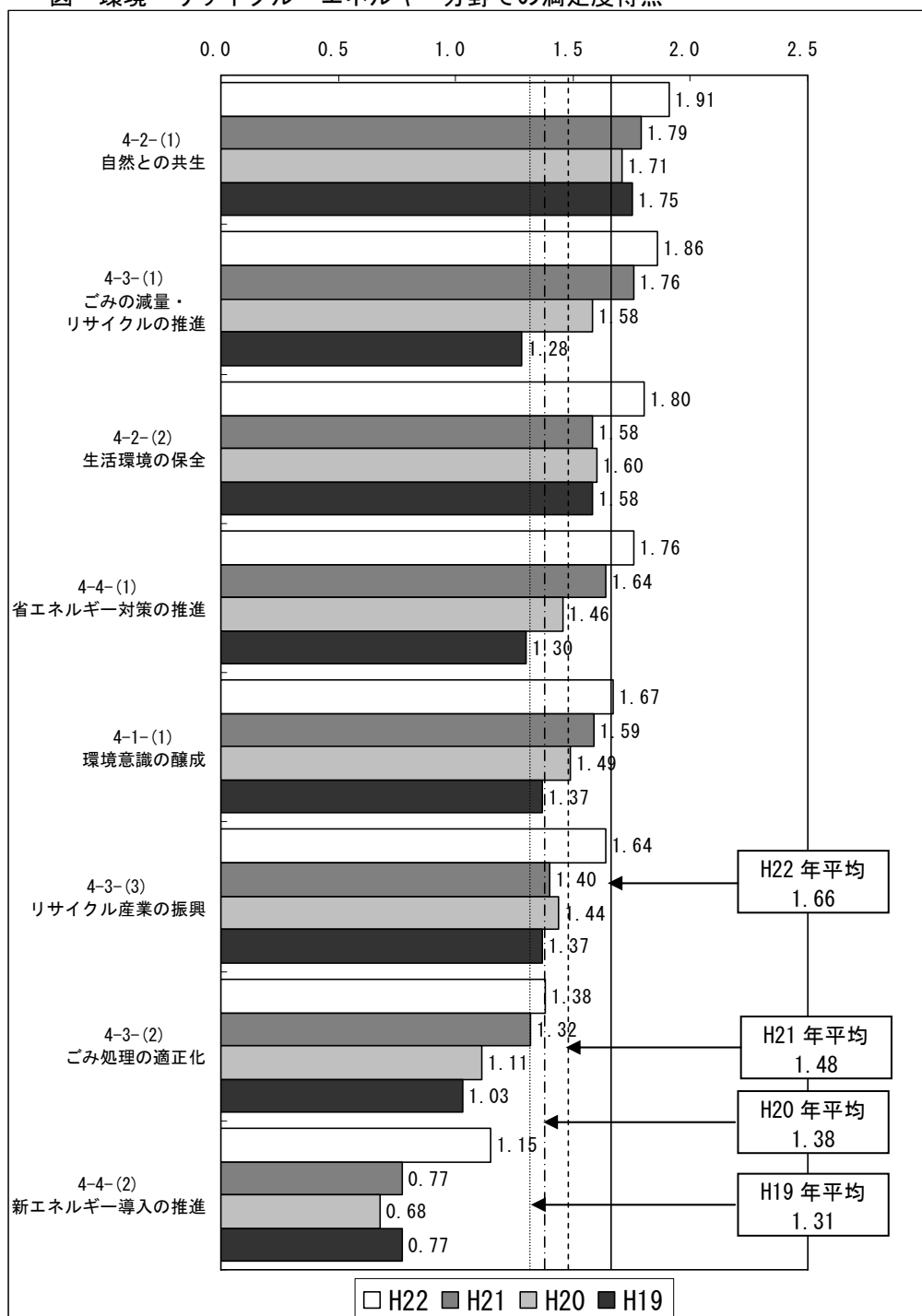
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

環境・リサイクル・エネルギーの分野での満足度得点の平均値は1.66であり、前回は0.18点上回りました。また、全8項目で前回は上回っています。

「自然との共生」や「ごみの減量・リサイクルの推進」、「生活環境の保全」などが平均を上回っています。一方、ごみ処理の適正化や新エネルギー導入の推進は平均値以下になっています。

図 環境・リサイクル・エネルギー分野での満足度得点

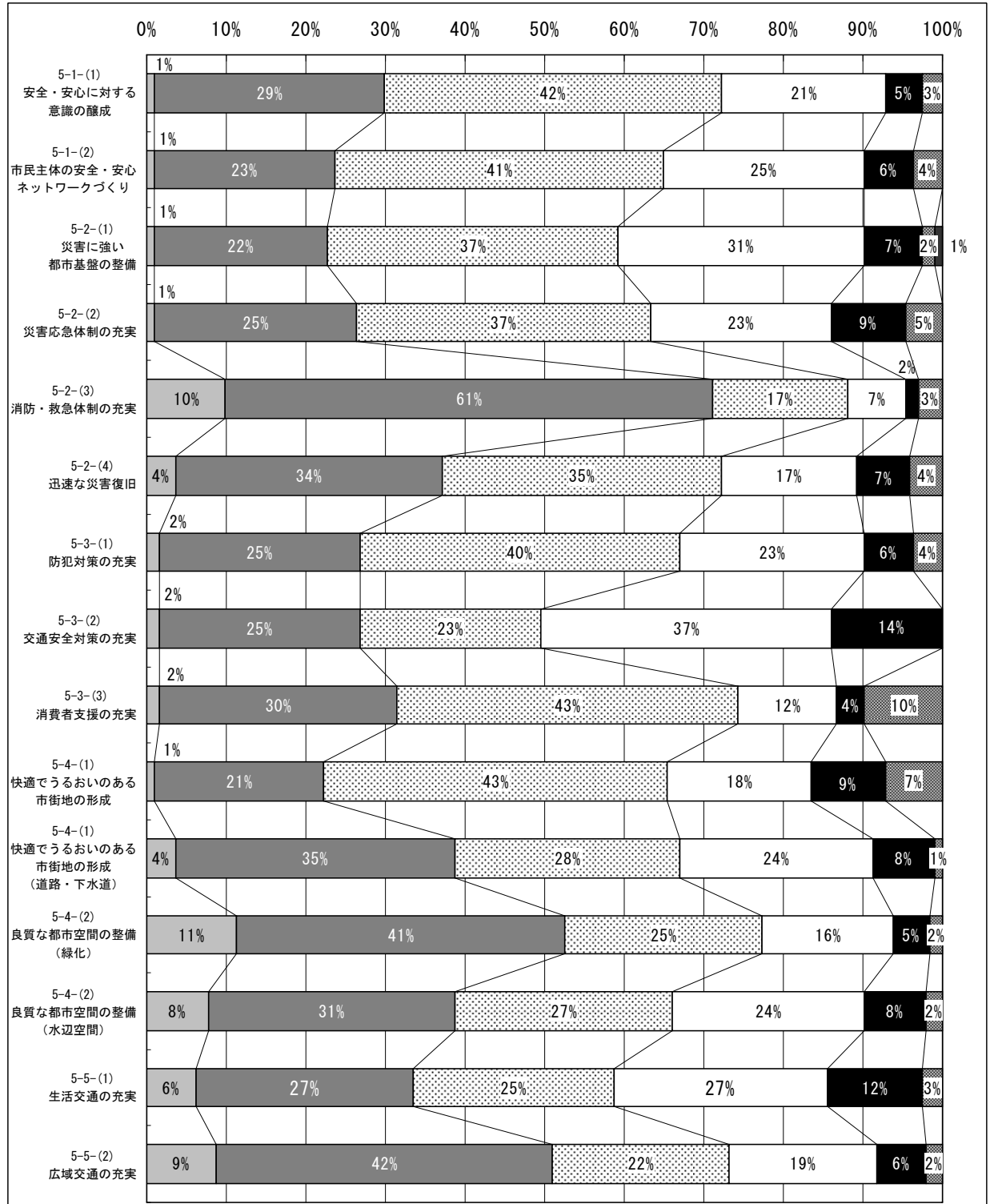


(6) コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通

1) 満足度

「十分満たされている」と「まあまあ満たされている」を合わせた満足度は、最も高い「消防・救急体制の充実」で71%であり、それ以外で4割以上の支持があるのは、「良質な都市空間の整備（緑化）」や「広域交通の充実」となっています。

図 コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での現状評価



十分満たされている
 まあまあ満たされている
 どちらともいえない
 あまり満たされていない
 ほとんど満たされていない
 わからない
 無回答

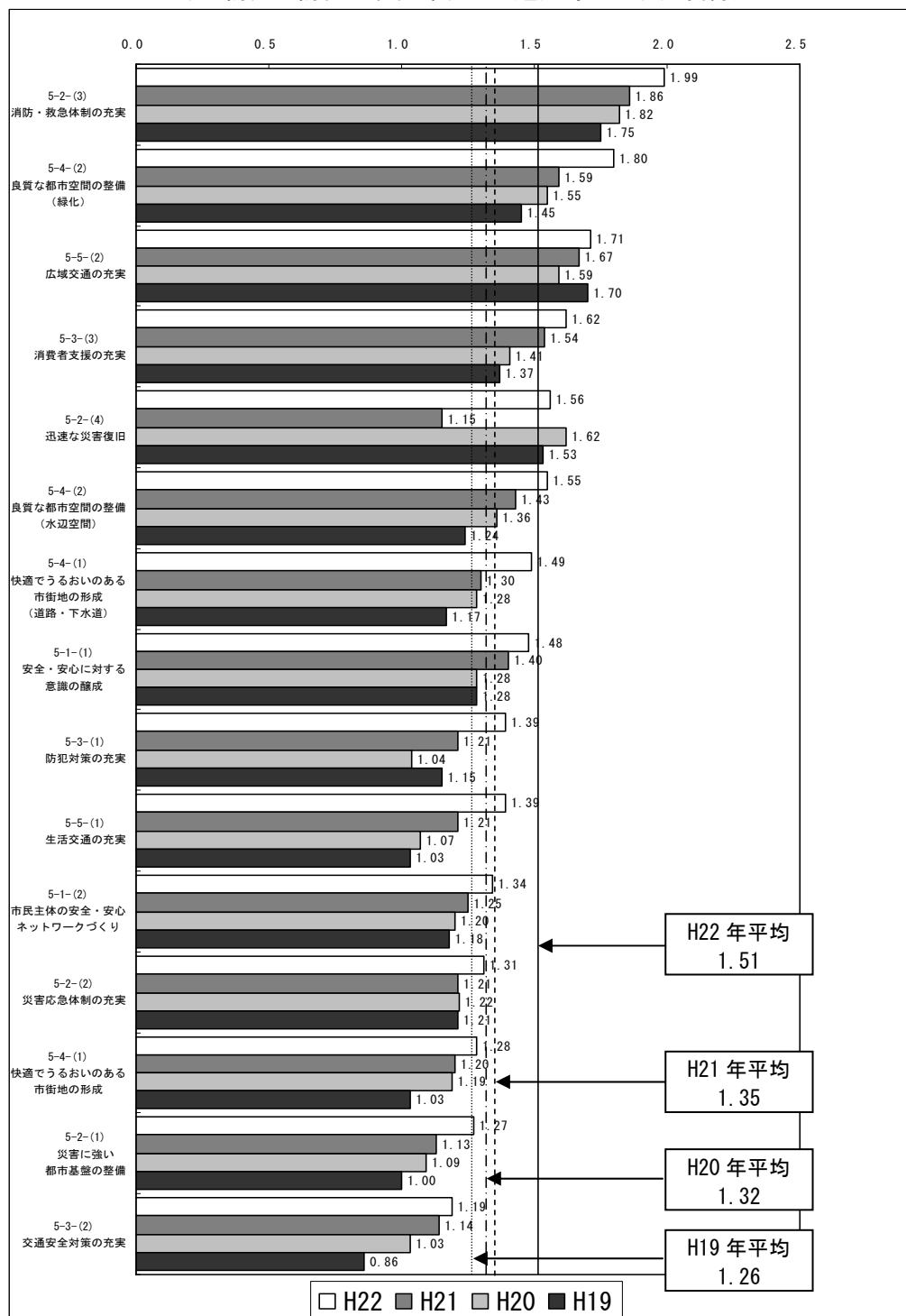
2) 満足度得点

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通の分野での満足度得点の平均値は1.51であり、前回は0.16点上回っています。また、全15項目が前回は上回っています。

「消防・救急体制の充実」や「良質な都市空間の整備（緑化）」、「広域交通の充実」などは平均を上回っています。一方、災害対策や交通安全、防犯対策などは平均値以下になっています。

図 コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通分野での満足度得点



3. 自由意見

分野	項目	自由意見		
住民自治	住民自治	リーダーシップをとれる人材の確保・育成が急務であり、地域で仕切っている年輩の方々の意識改革が必要と、強く感じます。		
		高齢者が生きがいを持つように、地域のつながりを大事にして欲しい。		
	町内会・自治会	街づくりには町内会の役割が大きいですが、肝心の町内会は活性化への意欲もなく、昔と変わらないことの繰り返しです。町内会総会への参加者も少なく、未加入者も多いのに、どんな努力をしているのでしょうか。町内会長等からだけでは正しい情報は得られないと思われます。町内会長を任期制にするとか、行政委員・民生委員を町内会にこだわらずに一般公募するなどの積極的な改善の検討を要望致します。		
		町内会の在り方について、住民の高齢化、世帯数の減。→班の再編はできないか？		
		集合住宅に住む住民からも町内会費は不動産契約時に加入と徴収は可と思われる。		
		町内会・自治会などが負担して、防犯灯の整備費用について未加入世帯に対して知ってもらい、応分の負担をしてもらうような条例などの制定を要望する。		
		地域連携により、環境整備等自主的に活動する事が大切な時代に入っている。町内会活動にそれを盛り込む事等が必要と思われる。		
		昔のような隣近所、顔の見えるつきあいとお祭りや地域行事等の復活が今の社会に必要。		
		高齢者だけの世帯が多くなっている集落が増加していると思われる。今後、自治会・町内会活動に支障が出てくるのではないかと。実態調査をして対応を考える必要があるのでは。		
		数年前の協働のまちづくりは、あまり成果のないままに終わったのでしょうか。各地区の行政員の派遣もあまり機能していないように思われます。現在、町内会は安心・安全、学校はボランティア支援、福祉はみまもり組織の育成とバラバラで、地域の負担は大きくなるばかりです。もっと行政の横のつながりを明確にして八戸市をどのような街にしたいか、市民の連帯感が必要と思います。		
		町内会の組織率（加入者）を増加させるための工夫が必要です。市民同士が連携できるシステムづくりが必要だと思います。		
		自治体経営の強化	自治体経営	今、こんな事をしていましてという、市の情報が少なすぎるのではないのでしょうか。公表しているものでも目に止まりづらいものになっているのだと思います。パソコンやインターネットを活用できない中高年向けに、アナログな情報の広げ方も考えた方がいいのではないのでしょうか。
				市で行っているサービスの情報が、必要なところに確実に届くようにきめ細かい活動が必要である。
学生の中にもまちづくりに興味のある方はたくさんいる。しかし、知らないうちに活動が行われているときもあるので、まちづくり活動の募集事項は広報を通じて幅広く伝えてもらいたい。				
五年に1回の国勢調査の結果が、居住者現況に反映されていないので、反映するように要望する。				
都市圏の中心都市としての中核機能の高まり、市町村連携については、PR不足では。				
ゆかりの都市間・地域間交流については、PR不足では。				
色々な活動など、努力をしているとは思いますが、私をはじめ、ほとんどの市民はあまり知らないのでは？と感じています。 このご時世ですが、何か元気が無い八戸と思っています。 何が自慢できるのか、どんな街？と聞かれても答えられないでいます。もっと八戸について知りたいと思っています。				
色々な事に取り組んでいるかと思いますが、あまり見えて来ない気がします。				
「国・県の役割」と「市の役割」を明確に市民に発信することと、市民の生活は「国・県・市」の区分とは無関係であることを念頭において施策を進めて頂きたい。				

分野	項目	自由意見
自治体経営の強化	自治体経営	八戸市の“活動”が見えない。インターネット（ホームページ）を利用して、もっと積極的なアピールが必要。現在も八戸市のホームページで関連するアイテムを記載しているが、内容が理解しにくい。また、インターネットは限られた人となる為、別の手段でのアピールも考えて実施願いたい。
		以前にも申し上げましたが、市営バスの運転手さんがバスがすれ違う際にお互いに手を挙げて挨拶するのに、バスのお客さんが下車の際「ありがとうございます」といっても返事をしない方が30%位は居ります！100%応答するようにご指導願う！
		街づくりには、健全な市政運営と安定した税収が必要です。それには市政に携わる関係者の努力が重要です。最近全国で発覚した理解できない役職の取扱、出身校による差別、同県の一番多い層の平均賃金に比較して公務員がいかに多く税金を使って収入を得ているのか等を見直すべき。そしてその結果を広く市民に伝える事が務めだと思えます。そうすればおのずと街づくりに必要な経費も捻出でき、市民も参加しようと思うゆとりが生まれます。利害関係に惑わされる事なく、本当の市民の為の市政を行うなら、自然に住みやすい八戸になるのではありませんか？
		議員給与を減額して欲しい。
		八戸市職員の給与と一般人の給与を比較し、発表してもらいたい。年収700万円は八戸の一般人から見ると高すぎる。
		市議会議員は今の2/3でよい。
		市長と話す機会があったが、意見を述べたところ、まるで聞く耳持たぬという感じで全く話にならなかった。どんな反対意見でもそれが生まれる背景があり、きちんと市民の声は聞くべきではないだろうか。反対意見の即排除をリーダーシップの行使と勘違いしているなら危険な事だと思う。
教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画	学校教育	12. について、本来しつけ等、基礎的生活習慣の育成は親の仕事だが、学校現場への依存度が高く、負担が大きすぎる。本来の「授業、勉強、人間力、生活力」を育てる学校であって欲しい。
		9. について、体験学習等の機会は結構計画されているが、参加意識が低く、参加する児童生徒・保護者が少ない。
		八戸市内の小学生の自然環境教育学習（体験を含む）が少ない。
		教育も福祉との連携が必要（子ども達の状態、現場の声を聞くべきです）。児童館・学童クラブの充実が必要。
		子どもや地域にとって良いと思う学校づくりをお願いします。
	スポーツ	スケートの街・八戸を全面に出し、スケート場の整備と国体の常時開催地として立候補していくのはどうかと。 海岸の方はとても景色が良いので、中心街よりサイクリングロードを造って欲しい。
文化	是川の新しい建物は完成が待ち遠しいですが、一日中楽しめるように、工夫と集客の為の宣伝をして、せっかく作った建物をフル活用してもらいたいです。	
産業・雇用	観光	観光PRが少ない。青森新幹線が開通すると、通過駅になるおそれがある。 「はっち」がオープンしたら、八戸を宣伝PRするための勉強会を行って欲しい。「はっち」の中に市民の憩いの場や読書ができる空間を作って欲しい。「はっち」に期待しています。

分野	項目	自由意見	
産業・雇用	観光	はっち、ユートリーの市民利用拡大を！ 郡部出身で、駅での待ち時間に宿題をしていました。観光客の為という理由で高校生の勉強をひかえるようにとありました。今はテーブルもありません。地域で子育て！はどこへやら。マナーの徹底、大人の声かけにより、観光客と市民と一緒にいられる場があってこそその公共の場所だと思います。見た目の良さも必要でしょうが、次世代を育てる市民サポートも必要かと。 「井戸端会議OK！勉強ダメ！」これは八戸市のレベルの低さを世間に知らせているだけ。改善されるまで市民に語りかけるつもりです。	
		八戸に津軽方面の料理を食べさせてくれる店はあるのですか？中心街やはっちにあれば良いですね。	
		もうすぐ「はっち」がオープンしますが、是非中心市街地の活性化の起爆剤になって欲しいと願っています。何をもって成功・不成功を判断するのか分かりませんが、満1年、3年、5年といったタイミングで、市民の評価・要望・アイデアを聞く場を、サポートセンター「わいぐ」などを通じて設けて欲しいと思います。	
		交流センター（はっち）の運営責任者を民間人にやらせたらと思っています。	
		「はっち」は多くの市民が楽しめる施設にして欲しい。それにより市民の誇りとして他県へ紹介できると思う。	
		農業・漁業の分野については接点がありませんので、「分からない」という回答をするしかない状況でした。唯一1番にチェックをしたのが観光分野です。高速道路が安いのが第一の理由だと思いますが、昨年の三社大祭では沖縄や関西から来たという方々に会いました。新幹線の開通（青森）に伴い、まだまだ伸ばせる分野なのかなと思いました。	
		姉妹都市であるフェデラルウェイに文化の輸出。八戸三社大祭の山車1台分と囃子の伝承により、フェデラルウェイの祭り文化に貢献するのはどうですか。ちょうど八戸にも京都から山車人形が伝えられたように。	
		八戸市の皆が「八戸といえばコレ！」とか「八戸のココが良い！」と共通して思えるものがあれば、もっと街づくりも具体的に組めるのでは？	
		昨年、青森ペンクラブの総会を八戸で開催した際、総会后種差海岸に案内をしましたら、景観に感嘆されたそうです。新幹線で青森から八戸へ。如何でしょう。	
		八戸は観光名所にとぼしく、祭りでは青森の「ねぶた」に勝てない。桜では弘前に勝てない。しかしながら、南郷区の試み、新井田川の土手沿いを桜で埋める構想に大賛成です。八戸側からも有志をつのり、同じく行動を起こしドッキングさせてみては。角館に負けない土手沿いの「桜並木」になることを楽しみにしています。きっと八戸の新しい観光名所になることでしょう。	
		種差海岸エリアから見えるテトラポットの存在が残念でならない。自然の美しさが自慢であっても、人工的物体の設置によって軽減されている。事情はわからないわけでもないが、テトラポットを観光にきたわけではない。他県の方の意見ですが、私も同感です。手つかずでいた近辺の木々が伐採、整備され、明るくなり見通しがとてもよくなりました。	
		類家にはラーメン屋が多いので、「八戸のラーメン街道」にしたらどうでしょうか？	
		雇用	八戸は、県内においては雇用の場が確保されている地域ではありますが、雇用の安定＝生活の安定なので、企業の誘致にはより一層尽力して欲しいです。
		他市に比較して雇用が少ない。もう少しよい案を出して、企業誘致に努めて欲しい。これだと人口が増加しない。	
企業の誘致をもっと頑張ってもらえれば。若い人達の優秀な能力を発揮できる場所を！			
高齢者の能力がもっと活かされる場が欲しい。			
若者、特にフリーター対策は市全体の問題として広く考慮されるべき。街の中で白昼ぶらぶらする若者が多く、声をかけられると怖い感じがする。			
若者が県外に行かないように、県内に雇用の場を増やして欲しい。			
色んな講習会を福祉協議会で公開していますが、どれをとっても雇用へ結びつかず、ただ尻切れトンボになっています。空きビルを利用して、子育て支援講習を受けた人達が働けるよう、市の方でなんとかして下さい。			

分野	項目	自由意見
産業・雇用	雇用	雇用の場というのがどうしても少ないので、何とか企業を誘致して頂きたいのですが、人口増加のためにも首都圏や大都会に比べて有料老人ホーム等が安いので、首都圏等にアピールし、こちらのホームに入居する人を増やす、そうすると介護職も増える。また定年退職した人達に八戸に帰って来てもらう。八戸での住居・家庭菜園を楽しむなど、ある程度市で企画し、それを宣伝する。
		特に若い人の雇用状態がよくない。正社員として働ける場所（雇用先）を作って欲しいです。
		高齢者（特に60代）の活用について、私は60歳定年でも未だに健康で仕事をやりたい方が沢山いると思います。例えば企業誘致のためのセールス活動など、現役時代の知識と経験を活かせるのではないかと思います。
		身障者の雇用促進について、私の知っている中で市庁市民課に車椅子の身障者を見受けていますが、もっともっと活用できる部分があるのではないかと思います。それを呼び水に民間にも広げるようにしたらどうかと思います。現在、一定水準の企業には身障者を雇用するよう義務付けておりますが、行政が率先してやれば又違った見方が出てくるのではないのでしょうか。
		母子・父子家庭の雇用が進まない現状は悲しいです。
		第3の担い手によるエコなる社会参加と、新しい社会形成を望む。高齢者、障がい者、主婦、ニート、生活保護者等の有効活用と社会参加が、無駄のない人材力として活用が期待できる。
		若者の就学・就労に力を注ぐ事で若者の定住を促進。 地域の活性化へ導く施策をもっと充実させる必要を感じる。
		八戸市における更なる経済成長、雇用が安定し税収を増やす方策として、行政の果たす役割をもう少し広めて民間における起業の支援者になって応援することも大事でしょう。民と官と学識者が一体となって新産業が開発されることを望みます。ワーク・ライフ・バランスの問題に取り組んで欲しい。
		企業誘致をより積極的に行うこと（税制優遇等）によって、若者の職場確保・定住を促進できるのでは。
		若年者雇用対策の充実を望みます。
		若い人が働ける場、産業などの発展を切に願います。
		自家用車でなくても仕事に行くことができる工場や研究施設（仕事場）があれば、余分なエネルギーを使わなくてもよい。そんな街づくりをして欲しい。
		なんといっても経済の活性化、雇用の創出が重要な課題。
		農林 水産業
八戸市にも温泉を活かした道の駅を作って欲しい。八戸公園の近くが良いと思います。八戸南道路ができ、その入出インターができるので、近くの農家の産直もできるし、帰八や帰宅の際の土産を買う場所にも良いと思います。		
市日がばらばらで他市町村から来た人には分かりにくい。八食や湊周辺など頑張っているが、車の無い人や観光客には行きにくいようである。		
商業・中心 市街地活 性化		創業者支援を目的としたインキュベーション施設の充実。 中心街の空きビル等を利用した少人数用の事務所用テナントの開発・運用をしてはどうだろうか。 創業者は初期コストの負担が大きい。共同使用のコピー機、会議室、安い事務所が必要である。
		新幹線全線開業に向け、より特色のあるまちづくりが不可欠になってきます。中心街の活性化と駐車場の整備をより強化して欲しいです。共通駐車券のカード発行や「はっち」の完成には期待しています。
		三日町（さくらのデパート）周りの空きビル空き店舗等がこれからオープンする「はっち」の運営に悪影響になる。中心街の活気を取り戻す空きビル対策を講じて下さい。
		中心街の空室が多い。魅力ある対策はないものか。

分野	項目	自由意見
産業・雇用	商業・中心市街地活性化	中心街に買い物に行っても駐車料が高いため郊外にショッピングに行く現状に、どう対処するか伺いたい。
		例えば閉めている大型の店舗を改造して独身者又は新婚者が住めるアパート等。店舗をたくさんに仕切って何世帯も入居できる設備（2階以上なら1階は店舗として成り立つのでは）にできないか！
		八日町、三日町、十三日町、二十三日町の中心地に、もっと若者を呼び込もう！
		市内の駐車場料金が高すぎる。郊外の無料駐車場が常識化している中であるし、もっと努力して商店の魅力づくりを行うべき。
		空きビルを利用して子育て支援（一時預かり）をして欲しいです。臨時技能主事も、定年後も技能主事で働けるようにして下さい。女性が長く働けるように！
		街中、デパートが寂しい状況になっている。
		活気ある中心街になるよう、もっと努力が必要といつも感じています。
		街中再生で中心街対策を進めているが、中心街の人がもっとお互いの意見を聞かなければ、何を作っても無駄だと思います。それよりは田向地区にジャスコを受け入れて、雇用と市外から人を呼び込むことで、市全体に向けられる市外の人目が増え、他地域へ行く人も増え、市全体の活性化に寄与すると思います。
		八戸中心街の一部の道路へ屋根を作る。はっち前の道路を歩行者天国・イベント広場にするべきだと思います。市内のうるおいと安らぎの空間をつくり、イベント広場として活用し、コンサートや朝市等を開催する。
		八戸市は中心市街地に集中しすぎている気がする。中心市街地だけではなく、八戸全体を見て、機能的かつ時代に合った開発が必要ではないか。
		中心街の活性化には疑問。恩恵を受ける中心街商店街の努力不足。まずは街頭の音声広告を中止して欲しい。
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	高齢者・障害者	障がいのある人達が将来に希望を持てるような行政が必要だと思います。例えば雇用さえすればよいというのではなく、健常者同様に働ける環境整備がハード・ソフト共になされていないと思われます。
		寝たきり高齢者を在宅で介護する家族に対する負担の軽減を図る政策（例：税政等）
	子育て	医療費控除を小学校卒業までにして欲しい。
		子育てに関して、市が委託している事業で特にファミサポや児童館（同類のものも含む）の対応やサービスが民間企業より劣る（特に職員の対応）。委託事業所と民間企業が共に良い部分を探り入れる姿勢があると、子育てに心のゆとりができ、安定した精神状態で見守れると思います。
		景気が不安定で、まだまだ“安心して子どもを産み育てる”環境にはなっていないと思う。育休は中小企業では取りづらい。復帰後、子どもの病気などで早退したり、休んだりする事への理解も少ないと思う。子育て世帯への支援だけでなく、企業への支援や理解を呼びかけるなどして、もっと子育てしやすい環境にして欲しい。
		乳児医療費の所得制限を無くして欲しい。共働きは損をする。ローンも有り、収入より支出が多い。
		インフルエンザなどの予防接種を、年齢・所得関係なく、一定額にして欲しいです。子どもを安心して育てることのできる環境をお願いします。
		保育園の料金が高く、夫婦共働きの家庭は、専業主婦の家庭と生活がほとんど変わらず、出産で退職した後、社会復帰しにくい環境です。もっと安くして欲しい。
		少子化対策には積極的に取り組んで欲しいものです。
社会保障	生活保護費の適正な運営。支給まではとても厳しいが、その後は画一的になっている。グループホーム、作業所、冬期加算の見直し？国民年金受給者より生活保護費支給が高いのは、社会でも問題。生保の人が病院代その他負担が軽減され、都合よく仮病したり、本当に必要な人に短期間でも見守り、援助されたい。	

分野	項目	自由意見
健康・福祉・介護・子育て・社会保障	社会保障	生活保護の方や母子家庭の方への不正も耳にします。もっと厳しく取り締まって欲しいです。実際住んでいないのに倉庫を住所に登録したり、アパートを借りていても実家で親と同居していたりする。 働く意識の低い若者と、親の年金を当てに働かない独身 40 代の方、母子家庭で母子手当を計算し、働けるのに所得を抑えている方など多く目にします。個人に手厚くサービスするよりも、企業に優しく、元気になってもらえる政策をお願いします（まじめに働き、納税している者がバカを見る時代のような）
	医療	ドクターヘリの存続が必要である。
	資源リサイクル	ゴミの出し方が細くなり、ゴミの量がだいぶ減った。まだ使える物やリサイクルできる物を無料で預かってくれる場所（コープ、よこまちストア）のリサイクル活動を支援してはどうか（ユートピア作業所）。又、市内の障がい者の人達が運営している所にも支援して欲しい（ラピアで時々行われている）
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	居住環境	家庭の汚水処理等の普及率が低いと思います。 子どもの多い地域に住んでいますが、公園が近くにないため、道路などで遊んでいる子どもをよく見ます。遊具がなくてもよいので、広場があれば安心して遊べると思います。 八戸市は少し郊外に行くとゴミのポイ捨てや不法投棄が多くあります。市民だけではなく、隣接する軽米や階上、南部町、おいらせ町、五戸町などから来る人が捨てるのも多いようです。現にニュータウン近くの林の道路脇に車を止めて、車が走っているのに堂々とゴミを捨てている人を見かけたこともあります。トラブルが怖くて声をかけられませんでした。何とか対策を進めて欲しいと思います。
	景観整備	以前より良くなっているが、街路へのゴミのポイ捨てがあり、市民の美化意識を育てるにはどうしたらいいか。 街の景観も、建物を造ったり動かすのは大変ですが、花を植えるとか、各店舗で少しずつ協力できる事で、歩くだけでも楽しい街にできると思います。
	公共施設	図書館開館延長を願う…八高生談「この図書館は役に立たない」、帰宅時には閉館している。願う「文化向上」 先日、本八戸駅の公衆トイレを使用させて頂きました。便器等はきれいでしたが悪臭がすごくて、子ども達が鼻をつまんで戻ってきました。大人でも少々きつい臭いでした。 公民館の使用料無料化の拡大。地域活性化に寄与する公的団体からは公民館使用料は徴収しないようにして頂きたい。 既存の施設をきちんと整備・補修すれば、重厚かつ歴史を感じられる街になると思います。 公民館の運営の見直しが必要。原点に戻り、社会教育、学んだ力を地域に還元する。コミュニティーの中核になるために何をしていけばいいのか、それを実現できる人材の起用が必要（当たり前の事を当たり前にやる体制では今後の街の発展はないと思う）
交通安全	路線バス利用の際、市民病院経由になるのですが、敷地内はバス優先と表示されているのに、奥の駐車場から来る乗用車が、バスが停留所へ曲がろうと差し掛かって一旦停止もせずバスすれすれに通って行くのを時々見かけます。標識があっても見づらいのではないのでしょうか。駐車場を出るときに救急車・バスが優先であることを各運転手が分かるようにする必要があるのではと思います。	
交通環境	無料パス券の価格をもっと上げて良いのでは（健康で充分活躍して居られる方に限り） 市営バス等を市職員が使う機会をもっと増やすべき。 税金を投入してでも市営バスの料金を下げ、車輛を小型化して便数を増やし、バス停を快適なものにする等により、マイカーを保有しなくても暮らせる街づくりを目指したらどうか。このことで家計にも余裕が生まれることから、社会実験として取り組んでみる価値はあると思います。	

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防 災・防犯・ 居住環 境・交通	交通環境	八戸市中心街の歩道を除き、一般的に狭いのに電柱とかゴミ収集箱がじゃまをして車椅子が通れないのが現状である。尚、冬場は人間が通れない地方が多く見受けられる。
		道路に関して、通学路ではいまだ危険な歩道が数多くあり、良心的なドライバーばかりではないし、工事ができないのであれば、規制や取り締まりも必要と思われる。
		道路の補修による水たまりの排除。細い道路でも車の往来が激しい場所は考慮して欲しい。
		バス運賃の支払いにプリペイドカードの導入を。→南部バスとの併用であれば利便性は高い。
		冬季間のバス停の除雪。乗降の際、不便を感じる。→職員でもメンテナンスは可(部課を超え連携で)
		八戸市役所付近(旧警察署の跡地)にバスの始発到着のバスターミナルを設置してはどうでしょうか。各路線が一カ所より乗車・下車できることで、町中のバス停の除去をし、交通渋滞等の緩和ができる。又、特に高齢者の皆さんは歩行等の困難などにより、バス停を探す事無く安心して市内に行くことができると思われま。
		市バス路線のほとんどが乗車人員が少ない状態で運行されている。学生が乗車する時間帯は別として、特に10~16時頃までは多賀台団地では乗車人数が0~2・3名です。途中状況を見ても、ほとんど空気を運んでいるような状況です。乗車人数の少ないことには料金や運行コース等の問題もあると思いますが、この間は大型バスではなく、中型クラスのものを実行すれば、燃料等の削減等にも効果があると思います。民間会社であれば必ず変更・改善するでしょう。
		85. の設問において、以前より公共交通機関がだいぶコミュニティバス等になり、変化しつつあるも、利便性からは公共とはほど遠いように思えます。まだまだ改善の必要はあると思います。
		以前に比べ八戸の街並みも徐々に整備され、きれいになってきたことを実感していますが、三日町の歩道の滑りやすさ及び傾斜は直せないものかと。冬は怖い思いを何度も体験しているのです。高齢者や障害者にも優しい街づくりを希望します。
		市営バスが多賀台団地までしか通っていませんが、百石の橋の前まででも来てくれれば便利になります。十鉄の本数が少ないですから。
		朝市の時に利用する道路が、以前から通行しにくいと感じていましたが、今も変わらないので、水産都市という割に道路の整備もずーっとしないままなのが恥ずかしいです。
		この1年前からニュータウンから八戸駅行きの日中のバスが1本もなくなっているが、赤字路線だからと一歩引いてしまうと街の基本設計も崩れてゆく引き金になりかねない。また高齢者が非常に多くなっており、ありきたりの対策では済まなくなることも目に見えている。 八戸ニュータウンから八戸駅行きのバスは他の路線変更などに解決の糸口を見いだす方法も検討してみたいものである。 八戸駅からウルスラ学院行きのバスのうち、一時間に1~2本を八戸ニュータウンまで路線の延長を行うなどは一番の解決策。 八戸ニュータウンから根城乗り換えは時間がかかりすぎる。タクシーは1700円、駅まで歩く人は少なくない。
		歩道が必ずしも十分に整備されているとはいえず、ウォーキングの楽しめる街づくりをお願いしたい。
		最寄り鉄道とバスとの連絡を図って欲しい。 名勝へのバス路線の確保を希望する(車でしか行けないというのはどうも)
		中心街の道路工事が冬場に多く、何度も同じ所で行われているようである。もっと他の地区の狭い道路の整備をした方がよいと思う。
市営バスと南部バスの回数券が共通で使えるようになったり、色々な面で協力して乗り継ぎができていたので、前より利用しやすくなった。		
シンフォニープラザ~ラピア~中心街へと行くバスが通って良かった。岬台からピアドゥまでのバスも利用しているが、シンフォニーまで来ると良い。最終が5:30は早い。せめて6:30(夕方)までにして欲しい。		

分野	項目	自由意見
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通	交通環境	朝6時台のバスについて、病院で働くのに3交代で7時からの勤務に丁度よいバスがなく、接続に困ります。せめて大病院に行くバスは働く人側の立場で利用しやすいよう、工夫をお願いします。
		公共性の高いバスを利用して頂くために、ミニバスを細部にわたり走らせたらか。
		時差式信号は矢印信号を設置しないと逆に危険である。
		中央分離帯の植木は視界を妨げ危険である。
		八戸に来られた方々を案内していると、道路の穴、ホコリ、草などに恥ずかしい思いをすることが度々あります。
	防災	冬季に通学路であるにも関わらず除雪が入らない事も多いので、冬季の除雪に関して対応できるマニュアルづくりと業者への徹底、又はポランティアの設置を市を挙げて行って頂けたらと思います。
		逆に本市が全国的に子育て者や高齢者が安心して暮らし、災害に強い街と胸を張れる都市かどうか疑問である。人口減少の原因はどこにあるのでしょうか？住み良い、住んで良かった街と言えるのかどうか？
		75. の設問において、特に行政側の対応、例えばホツとするメール等がほとんど機能していなかったり、またそれにかかる経費とのバランスにも問題がありすぎると同時に、防災時に対する危機意識が低すぎるように思います。
	防犯	巡回宣伝カーはとても良いが、時間帯が大切。
		安心・安全な街づくりに尽力して欲しい。
柏崎地区の地域密着型教育は成功している例ではないでしょうか。この例を参考にして、他地域も活発に活動すれば、子どもの見守り、地域の防犯などの役に立つのではないかと思います。		
行政	まちづくり	都市計画が全体的にいびつで、特に道路と公共交通整備には更なるアセスメントと実証実験を行うべきと考えます。
		市内の周辺部といわれる地域にも関心を持って街づくりを行って欲しい。
		行政としてセーフティネットの役割は果たすべきであるが、競争力のないものに税金をつぎ込む（施策）余裕（徐々に無くなるのではないか）は無い。住み良い街づくり＝将来の発展に通ずるものと思います。
		市街化区域あるいは市街化調整区域にかかわらず、住宅の連なっている区域であれば、道路・水道・下水道・街灯等については整備をするべきである。特に言いたいのは市街地であるのに、山村地域よりも整備が遅れているような気がするし、もっと街の全体的な見方をして欲しい。
		八戸市も徐々に人口減少化・高齢化に移行すると思います。人口が減少し、高齢者が増加すると街全体の活力低下が予想されます。今後のまちづくりの基本は、第一に人口減少対策が重要だと考えます。人口の自然増加（出生率向上）や社会的増加は、現在の青森県全体の経済情勢を見ると、ほとんど期待できないのでは。県南地区（三八地区）の各町村との合併を積極的に推進した方が良いと思います。人口が増えれば八戸市は更に活性化が図られるでしょう。又、人口の定住化対策として、八戸地域の経済活性化は優先課題です。八戸地域の基幹産業の振興、県外からの有望企業の誘致促進も必要です。雇用環境の改善・向上にも寄与すると思います。産業の振興・発展と経済活性化は密接不可分、相即不離の関係にあると考えています。人口が増加すると、快適な都市生活が要求され、公共的施設の整備も要求されるので、活性化促進効果のある八戸市の街づくりになると思います。
		八戸市の大きな都市開発の一つであった八戸ニュータウンに県外から移り住んで驚いたのは、開発の仕方。八戸市と国の機関が開発した地域にもかわらず、農地の開発域から抜け出すことができない状況にある。地権者の多い開発結果になっているから、土地の販売が進まない。さらに建築基準があまりにも厳しすぎるので、高い建物が建築できないし、アパートだらけなど、様々な課題が目立つ。このような都市整備の在り方で良いのか考えさせられる。もう一度問題点を洗い出して、あるべき街づくりを進めてもらいたい。
		無駄が多い。

分野	項目	自由意見
行政	まちづくり	「津軽県」である青森県を廃県として、八戸・盛岡ツイン県庁の「新県」を立ち上げ、地域主権先進モデル都市を建設しよう（ドクターヘリ、屋内スケート場、特定重要港湾など、実現していこう）
		八戸高速道無料化を機に、南郷区まちづくりを一層推進すべきである。
		市発注の工事において、低入札の物件（実質的にダンピング容認の形になっている）ばかりで、元請け業者は下請け業者に不当な価格で工事を発注し、利益を確保している。失格基準を多少引き上げても、下請け業者にとってはあまり意味がない。低入札ヒアリングの資料と並べ、見積書の金額を見たら疑問を感じるかと思いますが、そのまま発注確定とする市の判断はダンピングを容認している結果になっているとすると、その責任は非常に重いと考えます。下請け業者の声無き声を採り入れる仕組み・機会が必要ではないでしょうか？
		都市間競争が論じられる中、八戸市は都市としてのレベルが低く、厳しい状況にあります。今後の都市の在り方、将来のあるべき姿を考え、計画的に実現するハードも必要である。人口減少や雇用の場や地域の活性化には課題が多い。市民所得の向上や豊かさ、心の在り方にも問題点がある。心して行政を遂行されるよう望みます。
		1. 八戸は、豊かな海洋資源、バランスのとれている産業構造、陸海空の高速交通体系、周辺の豊かな自然、産学官のレベルも高い等々、すばらしい経営資源を有する。 2. 急成長する大中華圏と北米を結ぶ膨大な海運物流が津軽海峡を通過している。国際港湾を持つ八戸は世界経済の大戦略拠点に成りうる。 以上の潜在力を顕在化させる発想転換が必要。
		行政・市長が頑張っても、国の状況などにより大変な環境になっていることは、十分に市民が理解している。
		八戸の行政にも仕分けが必要な時期？
		3. ボランティアや市民活動については、真の自治の追求がない
		14. 日常生活のなかでの学びについては、コミュニティカレッジの発想が欠落
		26. 八戸産の農林水産物のブランド化については、民間は頑張っている
		48. 学校や地域での福祉ボランティアへの市民参加については、システムが欠落
		72. 安全・安心への意識の高まりについては、官の姿勢がプア
		81. 地域特性に応じた市街地の形成については、中心街が住不適のまま放置
		是非、推進計画に掲げている事業や施策を効率よく実行して下さい。
住民参加		市民の声がどの程度聞かれているのか疑問に思う。 有識者からのご意見・ご指導はありがたい事ではあるが、長年八戸に住み、これからも住もう、又、暮らして行かなければならない人の意見が一番ではないでしょうか。
		市職員・議員・一部の学識者の意見で決定されるものではなく、市民の意見・考えを重視すべき。
		子ども達の将来の為に、今我々大人が何をすべきかを、知恵を集め、特定の方々のみではなく、しっかりとした意見を持った市民を見極め、議論する場を急ぎ作って欲しい。 市民の「言っても無理、これ以上良くなれないだろう」との声が多く聞かれるのは大変残念に思う。このアンケートも大切な声を受けて下さいますよう望みます。
		警察と市民との対話がなく、考え方に大きな隔たりがある。
		一般市民との交流、意見を聞く機会を多く設ける事が必要だと思います。
地域間交流の推進		もっと他との交流も必要だと思います（人との関わりが苦手？な地域性？が大きく影響しているのでしょうか？）
		地域のコミュニケーションを活発にとれるようにできる仕組みづくりが必要だと思う。

分野	項目	自由意見
その他	その他意見・要望等	<p>小生の歌一首を進呈します。 八戸を文化の街と発信す。同士よ集え立つ時今は！</p>
		<p>国が直轄し、又、市に委任している案件（社会保険など）は、今でこそ貧困への臨時対策で何とかなっていますが、近い将来に不安があります。</p>
		<p>若者達の就職難など、経済的に厳しい部分は多くありますが、以前と比較して街に活気が出ているように感じられます。地域毎、世代毎の交流を活発にしながら、少しずつでも明るい安全な住みたくなる街へと変化させて行きたいと思えます。</p>
		<p>八戸公園が年々整備され、訪ねる度にすばらしい公園になったことに一市民として誇りさえ覚えます。バラが大好きな私は毎年時期が来るのを楽しみにしています。他の植物も好きなのですが、何の木か名称が分からないものもあり、名称札の設置を。春・夏・秋と、年に何度も訪ねる八戸で一番好きな場所なのです。</p>
		<p>水道水をおいしいものにして欲しい（例えば名久井岳、階上岳の水とか）</p>
		<p>八戸に転入してきたときの第一印象はあまりの不便さから「なぜ？どうして？まだこのレベル？」と、たいへん否定的な感じが多かったです。今でもその感がゼロになることはありません。 もっと八戸を知りたいと思えますし、地域に参加し、何か小さくてもお役に立ちたいと思っています。講習会、イベントに進んで参加し、学習したいと思います。否定的なアンケートの答えではありますが、ここからスタートと思えます。</p>
		<p>八戸の発展の為、市民の先頭に立ってますますのご尽力を心から期待します。</p>
		<p>LNG ガス基地が建設されることは近年稀に見る快挙で、その一点を以て行政並びに首長に敬意を表したい。縮小社会の中で政策課題は尽きないが、このような大きな出来事があると、産業・雇用面に限らず、人口問題、都市PR及び都市間競争等、幅広い分野で副次効果が期待される。 今後も着実に各分野の政策課題に取り組みつつも、一点突破集中型の事業や重点をしばった都市政策の展開を願う。</p>
		<p>八戸はポテンシャルの高い、国内地方都市のモデルになれる資質を持つ都市だと思います。期待を込めて辛目の評価になりましたが、八戸の活性化・魅力づくりに、市民として非力ながら尽力したいと存じます。</p>
		<p>ブレずに継続してください。</p>
		<p>青森県の市町村の中では、八戸市はどの分野においても群を抜いて発展していると思う。今後の課題は次の世代を担う人材の起用だと思う。</p>
		<p>経済の向上が望めない時代、心の豊かさや潤いを追求する政策が大事だと思う（例：心の教育、公園の整備等）</p>
		<p>基本を見直して頑張ってください。</p>
<p>またアンケートの時期が巡ってきたのかと感じています。徐々に改善されてきている事項も多いのですが、改めてアンケートを眺めると実感しにくい部分が多いように思われます。</p>		
アンケート		<p>今回のアンケートで、正直「あ、こんな事してたんだ」と思うものがいくつもありました。 広報はちのへや、市のホームページを見ているので、ある程度市の情報は把握している方だと思っていたのですが。</p>
		<p>今回の設問は、総じて良い評価ポイントを出すことができなかった。 腰を据えて「こうなっていると良い」状態に少しでも近づけるよう、出来ない要因と実現への対策を市民一人ひとりも考えて行かなくてはならないと思った。</p>
		<p>設問の意味が判りづらい点があった。又、手元に「第5次八戸市総合計画」の資料がないため、“わからない6”を選ばざるをえなかった。</p>

分野	項目	自由意見
その他	アンケート	<p>アンケートについて、こういった選択する形式のアンケートは回答しやすい反面、漫然としていて回答に困るところもあります。市政モニターにどの程度つっこんだ意見を求めているのか分かりませんが、各設問項目（「住民自治の推進」「健康、福祉、子育て…」などの）に当てはまる対象者を選んで答えてもらえば、具体的な意見も出やすいのではないのでしょうか。</p> <p>私自身で言えば、子育て中で求職中でもあり、障害児を抱えていると、「ここだったらもっと意見が言いたい！」という項目があります。</p> <p>今回のアンケート回答がどれほどの参考になるのかちょっと疑問です。意見を求めるアンケートではないのかも知れませんが。</p> <p>質問の内容があまり適正ではないような。</p> <p>今回の設問にあった内容や実態については、ほとんどの市民が知らないこと（知り得る情報があるか）が多く、回答に難渋した。</p> <p>このアンケートに現状の活動等の資料があれば、一方的な回答とはならないのではないかと。私も勉強不足ではあるが、市の運営活動について広報のみの理解にとどまっている。</p> <p>もっとはっきりとした設問の方が答えやすいと思う。</p> <p>例：JR八戸線の本数は充分か？、市営バスの本数は充分か？、体育館の数は？、屋内スケートリンクは必要か？、学校給食のメニューと料金は適当か？、市役所窓口の対応は良いか？、税金は高いか安い？、ゴミの減量化のアイデアは？、子ども国の遊具は充分か？</p>

参考. 調査票

第5次八戸市総合計画有識者アンケート調査 ご協力をお願い

皆さまには、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。

また、前回、平成21年4月に有識者アンケート調査をお願いした際も、ご協力をいただきありがとうございました。

本市では、「第5次八戸市総合計画」（基本構想・前期推進計画）を平成19年度からスタートし、これに基づき総合的かつ計画的な市政運営を行っています。

前期推進計画の計画期間は、平成23年までとなっていますが、昨今の景気低迷による企業業績や雇用の悪化をはじめとする本市を取り巻く社会経済情勢等の変化に適切に対応するため、後期推進計画を1年前倒しして策定することといたしました。

策定にあたっては、社会情勢の変化や前期推進計画の進捗状況を整理するとともに、市民の皆様のご意見をお伺いしながら策定することとしています。

このたび、前期推進計画に登載した施策や事業について、これまでの取り組みによる成果がどの程度現れているかを把握するための、4度目の有識者アンケート調査を実施し、後期推進計画を策定するうえでの基礎資料として活用したいと考えています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

ご回答の内容は、調査目的以外に使用することはありません。統計的に処理し、個々の内容が公表されることは一切ありません。

平成22年5月 八戸市長 小林 眞

ご記入にあたってのお願い

- 宛名のご本人がお答えください。
- 質問ごとに、回答欄にあてはまる番号をご記入ください。
- このアンケート調査は、6月2日（水）までに同封の返信用封筒で返送（切手不要）してください。
- 調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

八戸市総合政策部政策推進課（佐々木・谷崎）

〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1

（電話）43-9233 （FAX）47-1485

E-mail: seisaku@city.hachinohe.aomori.jp

あなたは、それぞれの設問項目について、現状をどのように評価しますか。それぞれの設問項目についての現状評価として、あてはまる番号を一つ選んで○を付けてください。

設問項目	現状評価 (1～6の一つに○)					
	十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態						
住民自治の推進						
1 市民、事業者および行政が協力し合いながらまちづくりを進めている。	1	2	3	4	5	6
2 防犯・防災活動や環境美化などの地域が自主的に行う地域コミュニティ活動が活発に行われている。	1	2	3	4	5	6
3 ボランティアや市民活動団体（NPO）がまちづくりの担い手として活躍している。	1	2	3	4	5	6
自治体経営の強化						
4 組織の見直しや適正な定員管理が行われ、効率的な行財政運営が行われている。	1	2	3	4	5	6
5 市民が幅広く行政に参画し、市民の声が活かされた行政サービスが提供されている。	1	2	3	4	5	6
6 事務事業の見直しにより、行政サービスの向上と行政コストの削減が図られている。	1	2	3	4	5	6
7 都市圏の中心都市としての中枢機能が高まるとともに、周辺市町村との連携が強化されている。	1	2	3	4	5	6
8 ゆかりの都市間・地域間の交流が図られている。	1	2	3	4	5	6
教育・文化・スポーツ・国際化・男女共同参画						
9 子どもたちの体験学習が活発に行われている。	1	2	3	4	5	6
10 自由に学ぶことができる多様な学習機会が提供されている。	1	2	3	4	5	6
11 幼稚園・保育所（園）・児童館・小学校・家庭・地域の連携により就学前の教育環境が充実している。	1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
12 義務教育課程において基礎・基本を身に付けるとともに、豊かな心と健やかな体の育成が行われている。		1	2	3	4	5	6
13 経済的な理由に妨げられることなく、高校・大学等の平等な就学機会を確保できている。		1	2	3	4	5	6
14 日常生活のなかで広く学びの場を持つことができている。		1	2	3	4	5	6
15 学校・家庭・地域が連携し、青少年の健全育成に取り組んでいる。		1	2	3	4	5	6
16 芸術・文化の鑑賞機会や活動機会など、芸術・文化に親しむ機会が充実している。		1	2	3	4	5	6
17 個性豊かな伝統文化を後世に伝えるための後継者が育っている。		1	2	3	4	5	6
18 市民が気軽にスポーツに親しむ環境が整っている。		1	2	3	4	5	6
19 外国の文化・歴史・言語等の学習を通じて、児童・生徒が国際社会に対する理解を深めている。		1	2	3	4	5	6
20 在住外国人にとって、暮らしやすい環境が整っている。		1	2	3	4	5	6
21 男女が性別による差別的扱いを受けることなく、個人として能力を発揮できる職場環境が形成されている。		1	2	3	4	5	6
22 男女平等意識の醸成により、男女それぞれの人権が尊重され、自分らしく生きることができる社会が形成されている。		1	2	3	4	5	6
産業・雇用							
23 産業間の連携により新たな産業が創出され、地域経済の活力が高まっている。		1	2	3	4	5	6
24 高度な技術をもった競争力のある企業の立地が進んでいる。		1	2	3	4	5	6
25 新事業・新分野に挑戦するなど意欲的な中小企業が増えている。		1	2	3	4	5	6
26 八戸産の農林水産物を活かしたブランド商品が増えている。		1	2	3	4	5	6

設問項目 八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態	現状評価 (1～6の一つに○)					
	十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
27 農林業の後継者の育成が行われ、担い手が充実してきている。	1	2	3	4	5	6
28 有機農法や減化学農薬、減化学肥料等が広まり、安心・安全な農産物が提供されている。	1	2	3	4	5	6
29 優良農地の保全や、園芸作物の施設整備、適切な森林整備などにより、農林業経営の生産性・効率性が高まっている。	1	2	3	4	5	6
30 漁業経営の改善が進むとともに、後継者となる担い手が育っている。	1	2	3	4	5	6
31 魚市場での衛生設備が充実し、市民に安全・安心な食材が提供されている。	1	2	3	4	5	6
32 人工的な岩場の造成や余分な海底土砂の除去などにより漁場の整備が図られている。	1	2	3	4	5	6
33 誘致企業が増え、雇用の増加が図られている。	1	2	3	4	5	6
34 大学や行政等との連携や支援により、新たな事業（ビジネス）や産業をおこしやすくなっている。	1	2	3	4	5	6
35 中心街において快適な商業空間が整備されている。	1	2	3	4	5	6
36 流通業務の共同化や効率化が図られ、地域の生産・消費を支えている。	1	2	3	4	5	6
37 八戸港の知名度の向上により、八戸港の利用が活発化し、物流における拠点性が高まっている。	1	2	3	4	5	6
38 八戸港の岸壁や防波堤などの港湾施設が充実し、海外との経済交流が活発になっている。	1	2	3	4	5	6
39 PR活動の展開により、八戸市の観光資源の知名度が高まり、首都圏などから八戸市を訪れる人が増えている。	1	2	3	4	5	6
40 市民のボランティアによる観光ガイド活動が盛んになっている。	1	2	3	4	5	6
41 新たな観光資源の発掘により、八戸ならではの観光資源が充実している。	1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
42 新規高卒者を含む若年者の就労の場が増えている。		1	2	3	4	5	6
43 給与や労働時間といった勤労者の働く環境が改善してきている。		1	2	3	4	5	6
健康・福祉・介護・子育て・社会保障							
44 市民の健康づくりに対する意識が高まり、健康教室などの健康づくり活動に積極的に参加している。		1	2	3	4	5	6
45 生活習慣病等の予防や早期発見、早期治療の体制が充実し、健康の保持・増進が図られている。		1	2	3	4	5	6
46 必要なときに必要な医療を受けられている。		1	2	3	4	5	6
47 日頃から家庭や地域において、助け合いや支え合いによる暮らしが根付いている。		1	2	3	4	5	6
48 学校や地域での福祉ボランティアに参加する市民が増えている。		1	2	3	4	5	6
49 福祉サービスの利用に関する支援や虐待の防止など、人権の尊重や権利擁護に対する体制が充実している。		1	2	3	4	5	6
50 保健・医療・福祉等の連携により、地域住民一人ひとりのケースに応じたきめ細かなサービスが提供されている。		1	2	3	4	5	6
51 高齢者およびその家族が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる。		1	2	3	4	5	6
52 高齢者が求める介護サービスが提供されるとともに、介護にあたる家族に対する支援も充実している。		1	2	3	4	5	6
53 高齢者自身が自らの経験と知識を活かし、積極的に社会参加している。		1	2	3	4	5	6
54 障がい者が必要とする障がい福祉サービスが適正・適切に提供されている。		1	2	3	4	5	6
55 障がい者の就労訓練や就労の場が充実している。		1	2	3	4	5	6
56 障がい者を受け入れる環境が整い、障がい者が地域活動等へ積極的に参加している。		1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
57 子どもを産みたい人が経済的な負担を感じることなく、安心して産み育てることができる。		1	2	3	4	5	6
58 子育て支援サービスが充実しているとともに、地域において子どもたちを見守り、子育てを助け合う環境が充実してきている。		1	2	3	4	5	6
59 労働環境の改善が進み、男女とも働きながら子育てをすることができている。		1	2	3	4	5	6
60 国民健康保険制度が安定的に運営され、保険加入者の健康維持・増進や医療費の適正化が図られている。		1	2	3	4	5	6
61 適正な保険給付により、介護保険制度が堅実に運営されている。		1	2	3	4	5	6
62 年金制度に対する市民の理解と認識により、高齢者などが経済的に安定した生活を送っている。		1	2	3	4	5	6
63 低所得者に対する適正・適切な生活支援が行われ、自立する世帯が増えてきている。		1	2	3	4	5	6
環境・リサイクル・エネルギー							
64 学校や地域における環境教育が充実し、市民の環境意識が高まっている。		1	2	3	4	5	6
65 豊かな自然環境が保全され、身近に自然とふれあうことができる。		1	2	3	4	5	6
66 大気、水質、土壌等が良好な状態に保たれている。		1	2	3	4	5	6
67 ごみの減量化や再使用・再生利用等により、ごみの排出量が減少している。		1	2	3	4	5	6
68 ごみの不法投棄の防止対策が強化されている。		1	2	3	4	5	6
69 環境・リサイクル関連産業が立地し、八戸市の主要な産業の一つとなっている。		1	2	3	4	5	6
70 省エネルギー対策に取り組む企業や市民が増えている。		1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
71 家庭や事業所等において、太陽光発電等の新エネルギーの導入が進んでいる。		1	2	3	4	5	6
コミュニティ・防災・防犯・居住環境・交通							
72 家庭や地域において、みずからの地域はみずからが守るという安全・安心に関する意識が高まっている。		1	2	3	4	5	6
73 防犯・防災のために、地域で見守り助け合うコミュニティが形成されている。		1	2	3	4	5	6
74 災害の危険箇所や建築物等の防災対策が進み、災害に強いまちになっている。		1	2	3	4	5	6
75 防災訓練を通じて、関係機関が災害時に迅速かつ的確に対処できる体制ができている。		1	2	3	4	5	6
76 市民から信頼される消防・救急体制が整備されている。		1	2	3	4	5	6
77 道路や河川、電気、ガス、上下水道、通信などのライフラインの復旧が円滑に実施できる体制が整っている。		1	2	3	4	5	6
78 警察などの関係機関と地域団体との連携が強化され、「犯罪が起りにくい」「犯罪を起こしにくい」地域になっている。		1	2	3	4	5	6
79 安心して歩行でき、自動車も安全で円滑に走行できる。		1	2	3	4	5	6
80 消費生活において市民の意識が高まり、適切な選択・判断ができている。		1	2	3	4	5	6
81 地域の特性※に応じた快適でうるおいのある市街地が形成されている。 ※地域の特性とは、例えば「低層の戸建住宅地である」、「住宅以外の商業などが複合する地区である」、「田園や自然に恵まれた地区である」などを指しています。		1	2	3	4	5	6
82 道路や下水道などの都市基盤が計画的に整備され、市民が安全で快適な生活を送ることができるまちになっている。		1	2	3	4	5	6
83 身近に緑にふれることができる都市環境が形成されている。		1	2	3	4	5	6
84 身近に親しむことができる水辺空間が形成されている。		1	2	3	4	5	6

設問項目	現状評価	現状評価 (1～6の一つに○)					
		十分満たされている	まあまあ満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない
八戸市が「こうなっていると良い」と思われる状態							
85 バスと鉄道の円滑な接続や、利用者のニーズに即した運行などにより、公共交通を利用しやすくなっている。		1	2	3	4	5	6
86 高速道路やフェリー、空港などの交通基盤が整っており、広域的な移動が便利になっている。		1	2	3	4	5	6

<自由記入欄>

今後の八戸市のまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の自由記入欄にご自由にご記入ください。

アンケートにご協力くださりまして、誠にありがとうございました。

市民意見の概要

第5次八戸市総合計画後期推進計画

八 戸 市

平成 22 年 8 月 27 日

目次

報告1 アンケート調査の結果について	1
1. 市民アンケート	1
2. 有識者アンケート	5
報告2 市民との意見交換の実施結果について	8
1. 意見交換の実施状況	8
2. 主な意見内容	9
①大学生グループインタビュー（八戸大学）	9
②大学生グループインタビュー（八戸工業高等専門学校）	10
③大学生グループインタビュー（八戸工業大学）	11
④女性団体等グループインタビュー	12
⑤NPOグループインタビュー	14
⑥市民ワークショップ	15
【テーマ①：地域活力の創出】	15
【テーマ②：まちの魅力創造】	15
【テーマ③：地域の安心確立】	16
【テーマ④：自治基盤の整備】	16
⑦～⑩意見交換会（4回開催分）	18
1. 地域活力の創出	18
2. まちの魅力創造	19
3. 地域の安心確立	20
4. 自治基盤の整備	21
その他意見	21

報告1 アンケート調査の結果について

1. 市民アンケート

<調査の概要>

(1) 目的

- ・戦略プロジェクトに関する市民の行動・意識の把握
- ・前期推進計画期間における経年変化と現在の状況について分析

(2) 調査項目

1) 地域活力の創出関連

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ①地域産業の高度化について | ②農産物の地産地消の普及について |
| ③水産業の活力の維持・回復について | ④八戸市の魅力を全国に発信する取組みについて |
| ⑤市民参画による観光振興について | ⑥産学官民の連携促進について |
| ⑦雇用を取り巻く状況について | |

2) まちの魅力創造関連

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| ①中心街の再生について | ②市民の自主的な文化活動、スポーツ活動の促進について |
| ③市民の環境意識の高揚について | ④公共交通の活性化について |

3) 地域の安心確立関連

- | | |
|--------------------------------|------------|
| ①地域における世代間交流の推進について | ②子育て環境について |
| ③高齢者・障害者の生活環境について | |
| ④健康な生活や暮らしの安全を確保するための体制づくりについて | |

4) 地域の安心確立関連>

- | |
|-------------------------------|
| ①市民と行政による協働の仕組みの構築について |
| ②市民福祉の向上や効率的な行政運営のための各種改革について |
| ③窓口サービスの向上や、市民への情報提供の充実について |
| ④定住自立圏構想について |
| ⑤三圏域連携について |

(3) 調査対象

- ・八戸市在住の満 18 歳以上の市民 1,000 人 (有効回収数 : 607 票、有効回収率 : 60.7%)。

(4) 調査時期

- ・平成 22 年 5 月 19 日～6 月 2 日 (2 週間)

(5) 調査方法

- ・郵送配布、郵送回収 (お礼状・督促状を 1 回配布)

<結果の概要> 表中：前回と比較して5%以上変化があった項目に編掛け

- ・八戸地域で生産された農産物に対する評価が上がっており、地場産品を購入頻度も増えている。
- ・水産物に対する評価があっており、ブランド性に対する認識も高まっている。
- ・雇用状況に対する認識は前回よりも厳しくなっている。
- ・環境保全行動の実践状況は、積極的に行動するとの回答割合が増えている。
- ・地域活動が活発であるとの回答割合が増えている。
- ・市の行財政運営の情報公開・提供が積極的になされていると感じる回答割合が増えている。
- ・市のホームページを閲覧するとの回答割合が増えている。

		設問内容	前回アンケート (平成 18)	今回アンケート (平成 22)
地域 活 力 の 創 出	企業誘致推進 ・ 中小企業強化 P J	地域産業の高度化のために 必要な取組（上位 3 位）	（設問なし）	1. 人材の育成・確保：66% 2. 地域企業の連携：39% 3. 地域企業と大学等の連携：38%
		地域産業の高度化の取り組みにつ いての評価（「うまく進んでいる」、 「まあまあ進んでいる」）	（設問なし）	25%
	攻めの農業 P J	八戸地域で生産された農産 物に対する評価（上位 3 位）	1. 新鮮：57% 2. 安全：29% 3. 安い：28%	1. 新鮮：68% 2. 安全：46% 3. 安い：29%
		地場産品の購入頻度（「よく 購入」と「ときどき購入」）	55%	61%
		地場産品購入後の評価（「よ かった」）	83%	86%
	攻めの水産業 P J	水産物に対する評価（上位 3 位）	1. 新鮮：68% 2. 高い：25% 3. 安い：23%	1. 新鮮：73% 2. 安全：41% 3. 安い：26%
		水産物のブランド性への認 識（「ブランド産品がある」 と「徐々に知名度上昇」）	39%	60%
	八戸ツーリズム P J	当市の全国的な知名度（「高 まっている」と「まあまあ 高まっている」）	（設問なし）	62%
		ボランティアガイドへの参加 経験（「経験あり」）	1%	1%
		ボランティアガイドへの参加 意向（「参加してみたい」と「た まに参加してもよい」）	25%	27%
産学官民連携 P J	大学等の地域経済振興やま ちづくり貢献に対する認知 度（「よく知っている」と「聞 いたことはある」）	56%	59%	
雇用創出 P J	当市の雇用状況（「厳しい」）	77%	89%	

		設問内容	前回アンケート (平成 18)	今回アンケート (平成 22)
ま ち の 魅 力 創 造	中心市街地再生 P J	中心街の魅力に対する評価 (「魅力がある」と「どちらか 言えば魅力がある」)	9%	10%
		中心街へ出かけていく頻度 (「ほぼ毎日」、「週に 1～2 回」、「月に 1～2 回」)	1. 買物 : 31% 2. レジャー : 12% 3. 通院 : 11% 4. 仕事 : 9% 5. 通学 : 1%	1. 買物 : 30% 2. レジャー : 11% 3. 通院 : 12% 4. 仕事 : 8% 5. 通学 : 0%
	文化・スポーツ P J	文化活動・スポーツ活動の 取組み状況 (「ほぼ毎日」と 「週に 1～2 回程度」、「月 に 1～2 回程度」)	1. 文化活動 : 9% 2. スポーツ活動 : 18%	1. 文化活動 : 10% 2. スポーツ活動 : 20%
	環境創造 P J	環境保全行動の実践状況 (「積 極的に意識して実践」)	24%	31%
		バス路線の維持・活性化に 対する行政の関与 (「積極的 に支援」と「ある程度の支 援は止むを得ない」)	(設問なし)	84%
		バス路線の活性化に必要な 取組み (上位 3 位)	(設問なし)	1. バス系統をわかりやすく : 36% 2. バス停の快適化 : 34% 3. 運行本数増加 : 29% 3. 時刻表わかりやすく : 29% 3. 鉄道とバスの乗継改善 : 29%
地 域 の 安 心 確 立	次世代育成 P J	近所の子どもと接する機会 (「よくある」と「たまにある」)	46%	51%
		子どもたちと大人・高齢者世 代と一緒にやって行う活動 (「よ くある」と「たまにある」)	41%	38%
		当市は子育てしやすいまち と思うか (「そう思う」と「ど ちらかといえばそう思う」)	(設問なし)	41%
		子育てしやすいまちにする ために大切なこと (上位 3 位)	(設問なし)	1. 子どもの居場所づくり : 63% 2. 多様な保育の充実 : 47% 3. 経済的支援の充実 : 35%
	高齢者・障害者自立 P J	地域の福祉ボランティア活 動 (活発である」と「どち らかと言えば活発である」)	11%	13%
		緊急時における障害者やひと り暮らしの高齢者の支援体制 (「地域の中で支援を受けられ るようになっている」)	10%	10%
	暮らしの安心 P J	地域の健康づくり活動の状 況 (「活発である」と「どち らかと言えば活発である」)	25%	29%
		地域の安全・安心活動の状 況 (「活発である」と「どち らかと言えば活発である」)	32%	32%

		設問内容	前回アンケート (平成 18)	今回アンケート (平成 22)
自治 基盤 の 整備	協働のまちづくり PJ	地域活動・市民活動の状況 (「活発である」と「どちら かと言えば活発である」)	1. 地域活動：32% 2. 市民活動：10%	1. 地域活動：39% 2. 市民活動：14%
	行財政改革PJ	市の行財政運営に関し、積極的 な情報公開・提供がなされてい るか(「そう思う」と「どちら かと言えばそう思う」)	23%	28%
	市民サービス向上 PJ	市役所の窓口での職員の対応や姿勢に 対する評価(「満足している」と「どち らかと言えば満足している」)	52%	56%
	市民サービス向上 PJ	市役所の窓口で充実してほ しいサービスを(上位3位)	(設問なし)	1. 土日祝日サービス：54% 2. 書類・手続きの簡素化：53% 3. 出張所等でのサービス拡大：35%
		市のホームページの閲覧頻 度(「定期的に見ている」、 「必要なときに見ている」)	11%	16%
		市のホームページに対する 評価(「非常に役に立った」 と「ある程度役に立った」)	73%	77%
	広域連携・自立の促進 PJ	定住自立圏構想に対する認 知度(「よく知っている」と 「聞いたことはある」)	(設問なし)	37%
		定住自立圏構想に期待する 分野(上位3位)	(設問なし)	1. 医療：49% 2. 福祉サービス：35% 3. 地産地消：25% 3. 人材育成：25%
		三圏域連携に対する認知度 (「よく知っている」と「聞 いたことはある」)	(設問なし)	44%
		三圏域連携に期待する分野 (上位3位)	(設問なし)	1. 医療：64% 2. 観光活性化：49% 3. 農林漁業活性化：44%

2. 有識者アンケート

<調査の概要>

(1) 目的

- ・自治基盤整備計画、分野別計画の「目指す姿」に対する住民満足度の把握
- ・前期推進計画期間における定点分析

(2) 調査項目

- ・前期推進計画における自治基盤整備計画及び分野別計画の「目指す姿」に関して、現在の状況を6段階で評価する設問を設定

※6段階：①十分満たされている

②まあまあ満たされている

③どちらともいえない

④あまり満たされていない

⑤ほとんど満たされていない

⑥わからない

(3) 調査対象

- ・第5次八戸市総合計画の策定に携わった、八戸市総合計画審議会委員、同専門部会委員、及び戦略プロジェクト委員会委員の計138名に、市政モニター100名を加えた有識者238名
(有効回収数：194票、有効回収率：81.5%)

(4) 調査時期

- ・平成22年5月19日～6月2日(2週間)

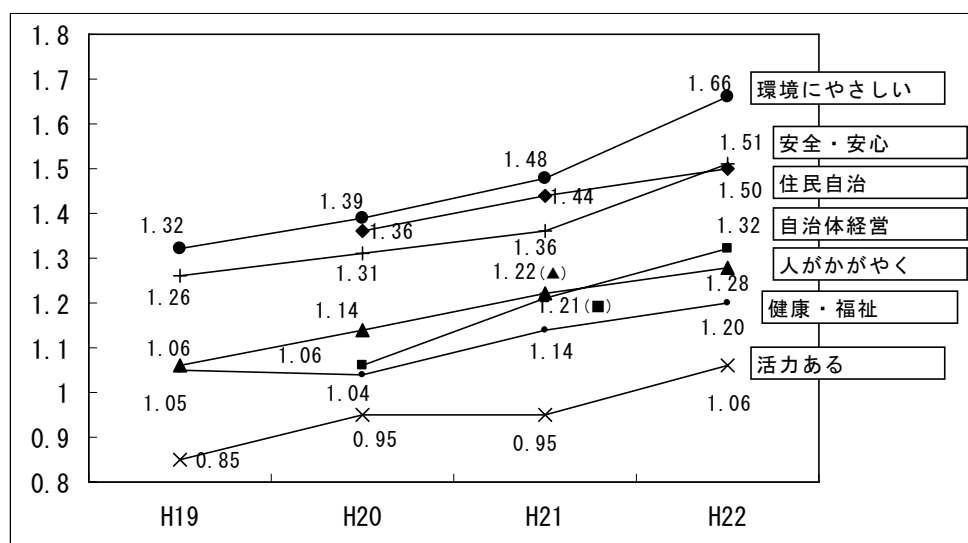
(5) 調査方法

- ・郵送配布、郵送回収(お礼状・督促状を1回配布)

<結果の概要>

(1) 政策レベルの満足度得点の推移

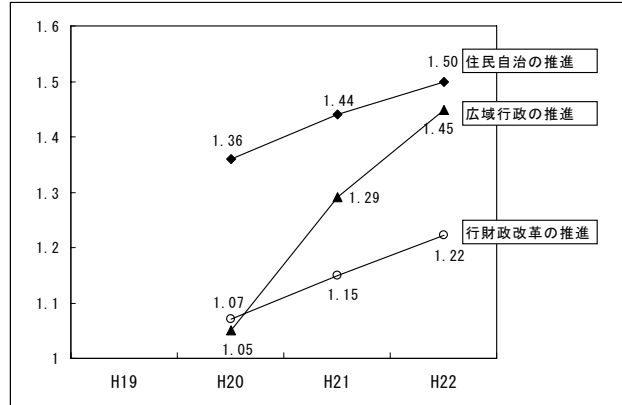
- ・「環境にやさしいまちづくり」の得点が、前回に引き続き最も高い。
- ・一方、景気の低迷を背景として「活力あるまちづくり」の得点が最も低い。



(2) 大施策レベルの満足度得点の推移

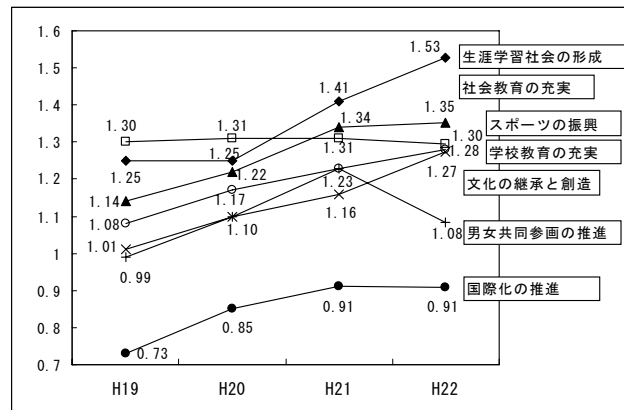
1) 住民自治の推進・自治体経営の強化

- ・「住民自治の推進」の得点が最も高い。
- ・また、「広域行政の推進」の得点の伸びが顕著であり、定住自立圏や三圏域連携の取組が評価されていると考えられる。



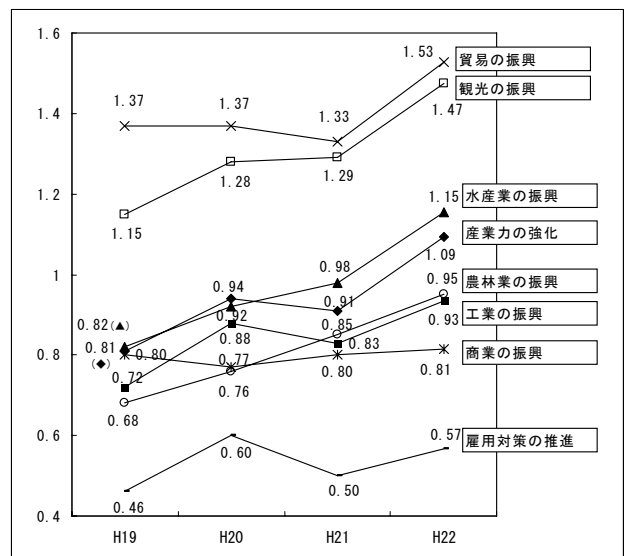
2) 人がかがやくまちづくり

- ・「生涯学習社会の形成」の得点が最も高く、伸びも顕著である。
- ・一方、「男女共同参画社会の推進」は前回と比べて下落した。



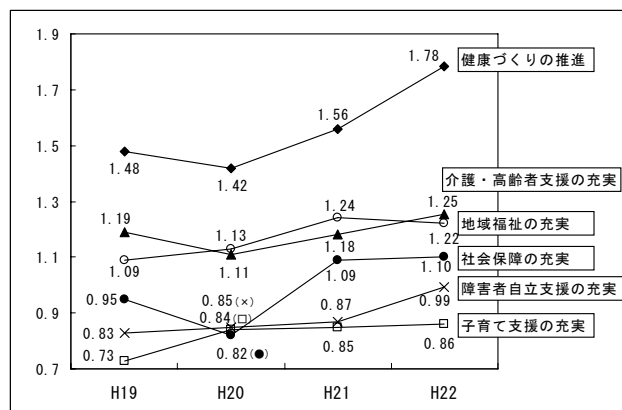
3) 活力あるまちづくり

- ・「貿易の振興」及び「観光の振興」の得点が高く、前回と比較して伸びも顕著である。
- ・一方、景気の低迷等を背景に「雇用対策の推進」の得点が最も低い。



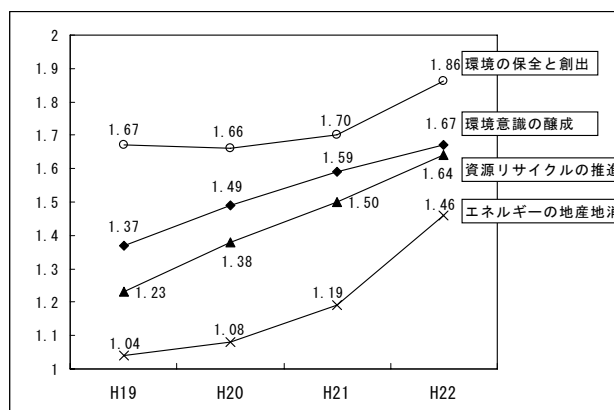
4) 健康・福祉のまちづくり

- ・「健康づくりの推進」の得点が最も高く、伸びも顕著である。
- ・一方、「子育て支援の充実」の得点が最も低い。



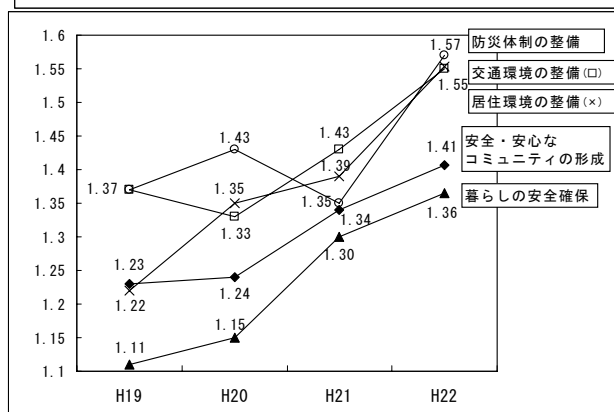
5) 環境にやさしいまちづくり

- ・「環境の保全と創出」の得点が高い。
- ・「エネルギーの地産地消」は、4 つの大施策の中で得点が低いですが、得点は前回よりも伸びている。



6) 安全・安心なまちづくり

- ・「防災体制の」の得点が最も高く、「交通環境の整備」、「居住環境の整備」もほぼ同水準にある。
- ・「暮らしの安全確保」は、5 つの大施策の中で得点が低いですが、得点は前回よりも伸びている。



【満足度得点】

「十分満たされている」を3点、「まあまあ満たされている」を2点、「あまり満たされていない」を1点、「ほとんど満たされていない」を0点とし、当該回答者数で割った値を満足度得点としました。

報告 2 市民との意見交換の実施結果について

第5次八戸市総合計画後期推進計画の策定にあたり、市民のニーズや意見を反映することを目的に、6月下旬から7月上旬にかけて9回にわたり市民との各種意見交換を開催。

1. 意見交換の実施状況

幅広い世代やさまざまな分野に携わる市民のニーズや意見を吸い上げるため、後期推進計画の素案に対して次の3つの方法により意見交換を実施した。

なお、意見を出しやすくし、市民が主体となった活発な意見交換とするため、策定委員会委員をはじめ、前期推進計画の進行管理に携わった総合計画推進市民委員会の委員にコーディネーターとして参画いただいた。

(※意見交換資料：後期推進計画素案概要資料)

	名 称	日時・場所	参加者数(コーディネーター)
グループインタビュー	①大学生グループインタビュー (八戸大学)	6/24 14:20～15:50 八戸大学	学生7名 (前山総一郎 教授)
	②大学生グループインタビュー (八戸工業高等専門学校)	6/30 17:00～18:30 八戸工業高等専門学校	学生7名 (河村信治 教授)
	③大学生グループインタビュー (八戸工業大学)	7/26 12:00～12:50 八戸工業大学	学生6名
	④女性団体等グループインタビュー	6/27 10:30～12:00 市庁別館8階研修室	女性10名(10団体)
	⑤NPOグループインタビュー	6/28 18:30～20:00 総合福祉会館	11名(8団体)
ワークショップ	⑥市民ワークショップ	7/4 13:30～16:30 公会堂2階大会議室	18名(17団体) 庁内ワキнг 56名 (策定委員代表4名)
意見交換会	⑦意見交換会(1回目)	7/3 14:00～15:30 公会堂文化ホール会議室	6名、策定委員4名 (市民委員会：類家伸一)
	⑧意見交換会(2回目)	7/5 18:30～20:00 総合福祉会館	8名、策定委員3名 (市民委員会：浮木 隆)
	⑨意見交換会(3回目)	7/7 18:30～20:00 南郷公民館大ホール	12名、策定委員3名 (市民委員会：浮木 隆)
	⑩意見交換会(4回目)	7/8 18:30～20:00 水産会館2階大研修室	4名、策定委員4名 (市民委員会：河村信治)
合 計 (延べ参加者数)			169名

2. 主な意見内容

<①大学生グループインタビュー（八戸大学）>

■中心街について

- ・中心街がさみしい。ファッションビルや遊べる場所を増やしてほしい。
- ・無料の駐車場がなく、飲みに行く以外、特に行きたいと感じる場所がない。
- ・中心街でもっとイベントがあれば良いと感じる。

■仕事について

- ※地元または県内、盛岡、仙台などの東北や北海道など近県での就職希望が多い。
- ・市内や県内での就職が困難なイメージがある。

■結婚について

- ※結婚の希望は、20代後半から30歳前後で結婚したいという意見が多かった。子どもについては、2～3人ほしいという意見が大半であったが、収入や金銭的な不安があるという意見もあった。また、出会いがない、仕事を通して考えが変わるといった意見も出された。

■まちづくりについて

○「住みやすいまち」のイメージ

- ▼店が多いだけでなく自然と共存できる▼交通マナー、治安が良い▼道路が整備されている▼気軽に遊びに行けるような施設が充実している▼市民の心に余裕がある▼行政と市民の関わりが深い

○八戸を「住みやすいまち」にするために必要なこと

- ▼むつ湊をもう少しPRしてほしい▼中心街、むつ湊の活性化▼中心街を若者にも高齢者にも楽しめる場にしてほしい▼館鼻公園はきれいだが、アクセス道路が狭く不便▼道路を広くし、自動車が走りやすくする▼八戸駅周辺も店を増やしてほしい▼八戸大学行きのバスが少ない。バスや電車などの本数をもう少し多くしてもよいと思う▼市民一人ひとりが住んでいる地域に真剣に目を向けなければならない

■その他

○八戸の魅力

- ▼住みなれているため、生活しやすく、安心感がある▼食べ物が美味しい▼海などの自然だけでなく、商業施設など都市機能の両方を楽しめる▼夜景がきれいで、ビューポイントも多い（函館市に負けていない）▼館鼻公園がきれいに整備されて、素晴らしい▼自動車があれば、住みやすいまちだと思う。

○八戸に遊びに来た友人（東京在住）のもてなし方

- ▼海に連れて行く▼景勝地を案内する▼八食センターに連れていく▼美味しいものを食べて、自然を堪能してもらう

○その他

- ▼八戸には、ずば抜けて自慢できるものがない。（インパクトのあるものが欲しい。）

＜②大学生グループインタビュー（八戸工業高等専門学校）＞

■中心街について

▼大型の本屋やCDショップ、ファッションセンター、男性専門の服のショップ、「裏路地にカフェ、雑貨屋、服屋」、外観・照明がおしゃれな店などがあれば出かけたかった▼音楽イベントを開催してほしい▼中心街は怖いイメージがある▼中心街の店が午後8時で閉店するのは早すぎる▼最終のバスの時刻も遅くしてほしい▼中心街に人を呼ぶなら、イベントや新しい建物など、宣伝をうまく行うに限る（とりあえず、中心街を知ってもらうことが必要）

■仕事について

※首都圏での就職希望が多い。地元や海外での就職希望の意見もあった。また、暮らしやすいまちで働きたいという意見もあった。

■結婚について

※結婚の希望は、20代後半から30歳前後で結婚したいという意見が多かった。子どもについては、2～3人ほしいという意見が大半であった。また、結婚しなくてもよいという意見や国際結婚の希望もあった。

■まちづくりについて

○「住みやすいまち」のイメージ

▼交通の便が良い▼外国の食べ物が売っている店があるなど文化的なまち▼安全で住みやすいまち。（街に休憩するベンチがあるなど）▼道路と歩道がきちんとあり、住宅地区と商業地区がそれぞれ集合している▼歩きやすい歩道があるまち▼欲しいものが1か所に集まっているまち（仙台市など）▼さまざまな人の立場になって、さまざまな面から手入れがされているまち▼行政と地域住民のコミュニケーションがうまくとれているまち▼歩きたばこの全面禁止

○八戸を「住みやすいまち」にするために必要なこと

▼道路の整備、歩道の拡充▼中心街の活性化、安全確保、緑化▼公共交通の充実、海側へのアクセスを良くしてほしい▼八戸は坂が多いので、地下鉄があれば便利▼ホームページなどを利用して世論調査のような仕組みを設ける（仕組みのPRも必要）▼住民にまちづくりに興味をもってもらえるように、行政と住民を結びつけるようなイベントを開催する（例：緑化イベント、市役所の壁をペンキで塗ってアートのまちづくりに参加、まちなかスタンプラリーなど）▼行政側と住民側が親しくなれば、「ここをこうしてほしい」「ここをこうしたら良くなるのでは」といった何げない会話から問題点や解決策が出てくるのではないかと▼八戸公園（子どもの国）は広くて良い場所なので、もっと活用していくべき

■その他

○八戸に遊びに来た友人（東京在住）のもてなし方

▼家に泊めて、郷土料理を振る舞う▼海（白浜・種差・蕪島）に連れて行く▼朝市、むつ湊、館鼻に連れていく（人のあたたかさ、つながりが感じられる朝市がよい）▼八食センターに連れていく▼自然が豊かな所に連れていく（夜であれば、星がきれいに見える場所）▼海産物など食べ物のおいしいお店に連れていく▼カラオケに連れていく

<③大学生グループインタビュー（八戸工業大学）>

■中心街について

▼交通の便が良く、駐車場が広ければ行きたい▼服屋や和小物などが置いてあると行きたい▼飲み会のときや、祭り、イベントのときは行くが、普段はあまり行かない

■仕事について

▼地元八戸を希望するが、実際は東京近辺で就職する。首都圏と地元の求人数や業種数の違いや技術力がギャップの理由（いずれは八戸に戻ってきたい）▼地元花巻市周辺を希望するが、花巻には希望する職種がないため、東北地方まで範囲を広げて検討する▼東京での就職を希望し、希望どおり内定取得▼海外での就職を希望し、希望どおり内定取得▼県内での就職を希望しているが、求人数が少なく大変

■結婚について

▼理想では結婚は26歳、子どもは2~3人。実際は、結婚は28歳、子どもは2人。ギャップの理由は、その時点でどれだけ仕事に慣れているか、子育てとのバランスが取れるか。子どもが2人なのは、経済的理由。（⇒ほとんどが同様の意見）▼今のところ結婚はしたくない。まずは自由な時間がほしく、結婚は30歳を過ぎてからでよい

■まちづくりについて

○「住みやすいまち」のイメージ

▼地元が好きで、それを外に伝えたいという思いが重要▼電車やバスですぐに買い物に行ける、高齢者が気軽に買い物ができるまち▼交通の便が良く、高齢者や子どもの行動範囲内に店があること▼交通マナーの良いまち

○八戸を「住みやすいまち」にするために必要なこと

▼外向けの施策よりも、住んでいる人のための施策を重視すべき。三社大祭も観光化より、参加する地元の人を大切にしてほしい▼中心街のほかピアドゥやラピアなど拠点バラバラで、自動車がないと行き来できない▼公共交通機関の充実、八戸駅前の充実▼空路、航路、陸路等、八戸までのアクセスは非常に良いが、市内アクセスが悪い

■その他

○八戸に遊びに来た友人（東京在住）のもてなし方

▼陸奥湊や屋台村、八食センターでおいしい物を食べる▼祭りを見せる▼種差や蕪島、葦ヶ崎などの海沿いをドライブ▼自宅で飲む▼櫛引八幡宮や根城史跡、是川などの遺跡めぐり▼小川原湖で釣り▼地元の良さがわからないため、青森市にでも遊びに行く▼下田ジャスコで買い物

○その他

▼階上にマックがほしい▼新井田にジャスコがほしい▼八戸駅前に大型ショッピングモールやファーストフード店がほしい▼郊外にアウトレットモールがほしい▼中心街の点字ブロックの張る方向（本来は進行方向に点が並ぶべき）や位置（道路側ではなく店舗側に張るべき）、色（黄色にすべき）が間違っている▼地元花巻では、蕪島や八食センターはとても有名だが、公共交通機関が充実していない点が残念

＜④女性団体等グループインタビュー＞

項目		意見	
地域活力の創出	1-2. 攻めの農業	<p>施策 3) 農業の担い手の育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸市農業交流研修センターで多少研修を受けただけでは、農業をやっていくのは難しい。 ・一方、現在の雇用情勢では、長く仕事をしたいと思っている若者を農業に引っ張ってくるよい機会である。 ・この取組を成功させるためには、もっと密にやらなければならない。 ・また、農村側は新しい人が入ってくることに抵抗があり、新規就農希望者と農村側との間を行政がつなぐ必要がある。 ・行政への要望としては、仕組みをつくるだけでなく、実際に動いて、うまくさせるところまで面倒をみてほしい。 	
		<p>施策 4) 畜産を核とした産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口蹄疫など不測の事態が起こったときの予防策を含めたことを書くべきである。 	
	1-3. 攻めの水産業		<ul style="list-style-type: none"> ・水産業も担い手不足であり、水産高校の卒業生が水産業に就職するような支援を実施してほしい。
	1.4 八戸ツーリズム	<p>施策 1) 八戸の魅力売込作戦の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドミュージアムの「朝市」は既に動いているものである。計画として書くのであれば、もっと前倒し的に書いた方がよい。
	1-5. 産学官民連携	<p>施策 2) 産学官が連携したまちづくりの展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域サポーターとして学生があげられているが、八戸にある大学の学生だけではなく、八戸出身で市外の国立大学などに通っている学生も活用してほしい。
			<ul style="list-style-type: none"> ・八戸で大学というと3つしか出てこないが、敢えて大学名を挙げないことで、専門学校も含めて、すべての高等教育機関を対象にした方がよい。
<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市外の大学とも連携して、知恵やノウハウを地元の大学や市民活動団体が共有できるとよい。 			
1-6. 雇用創出	<p>施策 1) 雇用支援体制の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職を何とかしてほしい。子どもたちは、大学を卒業しても戻ってこない。 	
まちの魅力創造	2-1. 中心市街地再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの年代は子どもたちを当てにできない世代である。たとえば、生活に必要な最低限のことがすべてひとつのビルでできるようになるとよい。 	
	2-2. 文化・スポーツプロジェクト	<p>施策 1) 新たな文化の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南郷名画座事業は、名画座が全面に出るのではなく、ホールの利用促進が前面に出て、事業概要の中に名画座が出てくるといったイメージではないか。 	
地域の安心確立	3-1. 次世代育成	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や児童館などに関し、柔軟な運営が可能となるよう条例を改定してほしい。 ・福祉と学校が連携してすることが必要ではないか。意見の聞き取りなどを行ってほしい。 	

項目			意見
地域の安心確立	3-2. 高齢者・障がい者自立	施策 1) 高齢者の健康保持支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮けいがんワクチンについても考えてほしい。
	3-3. 暮らしの安心	施策 2) 地域で守る暮らしの安全づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会を軸にして、見守りが必要な人が町内でどこにいるかなど地域を把握してほしい。 ・安心・安全のまちを、細かく目が届くようにし、まちなか以外の町内会も支援してほしい。
自治基盤の整備	4-1. 協働のまちづくりプロジェクト	施策 1) 地域コミュニティの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会加入促進は以前から行っているので、町内会加入促進事業と八戸市連合町内会設立支援は一つにまとめてほしい。
			<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の加入は、その地域に住んでいる PTA の方など、みんなが関わる必要がある。 ・いろんな人が町内会の加入促進に関わるためには、別の事業として実施していくとよい。
	4-3. 市民サービス向上プロジェクト	施策 2) 市民への情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の IT 講習会はあるが、たとえば携帯の講習会や小中学生の IT 教育なども盛り込むのがいいのではないかな。
その他			<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要の記載の仕方：民間だけが主体のものは除いてもいいのではないかな。書くのであれば、事業概要に市が関与することを明記したほうがいい。 ・IT の情報量や情報発信力を利用するためにも、全体的に IT の活用を盛り込んだほうがよいのではないかな。 ・「人をつくる」ことに重きを置いてほしい。 ・すべての市民がそこに行くだけで、話をきいてもらえ、楽になれるような場や機会を確保してほしい。 ・はっちに子育て支援関連の機能が設置されると聞いているが、子育てに限らず、いろいろな相談の窓口があるとよい。

＜⑤NPOグループインタビュー＞

項目		意見	
地域活力の創出	1.4 八戸ツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸は三陸海岸の玄関口であり、そのことをまず市民がもっと意識することが必要である。 ・マイルポストなどランドマークを設置するなど、八戸を起点としたツアーを組めるようなPRを行ってほしい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市には県内で3番目の国宝がある。修学旅行は国宝があるところに行く傾向があるので、戦略的に誘致してほしい。 ・種差海岸を国立公園化する努力をしてほしい。 	
	1-5. 産学官民連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学などで先生を呼んでくることがあるが、地域の力を再発見する講座を開いてほしい。 	
まちの魅力創造	2-1. 中心市街地再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・中心街の再生にあたっては、従来のものを再生するのではなく、新しいものをつくっていくべきである。 	
	2-2. 文化・スポーツ	施策 2) 歴史的文化的資源の保全・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財後継者養成事業：岩手は遠野物語で売り出しているが、ルーツは八戸にあるらしいので、高齢者から話を聞いて保存すべきである。 	
地域の安心確立	3-2. 高齢者・障がい者自立	施策 2) 障がい者の就労支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・八戸第二養護学校は、東日本の中で一番大きく、就職の受け皿が限界にきている。 ・県の学校だが、市内の特殊学級からあがってくるので、就職に関する指導、支援をしてほしい。 	
	3-3. 暮らしの安心	施策 2) 地域で守る暮らしの安全づくり <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の啓蒙を、どこかに盛り込んでほしい。 	
自治基盤の整備	4.1 協働のまちづくり	施策 1) 地域コミュニティの振興 <ul style="list-style-type: none"> ・下長地区では、町内加入を働きかけることを通じて、安心・安全などを考えるきっかけとなっている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館は、夜間など、働いている人には使いつらくなっている。もっと柔軟に対応できる体制を整えてほしい。 	
その他	公共施設の有効活用		<ul style="list-style-type: none"> ・小さい児童館は込み合っている一方、小学校の教室は余裕があるという実態もある。 ・空いているところ、余っているところを有効に利用するという視点で、住民が満足できるものを作ってほしい。
	ドクターヘリについて		<ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリが青森市へ移ると、救急医療を学びたい医者もいなくなることになる。 ・広域との連携や市民も一定の負担をすることも含めて、独自にドクターヘリ運行の検討をしてほしい。
	八戸らしさについて		<ul style="list-style-type: none"> ・後期計画を前倒しで策定するということの積極性を高める観点からも、後期計画の巻頭言にでも、後期計画における「八戸らしさ」を述べてほしい。
	道路整備について		<ul style="list-style-type: none"> ・八戸が広域交通の要衝であることを考えれば、戦略プロジェクトには、建設部門、都市計画部門の記述を充実してほしい。
	指定管理者制度について		<ul style="list-style-type: none"> ・児童科学館での販売行為の禁止（科学教室を開こうとしても材料費を徴収できない）や、図書館の運営時間（夕方以降利用できない）など、柔軟な運営ができるようにしてほしい。
	計画の進め方		<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てるのはよいが、負担と実行、優先順位、効率性を考えてほしい。

＜⑥市民ワークショップ＞

【テーマ①：地域活力の創出】

- **2015年 LNG 輸入基地稼働⇒地元での利用促進とポートアイランド基盤整備**
 - ・ 単なる流通基地ではなく、地元でも LNG を使ってほしい。
 - ・ 地元での消費拡大のため、付随する産業の創出や冷熱活用プロジェクトを立ち上げてほしい。
 - ・ 地元業者の建設工事への参入を促進してほしい。そうすることでメンテナンスにも関わられる。
- **農業の後継者不足、農産物価格の低迷⇒流通経路開拓、規模拡大等**
 - ・ 農協以外の独自の流通経路を開拓したり、販売・加工までやるなど検討が必要。
 - ・ 規模の拡大、経営の安定がないと後継ぎない。
- **水産資源減少の中、魚を八戸に集める⇒LNG の冷熱を活用した大規模冷凍庫**
 - ・ 凍結能力が低く魚を集められないが、水揚げ最大の時期に合わせた設備投資は難しい。電力の価格設定の問題もある。
 - ・ LNG 基地の隣に冷熱を活用した大規模な農水産物用の冷凍庫の建設。リスクは大きい挑戦する価値はあるのではないかと。
- **八戸の自然や食の PR⇒八戸駅前での PR が必要。朝市を盛り上げてほしい。**
 - ・ 景観や食、三社大祭などもっと PR してほしい。八戸駅前に PR できるものがあるとよい。
 - ・ 片町朝市について。もうしばらく長根でやれるようにしてほしい。
 - ・ 朝市目当ての観光客は宿泊するので魅力的。朝市を盛り上げてほしい。
- **厳しい雇用情勢⇒地元経済の回復を**
 - ・ 担い手不足を抱えている業種とのマッチングが必要だが、個人としてそのような業種を選ばない。賃金的魅力を向上できないか。人材が足りない業種への市の補助など考えられないか。
 - ・ 現場の仕事より机で働くことに魅力を感じる社会意識を変える必要があるのではないかと。

【テーマ②：まちの魅力創造】

- **はっちの知名度・理解度向上の必要性**
 - ・ 「はっち」の意味や目的の理解に、市側と市民側で大きな温度差がある。様々な事業ができる新ジャンルの公共施設であるので、体験型学習や観光のほかアートも含めた情報の集積庫かつ発信の場として機能してほしい。
- **学校連携等による市民練習場の検討**
 - ・ 市民練習場として学校開放や既存の施設も利用できるよう検討してほしい。団体が学校等から直接許可を得るのは難しいので、市に仲介等を行ってほしい。その際、空き時間等の情報管理があれば望ましい。
- **スポーツ・文化の環境整備の必要性**

- ・ 学校（特に、高校）卒業後もスポーツ・文化活動を継続できる環境整備が必要。高い競技技術を持っている選手が、市外に流出してしまうことは問題。地区ごとに養成する体制を検討する必要がある。
- **屋内スケート場の多目的型施設としての整備**
- ・ 屋内スケート場については、国際大会も招致できるよう、また、街なかに立地する利点を活かしてコンベンション開催可能な多目的型として検討してほしい。
- **公共交通の整備の必要性**
- ・ 公共交通については、中心街と大学のアクセスを改善するとともに、時刻表を気にしなくてよいバスダイヤを編成してほしい。また、メインストリートには自家用車を進入させない施策が必要。

【テーマ③：地域の安心確立】

- **民生委員の高齢化と守備範囲の拡大⇒システム見直しの必要性**
- ・ 民生委員の業務内容が多すぎるため、見直すべき。
 - ・ 高齢化が進む町内会の推薦で民生委員を選定しているため、民生委員も高齢化する。システムの変更が必要である。
- **学童保育等、放課後施策の拡充を図ってほしい**
- ・ マニフェストに「放課後児童クラブの数を32から50まで増やす」とあるが、そのスピードをもっと上げてほしいし、質の面でも向上させてほしい。
 - ・ 国では新たに、放課後子どもプランとして、学校の空き教室を活用した対策も講じているため、市でも複数の部署が連携し柔軟な対応を取ることで、使い勝手が向上する。
- **介護予防教室の取り組みをより積極的にすべき**
- ・ 高齢者の介護予防ができていないと介護保険料に跳ね返り、結果として負担増となってしまう。
 - ・ 特に、介護申請する前の人や、予防教室などに出てこない人へのケアが重要である。
- **公共にも地域にも限度がある⇒公助・共助・自助の確立が重要**
- ・ 何でも行政ではなく、地域でできることは地域でやった上で、やれないことを行政にお願いするという基本的な考え方について、住民が共通認識を持つべきである。

【テーマ④：自治基盤の整備】

- **地域のことを話し合える、井戸端会議的な場がほしい**
- ・ 住民の意識が変わるための方策として、地域のことを気軽に話し合える場があれば、組織づくりに発展し、具体の事業に結びついていくのではないかと。
- **公民館が立ち寄りやすい場となるよう、雑談スペースの設置などを**
- ・ 地域を元気にする拠点として、公民館は有効。しかし用事が無いと行きづらい。
 - ・ 講座だけでなく、地域の人が集まりやすい雰囲気を作られるといい。
- **市民活動に目覚めつつある人のために、サポートセンターの改めでのアピールを**
- ・ 市民活動サポートセンターは、市民活動の重要な拠点である。

- ・ 市民活動に目覚めつつも、何をしたいかわからずにいる人たちのために、こういう拠点があるということを改めてアピールしていければいい。
- **協働は、行政側も市民側も腹を括って取り組む必要がある**
- ・ そうでないと、役割分担も曖昧な、かたちだけの協働になりかねない。

<⑦～⑩意見交換会（4回開催分）>

1. 地域活力の創出

<1-1. 企業誘致推進・中小企業強化プロジェクト>

- ▼八戸高専や八工大の卒業生の地元就職率が低いと聞く。その理由として、市内で就職するための、背後にある地元企業立地が貧弱なことがある。企業誘致を推進するにしても、背後の企業・施設がなければ、参入しづらいのではないかと。
- ▼企業誘致の必要性が言われている。市でも積極的に取り組んでいるようだが、依然青森県内の失業率は高い。そうすると、これまでの取り組みは有効だったのかということになる。もっと具体的に、これまでの課題と今後の取り組みを整理すべきである。
- ▼北インターの地価が県内の他の工業団地と比べて高いと聞く。以前青森県は、地価の安さや労働力の安さが魅力だった。しかし最近では、都市部との差も少なくなり、逆に冬期間のランニングコストの高さがネックとなっている。八戸駅周辺にあった八戸酒造が千葉県松戸市に営業所を移転したのは、焼酎の販売先の8割が市外のためである。

<1-2. 攻めの農業プロジェクト>

- ▼例えば夕張メロンや上北ながいも、田子にんにくのように、具体的に品目を挙げて、農産物のブランド化を推進していくことを望む。
- ▼糠塚きゅうりは食べ方もおもしろい。近郊にもおもしろいネタがあるのではないかと。
- ▼何か一つでも良いので強力に進めてほしい。

<1-3. 攻めの水産業プロジェクト>

- ▼漁船の老朽化も深刻である。新たな船をリースできるのは余力のある会社だけであり、もっと皆ができるような取り組みを期待する。
- ▼「八戸前沖さば」のネーミングが非常に読みにくい。東京の広告代理店からも「わかりにくい」との指摘を受けた。戦略的に変えられないか。

<1-4. 八戸ツーリズムプロジェクト>

- ▼ジャズフェスティバルについて、是非ポスターを見るだけでも行きたくなるような取り組みが求められる。

<1-6. 雇用創出プロジェクト>

- ▼若い人の仕事がないことをどうするのか。企業誘致もいいが、市内でもっと掘り起こせば何かあるのではないかと考えている。朝ぶろの取り組みは評判が良く、リピーターもある。このように、地域を活性化する資源の掘り起こしに力を入れるべきだし、市民の頑張っている姿や分野を集めてPRすることも考えられる。
- ▼計画に、もっと具体的な取組みを掲載すべきと思う。
- ▼いかに就職させるかということ、学校やハローワーク、労働組合、事業所など、現場の声を日常的に聞きながら、市として何ができるか考えるべき。
- ▼宮古市では、市の斡旋で住宅リフォームを推奨し、結果的に建設関連業者が潤っている。八戸市でも耐震診断等やっているが、一般住宅も含めもっと進めるべきである。

2. まちの魅力創造

<2-1 中心市街地再生プロジェクト>

- ▼中心街にはちができて、向かいの空きビルが目立つ。もっと商店街の声を聞くことが必要だと思う。例えばはちの向かいをバスターミナルとして整備するなど、いろいろなアイデアを持っているはず。
- ▼中心街には店が並ぶべきだが、空き店舗補助の要件が厳しく、小企業や起業家が参入していけない。みろく横丁をモデルに、誰でも参入しやすい仕組みを検討すべきである。
- ▼役所の点字ブロックは黄色になったが、中心街のブロックはピンクなど様々。視力の弱い人にとっては黄色が最も見やすい色であるため、中心街でも統一すべき。
- ▼中心街に人を呼び込む努力をしないといけない。市は、中心街の空洞化の原因をどう捉えているのか。空き店舗など社会資本の有効活用が先決だった。人口動態を把握していない限り、はちができて中心街は活性化しない。タウンマネージャーの小林氏も「街の中に魅力あるものがない」、「街の賑わいや価値に着目する社会的視点がない」と言っていた。人口動態をよく調べた上で、間違いのない責任ある計画を策定してほしい。
- ▼本計画では、イベントの開催で賑わい再生を図るようだが、一過性のものであって商店の利益にならない。七夕や三社大祭も客はそれが目当てで訪れるだけで、経済効果がない。市では単に中心街に人が出ればよいと考えているのか。中心街の何を活性化するか明確にしてほしい。街なかの人出が増えるということだけに税金が使われるのは適当ではない。

<2-2 文化・スポーツプロジェクト>

- ▼市民練習場は、根城小が使えなくなることもあるため、早期検討が必要だと思う。
- ▼小学校にプールを建設できないのも問題である。その一方で、計画にはスポーツ振興とあるのは矛盾している。ここ 20 年間学校のプールを作っていないとのことだが、白山台小でもマイクロバスを借りてプールに行くなど大変である。
- ▼アート分野に対しては市から助成することになると思うのだが、既存の団体への配慮も必要ではないか。総合的に調査し、フォローしてほしい。
- ▼「アートのまちづくり」も今まで活動している人たちの活性化に繋がらないといけない。

<2-3 環境創造プロジェクト>

- ▼生ごみリサイクル事業の具体的な状況が気になる。生ごみリサイクルと資源ごみの回収率を上げていければよいと思うが。
- ▼現在行っている生ごみに関する取り組みは、各家庭の取り組みが中心で、段ボールコンポストなども継続的な取り組みにはなっていない。積極的な自治体では、行政が処分のための場をつくるなどしているが、八戸はどこかの店や地域限定の取り組みでしかなく、部分的支援にとどまっている。生ごみを土に返し、そこで農家が作物を作るというようにサイクルをつくることで効果が上がるとわれ、そうした取り組みが住民の意識向上に繋がる。
- ▼防犯灯設置は町内会に任せているが、場所によって防犯灯が不足し、暗い所がある。市側でも自ら調査し、自ら設置することも必要と思う。
- ▼防犯灯の設置がなぜ環境分野なのか。環境への配慮を全面に出したためというが、暮ら

しの安心プロジェクトの方が適当ではないのか。

3. 地域の安心確立

<3-1 次世代育成プロジェクト>

- ▼待機児童は深刻な問題だと思う。町内に認可外保育園があり、定員は 20 人だが満杯である。月 1 回の休み以外、24 時間フルに利用されていることから、現状はもっと深刻なのではないか。働きたくても預ける場所がない、働くところがないなど、問題は様々。市として、少子化対策含め、現状を正確に把握した上で、幼稚園や保育園を増やすなど検討すべき。また、小学校でも、放課後の利用をしやすいような改修を行っていくべきである。
- ▼計画を見ると、「やります」ということがたくさんあるが、「やめます」という作業をもっとするべきではないか。無駄だと思うことも山ほどあるが、市長への手紙を出しても、担当者次第では適当な返事しか返ってこない。やめるための委員会なども作って議論してほしいし、その上で子育ての分野などに集中的に投資してほしいと思う。
- ▼「次世代」の前に「現在」の子どもたちへの対策を急いでほしい。学童保育の利用料について、市のホームページではほとんどがおやつ代として月 3,000 円程度と謳っているが、それは誤りである。一日のおやつは 100 円になるはずだが、実際は 20 円程度。飲み物も良い所では麦茶だが、水の所もある。運営費を賄えていないというのが実態であるので、ホームページの訂正のほか改善も行ってほしい。学童保育は自治体の努力目標なので、財政難を理由に後回しにされがちだが、子育てが後回しにされるような市政では「次世代育成」に危機感を覚える。
- ▼また、ファミリーサポートセンターについて学童保育後の預かりの依頼が非常に多い。学童保育はほとんどが 18 時までだが、19 時までで延長してほしい。1 時間 500 円の預かりでも 1 月で 1 万円になる。学童保育が 18 時までということで利用を諦め、仕方なく自宅にいる「待機児童」も数多くいる。学童保育は努力目標であり、また、公設民営であるので、延長をお願いせずにいると思うが、厚生労働省からは 2 年前に指導できるとの文書が出ているはず。
- ▼児童館については利用料が無料ということもあり、学童保育やファミリーサポートを利用している親より可処分所得が多く、不公平である。包括的な見直しをお願いしたい。
- ▼子育て支援に関する取り組みはあるが、子どもを増やすための取り組みはないのか。大学を卒業しても就職先がない中、子どもをつくれるかということもある。
- ▼子どもの世話をするボランティアを養成する講座があり、そのためには講習を受ける必要があるが、ボランティアなのだから、テキスト代も無料でいいのではないか。

<3-2 高齢者・障がい者自立プロジェクト>

- ▼社会参加の促進に関連して、段差だけでなく、路面凍結によっても障がい者の外出機会が失われてしまう。もっと具体的な取り組みが必要である。

<3-3 暮らしの安心プロジェクト>

- ▼また、地域の安全づくりが進んでいるが、市からの直接的な交付金があってもいいのではないか。

- ▼自殺対策について本計画に掲載されていないが、どのような議論が行われたのか。自殺の原因が多岐に渡るのでワンストップ窓口はよい考えだと思うが、その前に自殺を止めることが必要。初期介入（「ゲートキーパー」）の後、ワンストップ窓口につながるシステムがよいが、当市にはそれがない。今の計画では自殺対策の扱いが低く、危惧している。
- ▼ドクターヘリの2機目の導入を目指す寄付の活動について、広報などでもっと宣伝すべき。また、市としても県にも強い思いを伝えるべきだし、いろいろな方法が考えられる。

4. 自治基盤の整備

<4-1 協働のまちづくりプロジェクト>

- ▼市として、県内主要都市の町内会加入率や費用を捉えているのか。また、アパートに住む転勤族がいる中で、三社大祭への参加を促すなど、加入促進のための様々な方法が考えられると思う。連合町内会をつくっただけでは、何も変わらないのではないかな。
- ▼町内会に関連して、民生児童委員は509人いるが、高齢化が進んでいるうえ、多岐に渡る守備範囲で疲弊している。別々の守備範囲にしてはどうか。また、町内会自体が高齢化していることも問題。若い人が加入しても年配者が幅を利かせているような事例があるのではないかな。ただ加入を増やすだけではなく、若い世代にシフトするような施策を講じてほしい。
- ▼南郷の場合、町内会加入率が高いため問題ではないと思うが、町内会がどれくらい機能しているか、将来的にどうなっていくのかという部分では、南郷区でも検討の余地があると思う。
- ▼ボランティア活動の支援体制を整備するとあるが、周囲が活動を認めてくれる、評価してくれるような空気づくりもできればよい。

その他意見

- ▼こどもの国は立派だが、近所の公園は老朽化した遊具を取り払うだけで更新してくれない。身近な公園ももっと大事にしてもいいのではないかな。
- ▼包括的な都市計画というものが決定的に欠けているように思える。一つは、人口、町々の密度について把握した上でやってきたのか、二つめは、市街化調整区域について、同心円状に市街地を拡大するはずだが、そのようになっているのか、疑問に思う。これまでの市の都市政策は、人口の伸びに比例して市街地が拡大するという基本を疎かにしている。市街化調整区域という規制は財産権に影響するものなので、平等性、公平性、一貫性が必要。